

緒言

本書ハ元來自己ノ手控ノ爲メニ臨牀的ノ事項ヲ書留メシ

特66
786

モシテ今般人ノ勸メニヨリ多少ノ訂正ヲ加ヘ外科眼

科及小兒科等ノ處方ノ主ナルモノヲ加ヘ鐵面皮ニモ印刷

ニ附シタルモノナリ處方ハ主ナルモノ、ミヲ舉ゲ實用向

ニ止メタリ而シテ現今ノ我國ニ不適當ナル茶匙食匙ハ

切コレヲ掲ゲズ鑑別診斷表ノ最上段ハ先ヅ疑ハシキ疾病

ナリコノ下ニ列スルハ之レト鑑別スベキ疾病ナリカ、ル

小冊子モ讀者ニ多少ノ參考トモナラバ幸甚ナリ

4. 5 18
内容

コノ稿ヲ作ルニ當リ恩師麻植先生ノ懇篤ナル指導及訂正
ノ勞ヲ取ラレタルヲ謹謝シ恩師菅博士ノ印刷ニ附スルコ
トヲ許可セラレタルヲ謹謝ス

明治三十九年六月

編者識

第二版ノ發行ニ就テ

前ノ誤植ヲ訂正シ新ニ人名地名ヲ冠セル疾病、症候、試驗法、
試藥及器械ノ説明ヲ加ヘ處方ノ陳舊ナルモノハ捨テ新藥
ヲ増加シタリ然レドモ單ニ處方數多キヲ貴バズシテ實用
ニ適スル度ニ止メタリ尙新藥一覽ヲ増加シ其他缺ヲ補ヒ
世ノ進歩ニ遅レザランコトヲ期セドモ未ダ淺學ニシテ誤
謬ナキヲ保セズ讀者ノ示教ヲ待ツモノナリ第二版ヲ發行
スルニ當リ畏友廣瀨耕一君ニ對シ謝セザルベカラズ氏ハ
多忙中ヲ事トセズ熱心ニ本書ニ對シ追加及印刷校正等ノ

勞ヲ取ラレタルコトヲ

尙茲ニ恩師菅先生及麻植先生ノ高恩ニ謹謝ス

明治四十二年四月

編者識

目次

診斷的ノ要領	一
臨牀的諸検査法	三
中毒ノ症候及療法	二七
救急療法	三四
鑑別診斷表	四〇
地名人名ヲ冠セル疾病、症狀、試験法、試薬、器械	八二
傳染病潜伏期一覽	一〇一
處方例	一〇二

投藥上便宜作り置クベキ丸劑	一五三
藥物應用上ノ注意	一五六
日本藥局方所定極量表	一六四
藥物配合ノ禁忌	一六九
歐文處方例	一七六
新藥一覽	一八〇
附錄	
內科ノ開業醫トシテ供フル藥品	

袖珍內科醫典

醫學得業士 若山茂雄 著

一 診斷的ノ要領

- (A) 病歴ハ次ノ型ヲ有ス
- (一) 住所及生地、初診ノ日付
 - (二) 姓名、年齢
 - (三) 職業
 - (四) 既往症
- 血族

本患者ノ經過セシ疾病(病名及症狀)及當時ノ年齢
 現病既往
 腦症狀ノ有無、神經系統狀態

消化器系統狀態
泌尿生殖器系統狀態

呼吸器系統狀態

循環器系統狀態

一般狀態

主訴

(五) 現症

一般狀態 (體質、體位、顏面、皮膚、脈、體溫、呼吸)

各部狀態

(a) 頭部狀態

(b) 胸部狀態

(c) 腹部狀態

(d) 四肢狀態

(e) 精神狀態

(六) 療法及經過

(七) 轉歸

附 體溫、脈數、呼吸數、體重、排便回數、尿量及比重ノ一覽表

(B) 溫度ノ改算

$$C = \frac{5R}{4}$$

$$C = \frac{5(F-32)}{9}$$

$$R = \frac{4C}{5}$$

$$R = \frac{4(F-32)}{9}$$

$$F = \frac{9C}{5} + 32$$

$$F = \frac{9R}{4} + 32$$

或、 $n^{\circ}C = \frac{4}{5} n^{\circ}R = \left(\frac{9}{5} n + 32\right)^{\circ}F$

但 F: 華氏

C: 攝氏

R: 列氏ノ度數

(二) 臨牀的諸檢查法

(一) 肉眼的

咯痰ノ異常成分、

(一) 煤炭
(六) 膿

(二) 肺組織

(三) 氣管支凝固物

(四) 結晶物

(五) 血液

(二) 顯微鏡的

(a) 肺チアストマ卵……血痰血液部ヲ無染色弱増大ニテ見ル

永久標本ニテハ、痰 十〇%加里滴汁—振盪—沈澱—上層透明部ヲ捨テ水ヲ入レ振盪
沈澱(反覆)—沈澱物ヲ白金耳ニテトリ「グリセリン」—「ラック」ニテ封

(b) 結核菌

(1) 被板ニ咯痰塗布乾燥固定—フクシンアニン液(アニン油 五、〇〇 震盪—濾過液 十飽
和フクシンアルコール液) 滴下冷浸凡二三十分—稀硝酸(一ト三)ニ二三秒—洗滌—二
%メチレンブラウ水—洗滌(ワイゲルトエーレルツヒ氏法)

(2) 被板ニ咯痰塗布乾燥固定—石炭酸フクシン液(フクシン 一、〇〇 石炭酸 五、〇〇 水 一〇〇、〇〇) 凡一
分—洗滌—硫酸メチレンブラウ水(メチレンブラウ 二、二五%稀硫酸 一〇〇、〇〇) 數秒乃至十數秒洗滌(ガベ
ツト氏法) 腸結核ノ診定ニハ便ニ附着セル粘液ヨリ以上ノ方法ニテ檢ス

注意

咯痰(腐敗性氣管支加答兒、肺壞疽)及尿ニ出ヅルスメグマバチルスモ結核菌ト同
様ニ染色スレバ誤リ易シ然レドモ染色後鹽酸含有ノアルコールニ五—一〇分間浸

ス時ハ此菌ハ脱色ス其外脱色ト同時ニ複染色ヲ行フ爲メ初メ石炭酸フクシンニテ
染色シ水ニテ洗ヒメチレンブラウ酒精飽和溶液ニ浸ス時ハ此菌ハ青ク結核菌ハ赤
ク染色ス

(c) フリートレンデル肺炎菌 (咯痰ヨリ)

被板標本—1%醋酸水四五分—乾燥—アニンゲンチアナ紫液(アニン水 一〇〇、〇〇)
—洗滌 (フリードレンデル氏法)

(d) フレンケル肺炎菌 (咯痰ヨリ)

被板標本—アニンゲンチアナ紫液—沃土沃土加里液(沃土加里 二、〇〇)
アルコール (グラム氏法) 三〇〇、〇〇) 二三分—無水

(e) ペスト菌

被板標本—空中ニ乾燥(火焰ヲ通過セズ)—無水酒精ニテ固定—メチレンブラウ重曹水
(メチレンブラウ 五、〇〇 二五%重曹水 六〇〇、〇〇) 加ヘタルモノ、別ニコノ液ノ一部ヲ
トリ—%エチジン水ヲ「ピペット」ニテ加ヘ沈澱ノ生ズル度ヲ知り置クベシ—之レニ—%
エチジン水注加(沈澱ヲ生ゼザル範圍ニ於テ最モ多量ニ) 以上ノ液ニテ七分間染色—最稀

醋酸水(二—三分)―洗滌

(f) ヲフテリ菌 (義膜ヨリ)

メチレンブラウ酒精飽和液 (三〇、〇〇) ニテ染色―洗滌

(g) 淋毒菌 (膿汁ヨリ)

被板標本―エチジンアルコール飽和液(加温二—三分)―過分ノ色素ヲ吸墨紙ニテトル―
メチレンブラウ酒精飽和液(半分間)―洗滌(重複染色法)

其他アニリン色素ニテ染色シ得

(h) 腸室扶斯菌 (尿血液、排泄物ヨリ)

アニリン色素ノ水溶液ニテ染色ス、破傷風菌亦然リ

(i) 虎列拉菌

チール氏液(石炭酸フクシン液、前出)又ハフクシン飽和水溶液何レニテモヨシ

グラム氏法ニヨリ脱色スル菌

腸室扶斯菌、普通大腸菌、病毒菌、フリードレンデル肺炎菌、コレラ菌、流行性感胃菌、
ペスト菌、再歸熱菌、家兎敗血症菌、雞コレラ菌、綠色螢光菌、悪性水腫菌、馬鼻疽菌、

鳴疽菌

グラム氏法ニヨリ脱色セザル菌

結核菌、脾脱疽菌、癩病菌、オフテリ菌、破傷風菌、フレンケル肺炎菌、丹毒菌、鼠
敗血症菌、豚丹毒菌、醗膿連鎖狀球菌、醗膿葡萄狀球菌、醗母及放線狀菌

(j) スピロヘーテパルリダ

(イ) 材料ヲ薄ク被板ニ塗布空中ニ乾燥―無水酒精十分間―エチジンアツール液(一%エチジ
水五〇〇、〇 一、二、〇「アツール」I水溶液(〇、一%) 三、〇「アツール」II水溶液
混合液 (〇、〇八%) 三、〇)二十四時間―洗滌 (シヤウジン、ホフマン氏法)

(ロ) 被板標本ヲ氣中ニ乾燥―石炭酸ゲンチアナ紫液(五%石炭酸水 一〇〇、〇〇)
以上混和濾過スベシ

―火焰ニテ加温―洗滌 (ナツベンハイム、ザックス氏法)

(k) 血液染色標本(マラリア、白血病)

指頭穿刺―被板間ニ挾ミ平等ニ塗布―空中乾燥―固定(酒精等分液ニテ)二十四時間

乾燥

第一法、グリセリンエナジン飽和液(四十八時間)―洗滌―メチレンブラウ飽和水溶液(十秒)―洗滌―乾燥(本法ハ簡便ニシテ實用ニ適シ標本美麗ナリ)

第二法、メチレンブラウエナジン液(各新鮮ナル〇.一%メチレンブラウ水)三十分間―洗滌(ロマノスキーチーマン氏法)

第三法、フクシンメチレンブラウ水(酸フクシン飽和水 五〇.〇〇)―洗滌(エールリツロ氏法) (飽和メチレンブラウ水 一.〇〇) 濾過 五十分間―洗

第四法、オランダ飽和水溶液

酸フクシン飽和水溶液ニ二〇%ノ比ニアルコールヲ加ヘタル液

無水アルコール

一二五、〇
一二五、〇
七五、〇
一二五、〇
數分間―洗滌 (同上)

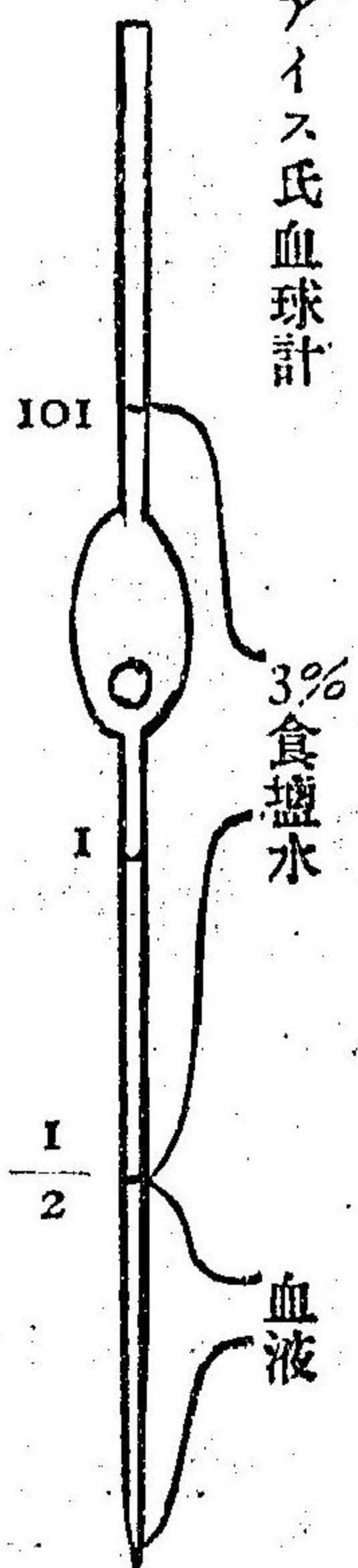
①再歸熱菌

發作中ノ血液ヲ被板ニ塗布火焰固定―5%醋酸水二十分―アンモニヤ蒸氣ヲ作用セシム―

(m)血球ノ計算

アニリン色素ニテ染色―洗滌

トーマツアイズ氏血球計



コノ状態ニテハ二百倍、I迄血液ヲ入ルレバ百倍、振盪―計算室ニ注加―割内ノ血球ヲ計算シ平均數ヲトル

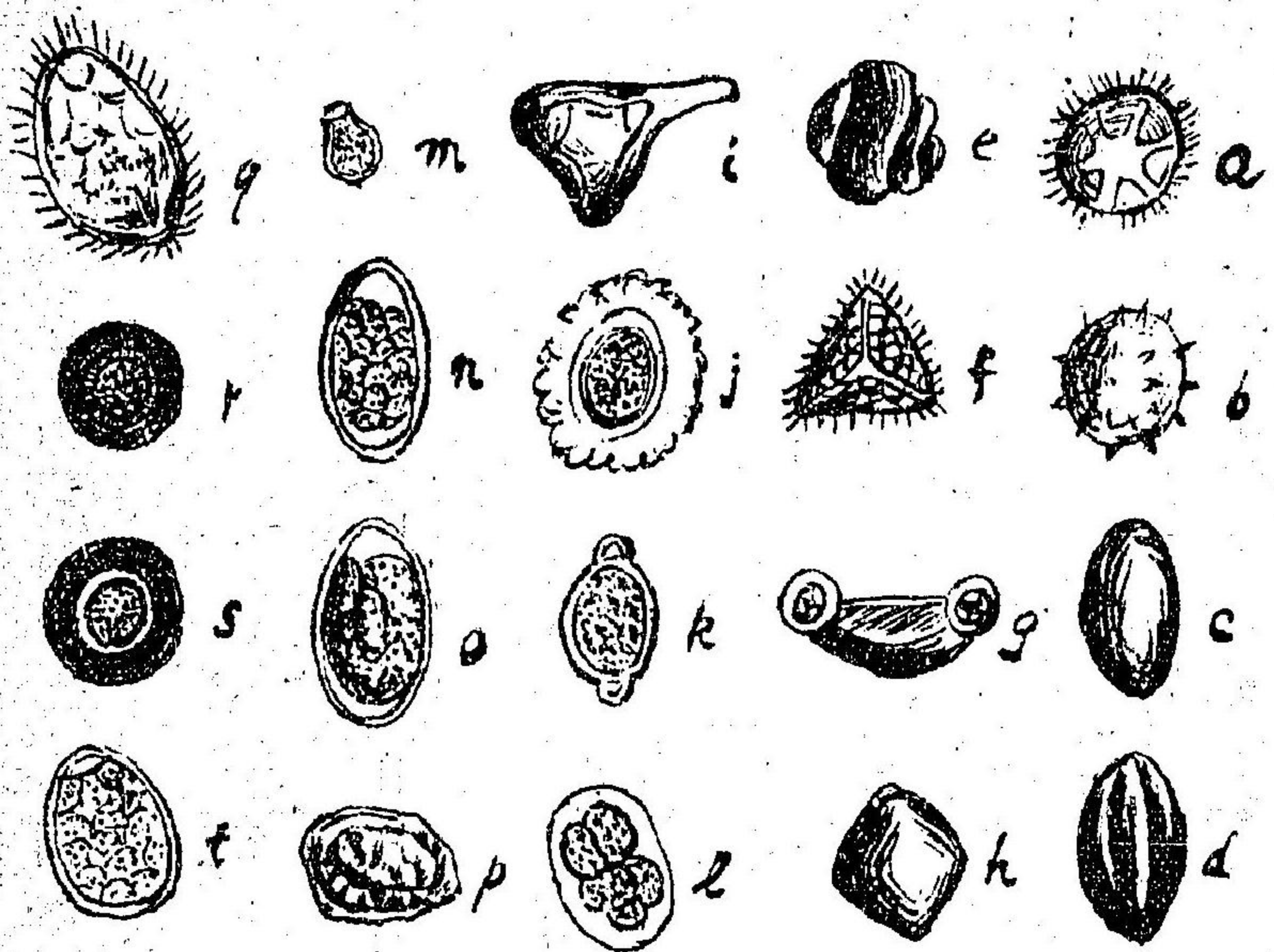
$$\text{平均數} \times 4000 \times \left(\frac{100\%}{200}\right) = 1\text{c.m.m. 中ノ血球數} \begin{matrix} \text{男} & 5000000.0 \\ \text{女} & 4500000.0 \end{matrix}$$

白血球計算ハ食鹽水ニテ十倍ニ稀釋ス或ハ食鹽水ノ代リニ〇.五%醋酸水ヲ混シテ血液ヲ稀釋シ同時ニ赤血球ヲ溶解セシム(メチレンブラウヲ加フレバ青染シテ著明ナリ)

(n)ヘミンノ結晶

物体板上ニ血餅 少量食鹽―覆蓋硝子―側ヨリ水醋滴下―小泡沫發スル迄加熱―冷却

(o)糞便ヲ鏡檢スル際蟲卵ト誤ルベキ花粉及蟲卵



t	s	r	qp	no	m	l	k	j	i	h	g	f	e	d	c	ba
有	廣	無	日	蟻	肝	十	鞭	蛔	花	まつ	つ	石	う	姫	百	菊
釣	節	釣	本	住	ガ	二	蟲	蟲	粉	る	松	松	づ	萩	科	科
蟲	裂	頭	住	血	ス	指	蟲	蟲	管	ら	子	子	ぎ	類	合	一〇
	頭	頭	吸	吸	ト	腸				さ			類			
	頭	頭	蟲	蟲	マ	蟲				き						
	頭	頭								ノ						
	頭	頭														

(三)胃液検査

(1)鹽酸反應

第一法—コンゴロト紙ヲ青變
 第二法—ギエンツアルヒ氏液 (フロ、ガルチン、フニリン、無水酒精) 蒸發皿ニ滴下火焰上沸騰セシ
 メズニ乾燥—+胃液—二滴—乾燥—紅色
 第三法—レゾルチン蔗糖液 (白糖、レゾルチン、五、三、〇、〇〇) ナ以テ第二法ト同様處置—薔薇紅色
 稀酒精—一〇〇〇〇〇
 第四法—トロペナリン酒精飽和液—+胃液—帶褐紅色
 第五法—メチールピチレット稀薄液—+胃液—青色

(2)總酸定量

胃液 5c.c. + 適宜ノ蒸留水—+ フェニールフタレイン酒精液二三滴—%ナトロン定規液
 (4%苛性ナトロン水) ナ「ピツレット」ヨリ滴下—全ク中性トナラバ微ニ紅色—定規液使
 用量ヨリ次ノ表ニヨリ%ヲ知ル

(3)遊離鹽酸ノ定量

第一法—胃液—⁺三倍ノエーテル—振盪—凡十五分放置—下ニ沈メル胃液 5c.c.ヲトリ以
下總酸ノ如ク處置ス

第二法—胃液 5c.c.ヲ白金皿ニトル—⁺總酸ヲ中和スルヨリ稍多量ノ $\frac{1}{10}$ ナトロン定規液—
重湯煎ニテ蒸發—「ロシアンランプ」ニテ皿ノ儘燒灼—冷却後蒸留水ニテ溶
解—⁺加ヘタルナトロン液ト等量ノ $\frac{1}{10}$ 硫酸定規液—濾過—表示藥ヲ加ヘ前法
ニヨリコノ中ノ酸ヲ定量ス成績ハ鹽酸量 (ブラウン氏法)

(4) 乳酸反應

1%カルボール水—⁺過クロール鉄液一二滴(紫色トナル)—⁺胃液—カナリヤ黃色
ラーブフェルメント

牛乳—⁺胃液—微ニ加温—凝固

(6) 澱粉消化ノ度

胃液攝取後洗滌セシ液—濾過—⁺沃土沃土加里液 (沃土加里 一、二) —
モノハ良、變色ノ度ニヨリ完全不完全ヲ定ム (沃土加里 三〇、〇) —其變色セザル
ペプシン

煮沸凝固蛋白(直徑〇、〇—厚サ〇、〇〇—ノ圓板)ヲ五立方仙米ノ胃液中ニ入レ^{37°}
ス—⁺稀鹽酸二滴—⁶一時間ニテ消化セバ健(鹽酸アラバ大抵ペプシンアリ)

(8) 胃ノ吸收試驗

〇、二沃土加里ヲ膠囊ニ入レ空腹時内服—口内含嗽—沃土澱粉紙(澱粉糊ニ沃土加里ヲ
溶解セシメ濾紙ヲ濕ホシ乾燥セルモノ)ヲ唾液ニテ濕ホシ硝子棒ニテ發煙硝酸ヲ作用
セシム—紫色(健者ハ十分乃至十二分ニシテ此反應アリ)

(9) 運動試驗

〇、八ノサリチール酸フェニールヲ内用—尿ヲトリ過クロール鉄液滴下—混濁紫色(健
者ハ二十分乃至三十分ニテ此反應アリ)

(10) 胃液攝取法

胃洗滌ニヨリ胃内ヲ清潔トス 蒸留水三 七〇、〇〇^{パン}ヲ食セシメ一時間後ニ攝取—濾過透
明液ヲ試驗用トス (エワルドホアス氏法)

近來本邦人ニ適スト稱シ煎餅、搔餅、麥焦ヲ用フル人アリ

次表ハ五立方仙米ノ胃液ニテ處置シタリシトキ使用セシ定規液ノ量ヨリ%ヲ見出し得

$\frac{1}{10}$ NaOH	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9
0	0	0.0073	0.0146	0.0219	0.0292	0.0365	0.0438	0.0511	0.0584	0.0657
1	0.073	0.0803	0.0876	0.0949	0.1022	0.1095	0.1168	0.1241	0.1314	0.1387
2	0.149	0.1533	0.1606	0.1679	0.1752	0.1825	0.1898	0.1971	0.2044	0.2117
3	0.219	0.2263	0.2336	0.2409	0.2482	0.2555	0.2628	0.2701	0.2774	0.2847
4	0.292	0.2993	0.3066	0.3139	0.3212	0.3285	0.3358	0.3431	0.3504	0.3577
5	0.365	0.3723	0.3796	0.3868	0.3942	0.4015	0.4088	0.4161	0.4234	0.4307
6	0.438	0.4455	0.4526	0.4599	0.4672	0.4745	0.4818	0.4891	0.4964	0.5035
7	0.511	0.5183	0.5256	0.5329	0.5402	0.5475	0.5548	0.5621	0.5694	0.5767
8	0.584	0.5913	0.5986	0.6059	0.6132	0.6205	0.6278	0.6351	0.6424	0.6497
9	0.657	0.6643	0.6716	0.6789	0.6862	0.6935	0.7008	0.7081	0.7154	0.7227

(四) 檢尿法 (理化學的定性定量試驗ニ用フル尿ハ皆拾メニ濾過スルコトヲ要ス)

(I) 蛋白

- (a) 尿—煮沸—混濁—+ 硝酸—混濁著明
- (b) 尿—1—3 容積硝酸—煮沸—混濁
- (c) 硝酸—+ 濾過セル尿ヲ徐々ニ注加—接際白色輪 (ヘルネル氏法)
- (d) 尿—+ 氷醋酸一二滴—+ 黄色血滿盪水溶液—混濁
ビクリン酸
- (e) 尿—+ エスバツハ氏液 (枸橼酸 一〇〇〇) —混濁
水
- (f) 尿—+ 氷醋酸一二滴—+ ピクリン酸濃厚水溶液—混濁
- (g) 尿—+ 二% 硫酸ザリチール酸水—混濁
- (h) 定量 エスバツハ氏定量計 震盪シ二十四時間放置



管ノ數字ハ%ヲ示ス

注意 生理的ニ冬季ニテハ放尿後冷却スレバ白色乃至微紅色ノ混濁若クハ沈澱ヲ作ル

コトアリ然レドモ加温ニヨリ溶解消失ス、バルサム劑内用者ノ尿ハ硝酸ニヨリ
 潤濁スレドモ酒精ヲ加フレバ消失ス

(2) 膽汁色素

- (a) 尿 + 沃土丁幾 - 青綠色
 - (b) 硝酸 + 發煙硝酸 - 二滴 + 尿ヲ徐々ニ注加 - 接際綠色輪 (グメリン氏法)
 - (c) 尿 + クロ、ホルム - 振盪 - 黄色
 - (d) 稀沃土丁幾 + 尿ヲ徐々ニ注加 - 接際青綠色
 - (e) 石灰乳 + 尿 - 濾過 - 沈澱物 + 酒精 - 稀硫酸等分液 - 煮沸 - 上層透明綠色 (フツハルト氏法)
- (3) 膽汁酸
- 硫酸 一滴 混和蒸發皿ニテ蒸發 + 尿ヲ其側ニ滴下蒸發 - 接際紫藍色 (ハツテ
 五百倍蔗糖水 一滴)
 - ンコーヘルノイバウエル氏法)
- (4) 糖
- (a) 尿 + 1/3 容積 10% 加里滿汁 + 硫酸銅液 - 透明藍色 - 煮沸 - 橙色潤濁 (トロンメル
 氏法)

- (b) 尿 + 加里滿汁 - 煮沸 - 黄色 (モーレ氏法)
- (c) 尿 + ニランテル氏液 (セニエツト鹽 ナトロン滿汁) - 煮沸 - 黄 - 黄褐 - 黑褐 - 黑色 (ホエツ
 ナエル氏法)
- (d) 尿 + 冰醋酸 + フェニールヒドラチン - 重湯煎 (強熱) - フェニールグルコザツチン
 結晶 (コノ法ハ鋭敏ナリ)
- (e) 尿 + 醋酸鉛溶液 - 潤濁 - 濾過 - 濾液 + アンモニア水 - 潤濁 - 煮沸 - 薔薇紅色 (ルア
 子ル氏法)
- (f) 尿 + 蒸留水 10.00 + 1 刀尖ノ「チキシルフェニールヒドラチン」 - 火焰上ニ溶解 - 1
 0% 加里滿汁 10.00 + 振盪 - 密栓 - ビナレットロート (リーグレル氏法)
- (g) 定量 - 硫酸銅水 硫酸銅 三四・六三九
 アルカリ性酒 蒸留水 五〇〇・〇〇
 石酸カリナト 比重 - 一四腐蝕ナトロン液 一七三・〇〇
 ロン液 水 三三〇・〇〇
 (變化ナキヲ見テ) 「ビウレット」ヨリ尿ヲ滴下 - 全ク藍色消失シテ銅ハ全ク亞酸化銅ノ
 沈澱トナルヲ度トシ使用セシ尿量ヨリ次ノ式ニテ%ヲ出ス、尿比重 1.030、以上ナラ
 バ稀稀シテ以下トナスベシ、硫酸銅ガ全ク亞酸化銅トナリシヤ否ヤハ濾紙ニ溶液ト一方

ニ黄色血滿液ヲ一滴ヅ、濕ストキハ硫酸銅アラバ各々濕ヒノ接際ニ赤錆色ノ線ヲ表ハス

$$\frac{0.05 \text{ 使用セシ尿ノ量}}{100.0} = X \quad (\text{フーリング氏法})$$

稀薄度

(5) インヂカン反應

(a) 尿 + 同容積ノ過クロール鉄鹽酸 (過クロール鉄純鹽酸) 一〇〇、〇〇、四 + クロ、ホルム — 藍色

(チーベルマイエル氏法)

(b) 純鹽酸 + 一〇%クロールカルク水二滴 + 同容積ノ尿 + クロ、ホルム — 藍色

(ヤツフェ氏法)

(6) デアツチ反應

第一液 $\left. \begin{array}{l} \text{ズルファニール酸} \dots\dots\dots 一、〇〇、〇〇 \\ \text{鹽酸} \dots\dots\dots 五〇、〇〇 \\ \text{水} \dots\dots\dots 九五〇、〇〇 \end{array} \right\} \text{混液ノ一定量} + \text{同容積ノ尿} \text{— 振蕩} +$

第二液 (〇、五%次硝酸ナトリウム水) 五、〇〇
全容積等量ノアンモニア水—猩紅色(コンゴロト水溶液様)

(7) 血色素尿

(a) 尿 + 加里滿汁—煮沸—赤褐色沈澱 (ヘルレル氏法)

(b) 尿 + (癒瘡木丁幾各等分) 注加—接際綠色輪 (シエーンバインアルメル氏法)

(8) 沃土尿 + 發煙鹽酸 + 一〇%クロール石灰水二滴 + クロ、ホルム — 鮮紅色

(9) プローム尿 + 發煙鹽酸 + 一〇%クロール石灰水二滴 + クロ、ホルム — 褐赤色

(10) ザリチール酸尿 + クロール鉄液二三滴 — 褐紫色

(11) 石灰酸尿 — 放置帶綠褐色

(12) 大黃及旃那尿 + アルカリ — 赤色 + エーテル — 着色

(13) サントニー子尿 + アルカリ — 赤色 + エーテル — 着色セズ

(14) 骨滲波拔爾撒誤尿 + 鹽酸 — 濁濁紫紅色

(15) 安知必林尿 + クロール鉄液 — 赤色

(16) アセトアニリド尿 + 鹽酸 — 煮沸後冷却 + 3%アルコール水 + クロール鉄液 — 紅色 + (アンモン) — 綠色

(17) アセトン尿 + 五%プロシードナトリウム液五滴 + ナトロン滿汁 — 赤色 + 醋酸 — 紅色 (レカール氏法)

(18) アセト醋酸尿—十クロール鉄液—褐紫色 (ゲルハルト反應)
(19) 膀胱及腎上皮ノ鏡檢

尿—遠心器—沈澱—沈渣—物體板ト被板ニ挾ム—石灰酸フクシン液ヲ間隙ニ注加—細胞ハ鮮紅色ニ染色 (尿圓嚙モノノ法ニヨレバ鮮明ナリ)

(五) 穿刺液ノ比重

漏出液	一〇一五以下	胸水	一一〇〇以下
滲出液	一〇一八以上	皮膚水腫	一一〇〇以下
		腦水腫	一〇〇八以下

エヒノコックス囊腫内容物

卵巢囊腫

通常二〇二—二〇二四(一〇〇五—一〇五〇)

腎臓水腫

一〇二〇以下(多クハ一〇二〇—一〇一五)

腦脊髄液

一〇〇五—一〇一〇

附

普通尿

凡一〇一五

乳汁

一〇三〇

(六) 理化學検査ニ臨牀上必用ナル器具試薬

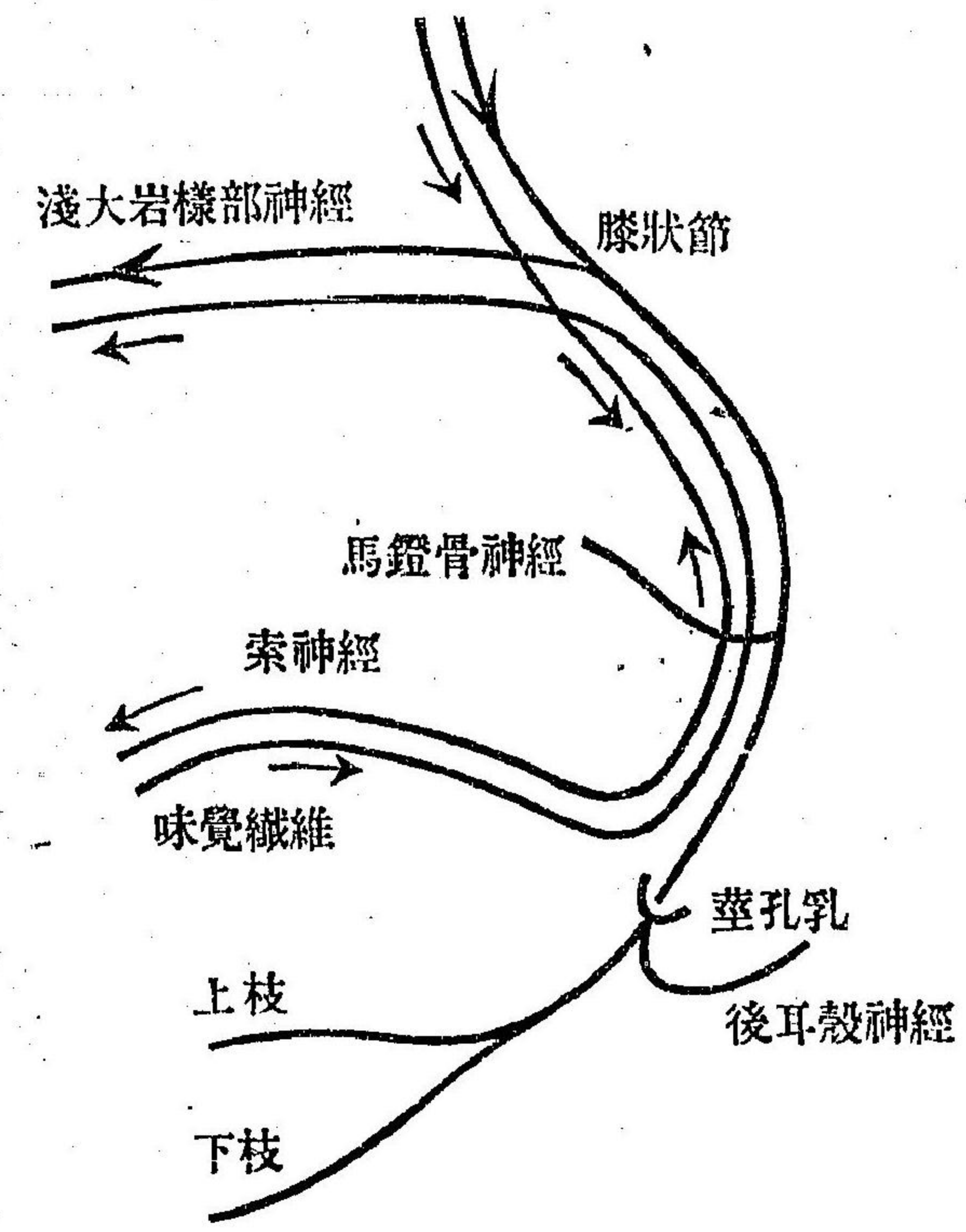
(イ) 器具

試験管立、試験管、硝子漏斗、酒精燈、ロシアンランプ、銅網、コル子ットピンセット、被板、物體板、イルリガートル、シヤール、濾紙、試験紙、白金耳、白金皿、試験管洗刷毛、ピペット、メートルガラス、硝子棒、色素壺、ピウレット及支持器、比重計、ベッヘルガラス、蒸發皿、五徳、顯微鏡、遠心装置、重湯煎、試験管挾

(ロ) 試薬

硫酸、稀硫酸、硝酸、鹽酸、發煙硝酸、^{0.4%}過クロール鉄鹽酸、醋酸、氷醋酸、硫酸銅水、アンモニア水、ニラन्दル氏液、エスマツハ氏液、ピクリン酸水、ナトロン滴汁、加里滴汁、石灰乳、過クロール鉄液、黄色血滴鹽液、稀沃土丁幾、一〇%クロールカルク水、醋酸鉛水、酒精、テレピン油、二%蔗糖水、ヂアツチI液、ヂアツチII液、一〇%スルホザリチール酸水、瘡疥木丁幾、食鹽、フェーリンG第I液、全II液、コンゴロート水、フェニールフタレイン酒精液、ギエンツプルヒ氏液、^{1/10}定規那篤倫液、^{1/10}定規硫酸液、二%石炭酸水、アルコホル、エーテル、クロ、ホルム、フェニールヒドラチン、骨

(七) 顔面神經末梢狀態 (ザリーリ)
 炭末、チール氏液、ガベット氏液、レフレル氏液



(八) 電気反應

生理的
 KSZ
 ASZ
 AOZ
 KOZ
 KSTe

變性反應

感 N、興奮性消失
 M、興奮性消失

平 N、興奮性消失
 M、ASZ > KSZ

不全變性反應

感 N、興奮性減少
 M、興奮性減少

平 N、興奮性減少
 M、ASZ > KSZ

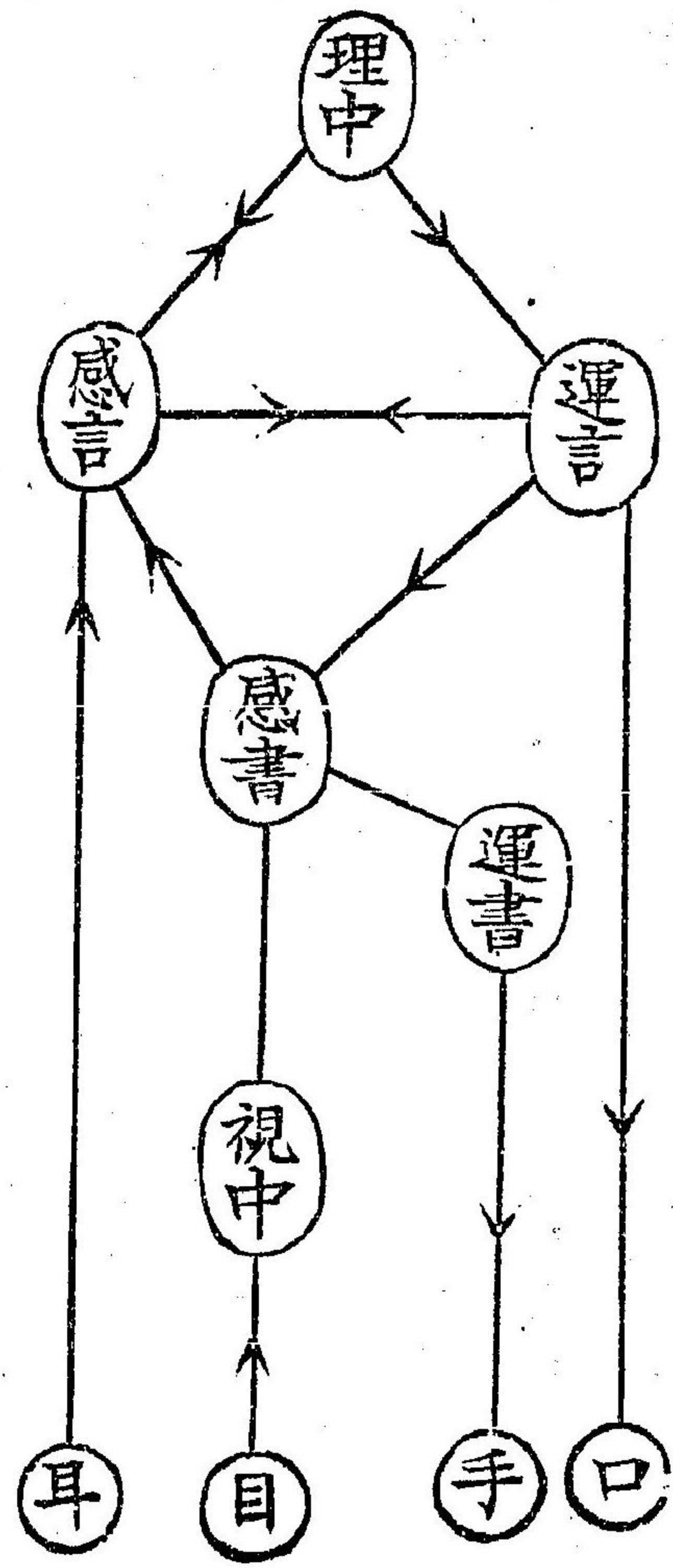
(九) 嗅覺

枸橼油、纈草丁幾、麝香丁幾、薄荷油、茴香油、樟腦油、阿魏丁幾

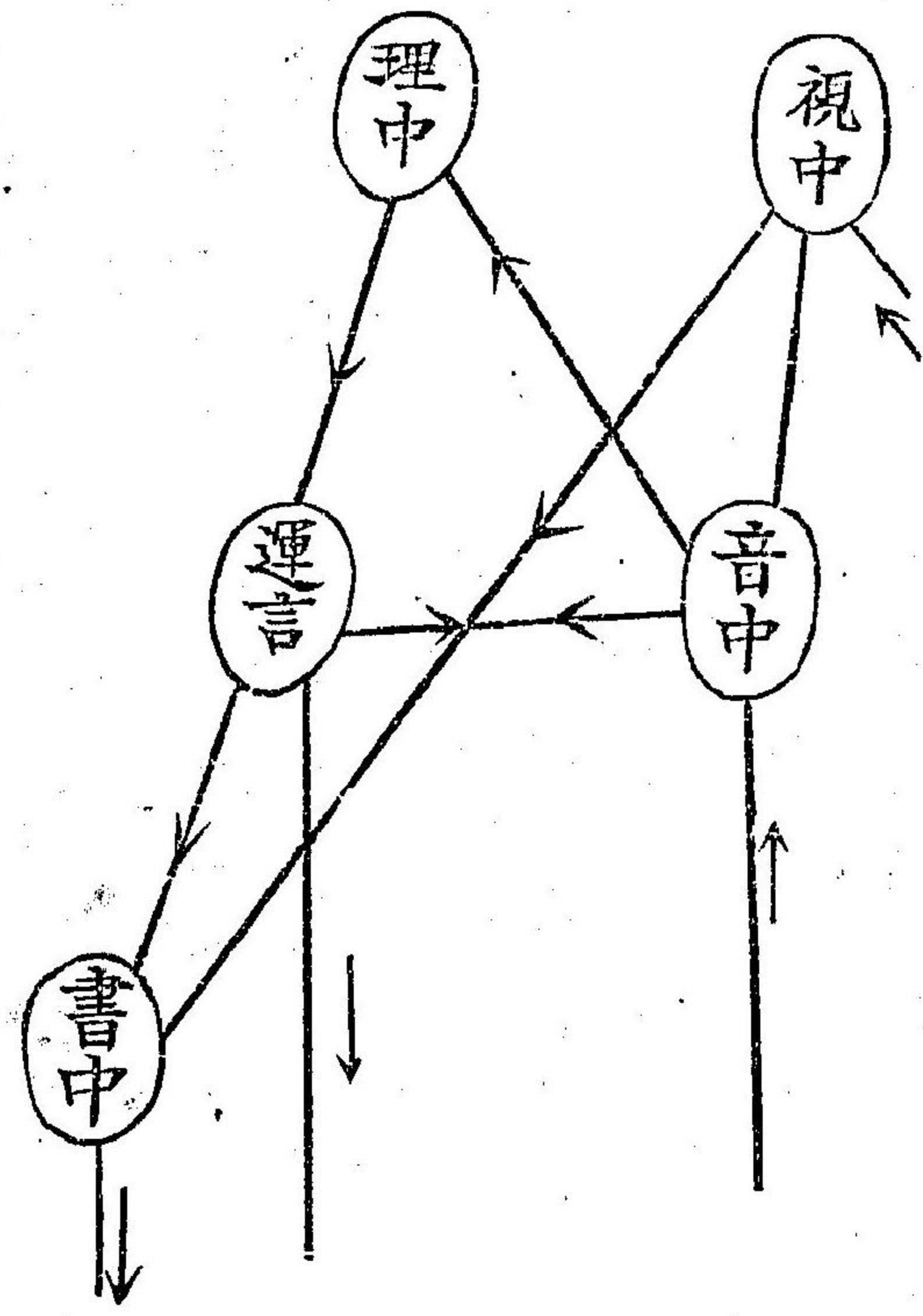
(十) 味覺

食鹽水、硫酸規尼涅水、枸橼酸水、蔗糖水

(三) ザーラー氏ニ依ル



(二) ヒトハイム氏言語ノ想像圖



(三) 脊髓ノ必要ナル反射中樞

毛様脊髄中樞 (皮膚ニ有痛性刺激アル時ニ瞳孔ノ散大ヲ起ス)

上腹壁反射

中及下腹壁反射

提舉筋反射

膝蓋腱反射

臀筋反射

アヒルス腱及足蹠反射

肛門反射

第八頸髓及第一胸髓

第八及第九胸髓

第十乃至第十二胸髓

第一乃至第三腰髓

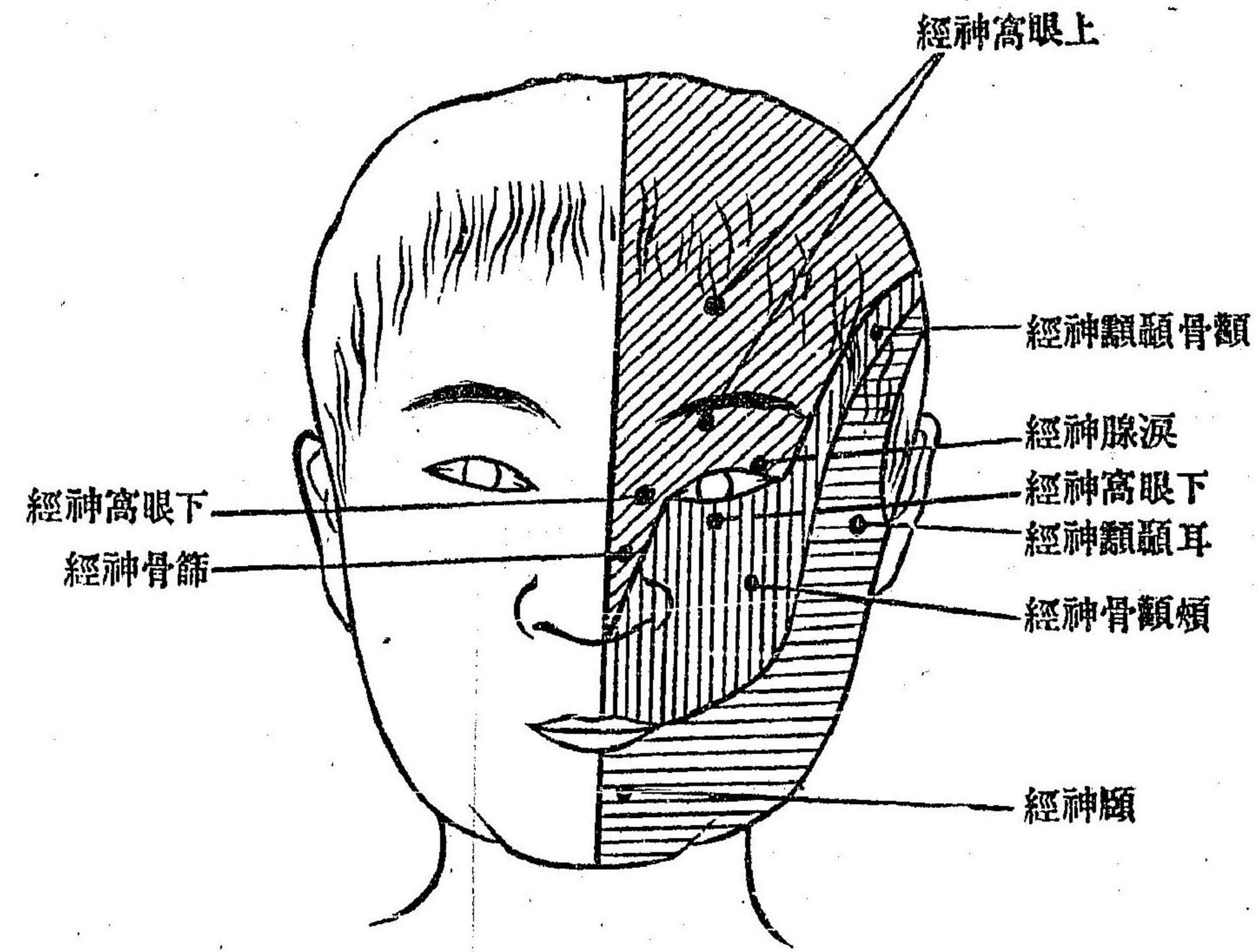
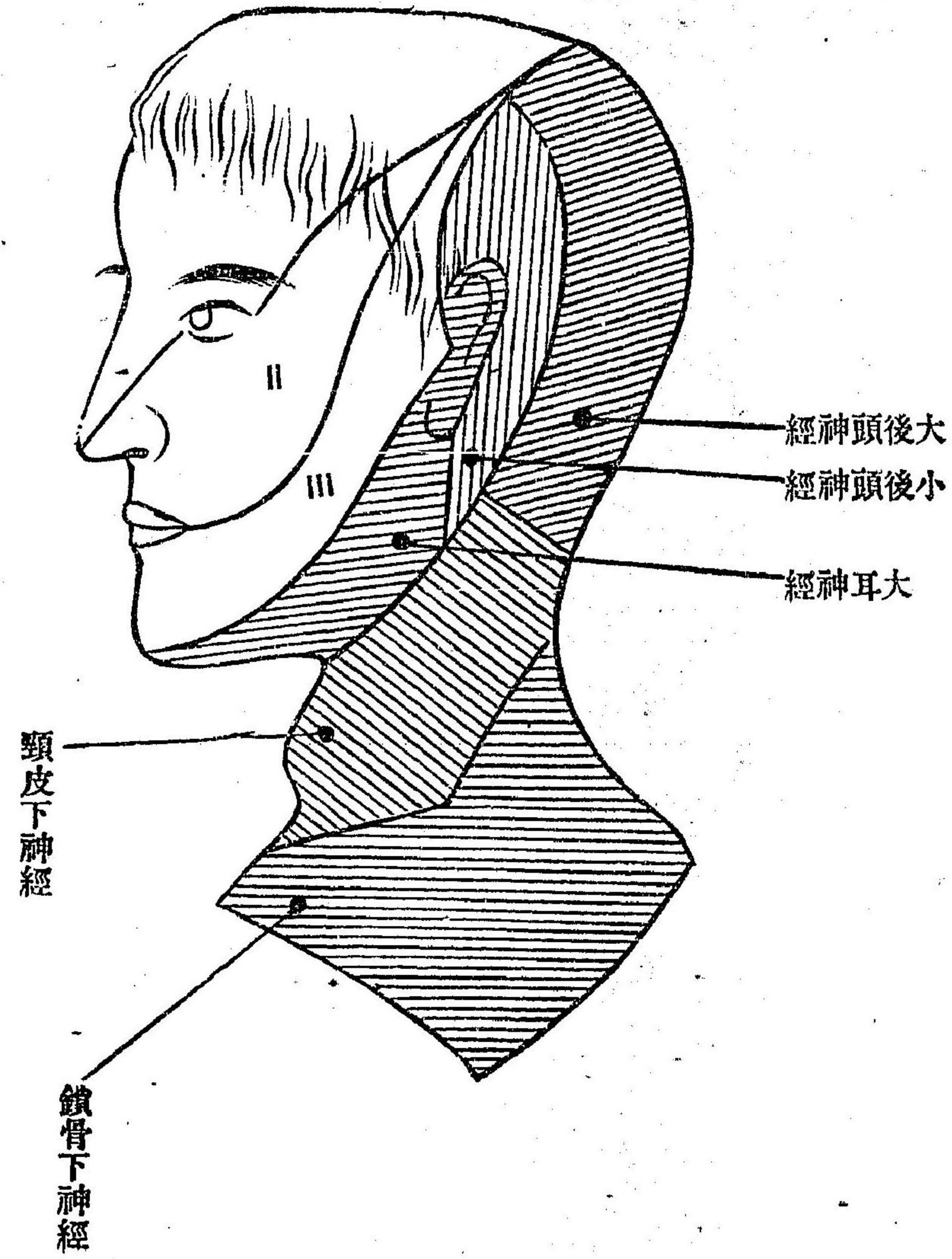
第二乃至第四腰髓

第四及第五腰髓

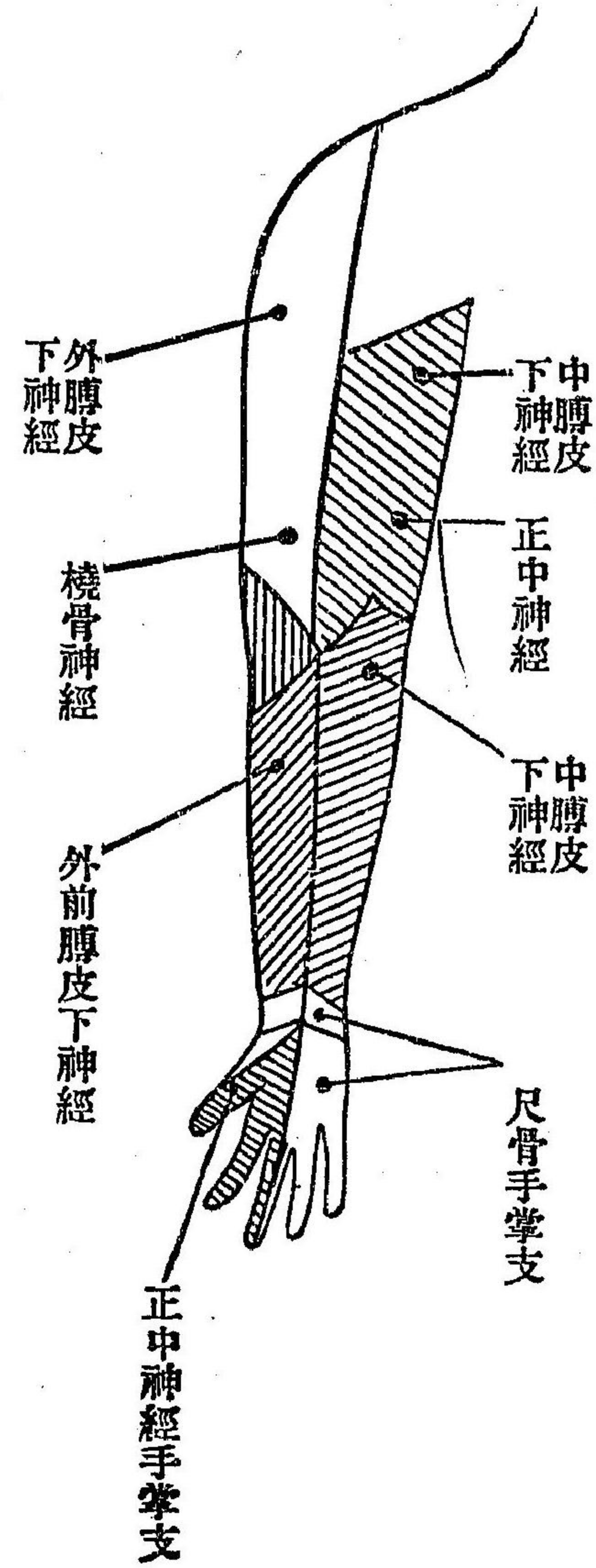
第一及第二薦髓

第五薦髓

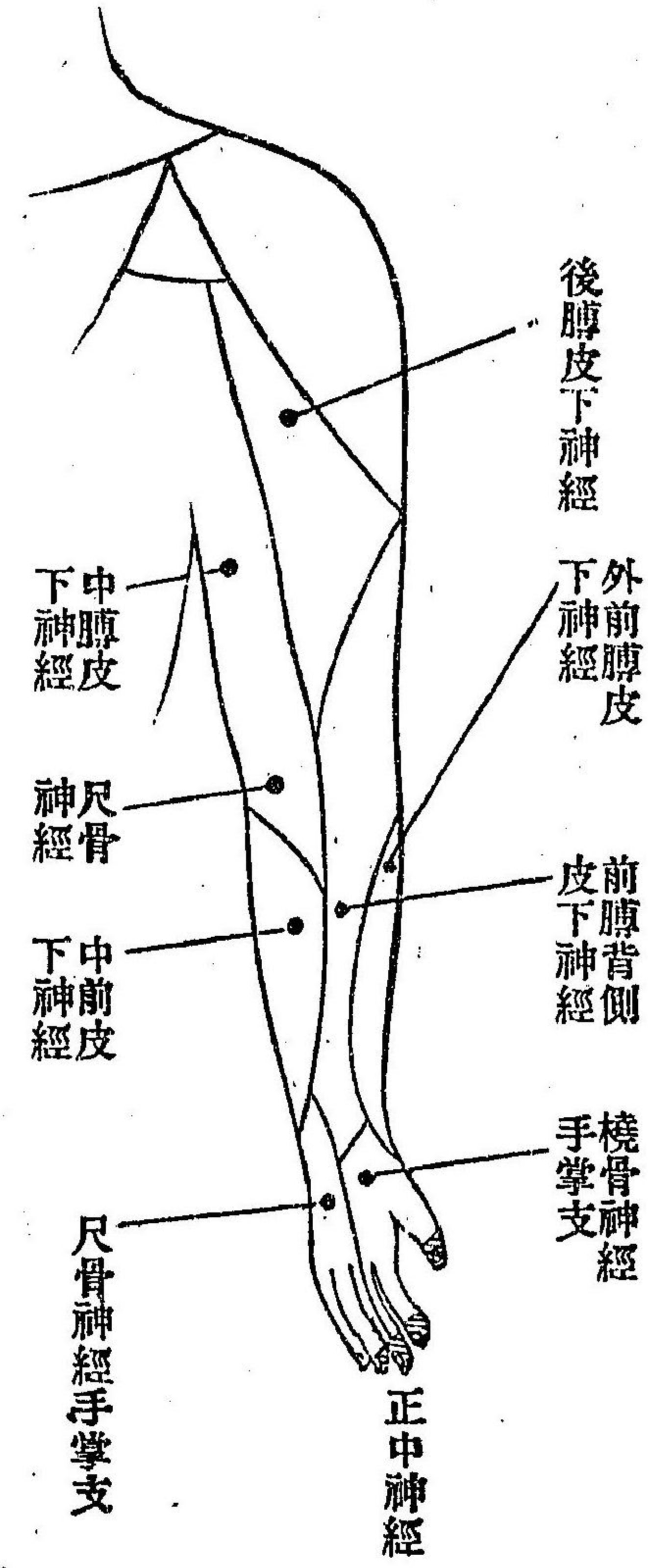
布分經神叉三

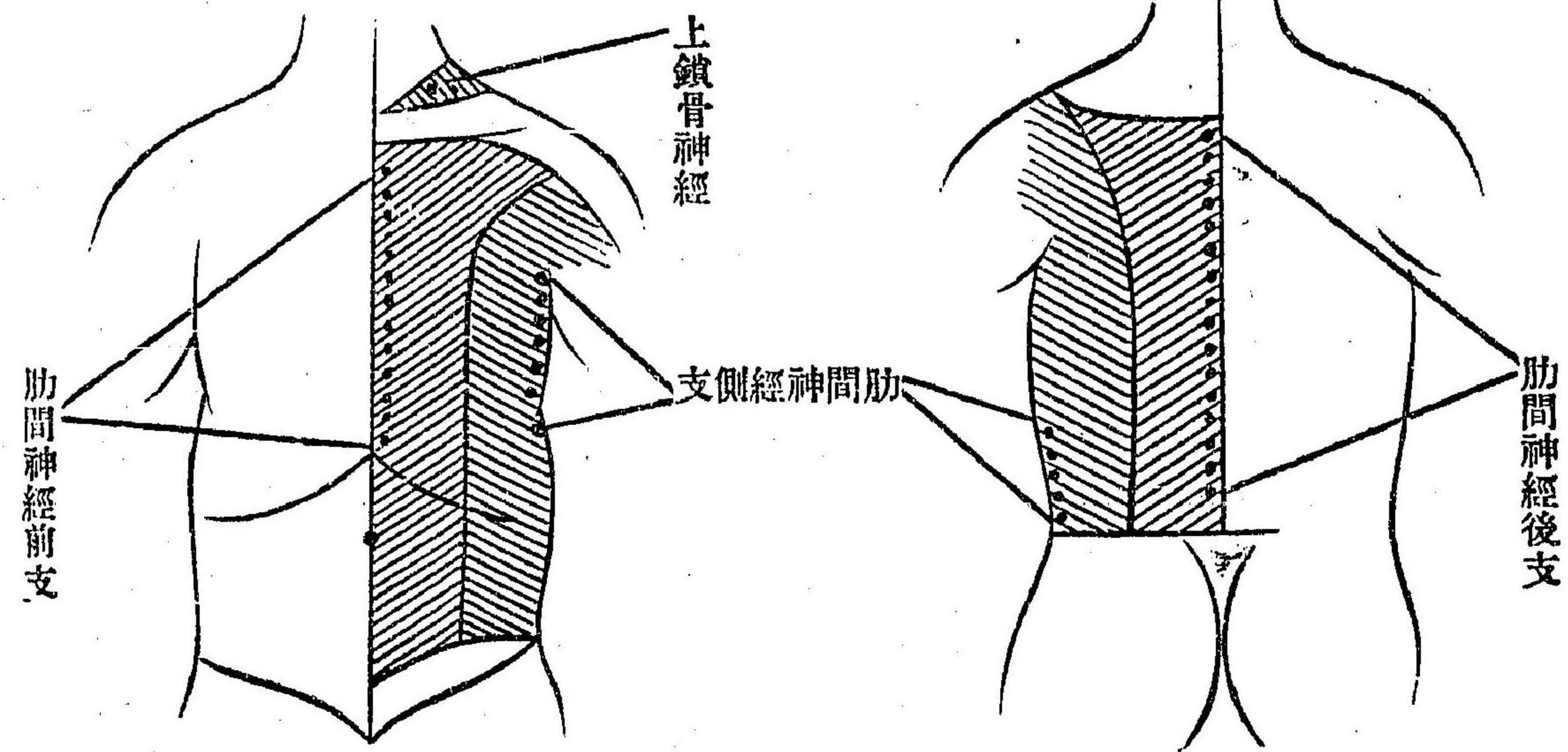
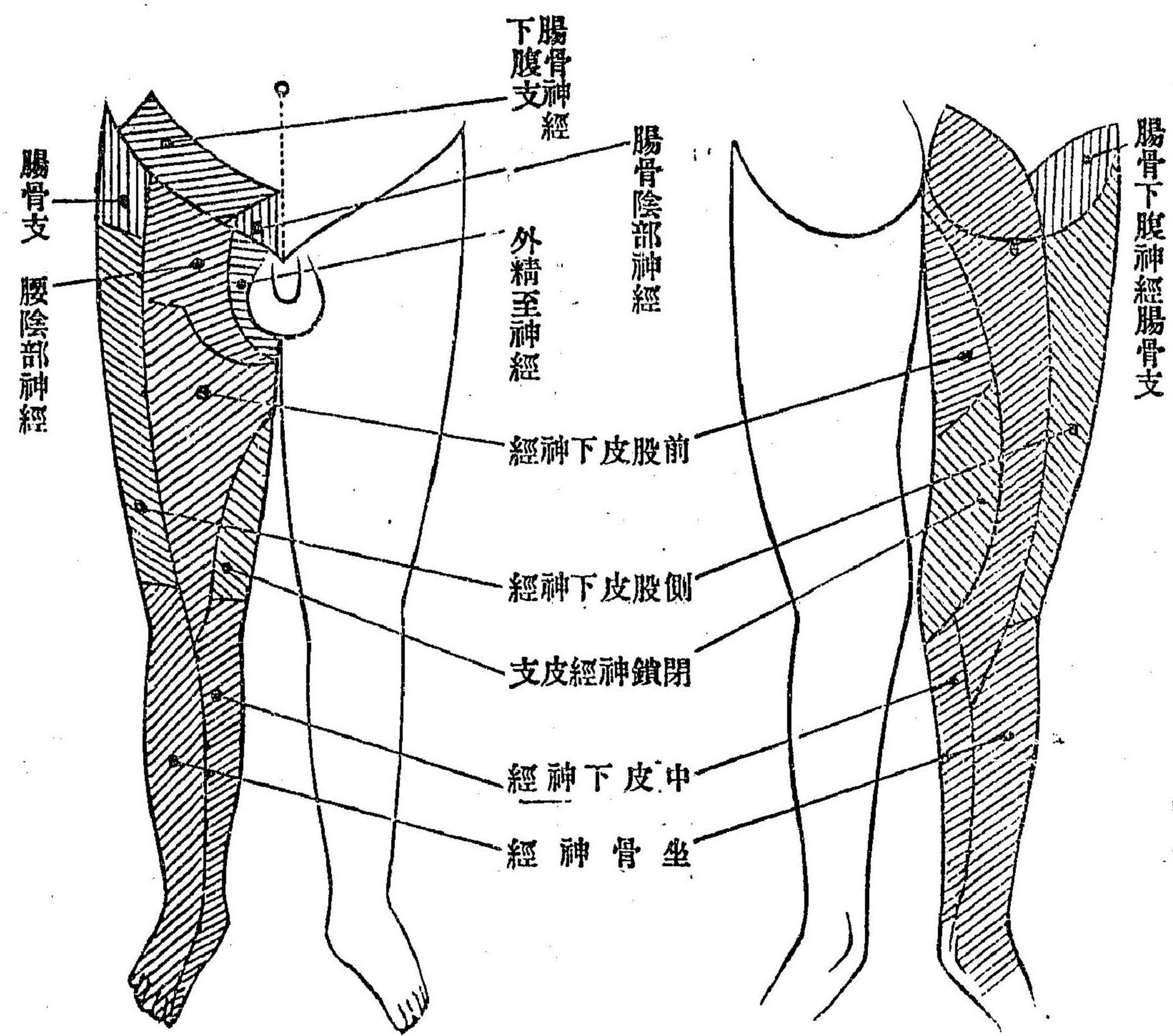


屈側



伸側





(三) 鑑別診斷表及急救療法

中毒ノ症候及療法

藥物名	症	狀	療法
酒 精	腦症狀、麻痺、痙攣、嘔氣、嘔吐、結代脈、心悸、失禁、呼氣ノ酒臭等	新鮮空氣ノ吸入、氷嚢(頭部)、醋ノ浣腸、人工呼吸、咖啡、安門尼亞水、虛脫ノトキニハ樟腦油注射	
莫比、(阿片) (急性)	嘔吐、惡心、脈搏細徐、嗜眠、呼吸不正、皮膚蒼白、流汗、小兒ニテハ痙攣	第一着ニ吐劑、胃洗滌、咖啡浸、濃茶、單仁酸、亞篤呂比涅	
ストリヒニン	角弓反張、呼吸困難、窒息、牙關緊急、全身筋強直、興奮性増進、知覺正常、瞳孔散大	發作時ニハタロ單仁酸水ノ胃洗滌、吐劑(アホモルヒン)ノ使用、痙攣ニ對シテハ、クロ、ホルム麻酔、又ハ含水クロラール、又人工呼吸、(カンホルチ用フベカラス)	

クロ、ホルム	ニコチン(煙草) 中毒	アトロピン (莨菪)	コカイン	實斐答利斯
瞳孔散大、呼吸ノ絶止、脈小不正、窒息、又クロ、ホルムヲ吸入スルコト僅々數回ニシテ突然脈搏消失シ、顔面蒼白、呼吸ハ少時ニシテ絶止シ、心臓麻痺ニヨリ死ス	失神、嘔心嘔吐、下痢、眩暈、呼吸困難、強直	瞳孔散大、調節障害、口内及咽頭ノ乾燥、渴、音聲嘶啞、嚔下困難、顔面潮紅、皮膚ノ猩紅色、眩暈、脈及呼吸ノ緩徐、譫語、幻覺、蛋白尿、血尿	蒼白、惡心、嘔吐、腹痛、眩暈、心悸、耳鳴、瞳孔散大、呼吸困難、シヤイ子ストツク呼吸、チアノーゼ、虚脱、痙攣	惡心、嘔吐、胃部壓迫ノ感、膽石、痙攣、下痢、脈ノ緩徐(硬)、頭痛、尿閉、虚脱、心臓麻痺
新鮮ノ空氣、人工呼吸、心部ノ按摩、頸部ニ感傳	單仁水或ハ沃丁水(15g:1000c)ニテ胃洗滌、咖啡、コニヤック、安門尼亞茴香精、莫比注射、人工呼吸	吐劑、(アボモルヒン)、單仁水或ハ過滿酸加里水ニテ胃洗滌、莫比、醋、浣腸、頭部ニ水囊	單仁水又ハ過滿酸加里水ニテ胃洗滌、亞硝酸アミール(三滴ヲ手拭ニシテ)吸入、胃部心部ノ芥子泥、痙攣ニハ含水クローラル、人工呼吸	胃洗滌、濃茶、カンホル、エーテル、阿片、芥子泥、利尿劑

フエノール、クレタリン、トリクレタリン	依弟兒	クロラール	珊瑚篤寧	麥角
口唇及口腔粘膜炎白色、嘔吐、眩暈、失神、過度ノ發汗、脈小、體溫下降、尿ノ暗綠色、高度ノ場合ニハ虚脱、心臓及呼吸運動絶止	全身知覺脱失、人事不省、呼吸困難	麻酔、顔面潮紅、呼吸緩徐、チアノーゼ、心臓搏動絶止、呼吸麻痺、體溫下降、心臓麻痺	眼球震顫、黃視、眩暈、嘔吐、下痢、臭味ノ錯覺、瞳孔散大若ハ縮小、痙攣、尿帶綠黃色(加里滿汁ニヨリ猩紅色)呼吸困難、窒息	胃腸加答兒、眩暈、皮膚ノ蒼白、冷却、筋ノ無力性、脈細ニシテ徐呼吸延長、麻痺現象、痙攣、四肢蟻走ノ感、體溫下降、昏睡ニヨリ死
糖化石灰水(30:1000c)ノ胃洗滌又ハ内用(頓服量凡ハ)後、硫酸ナトリウム(凡80g)、氷片、興奮劑(酒精)	新鮮ナル空氣、人工呼吸、横膈膜ニ感傳電氣、ストリヒニーン(0.01:100c)一筒注射、冷水灌漑	胃洗滌、人工呼吸、心臓部按摩、電氣、ストリヒニーン注射(0.02:100c)一筒、興奮劑、(コフエイン)、皮膚刺戟藥	胃洗滌、下劑、クロラール、興奮劑	下劑、(甘草)、單仁、莫比、興奮劑

ア ニ リ ン	蓼 酸	カ ン タ リ ス	河 豚	菌
眩暈、頭部昏惰、脈呼吸ノ増加、呼吸困難、チアノーゼ、惡寒、體温下降、瞳孔散大、鬱血尿、歩行蹣跚、メトヘモグロビン尿、昏睡、痙攣	口腔及咽頭内灼熱、嘔吐、胃痛並シ、尿閉、蛋白尿、失神、體温下降、脈ノ増加、不正、瞳孔散大、手足厥冷、虚脱	口内灼熱ト水泡形成、嚥下困難、流涎、吐血、下血、鼻腔疼痛、腎臟部疼痛、尿意頻數(蛋白尿、血尿) 譫語、痙攣	運動知覺麻痺、脈結代、呼吸緩徐、死、輕症ニテハ嘔吐頭痛、舌運動及嚥下困難、四肢ノ厥冷、チアノーゼ、瞳孔散大不動	惡心、流涎、發汗、吐瀉、眩暈、視力障害、脈ノ緩徐ニシテ小、痙攣、幻覺、麻痺、昏睡
酸素ノ吸入、又ハ新鮮ナル空氣、興奮劑、胃洗滌	糖化石灰水(30:1000)ノ胃洗滌、硫酸(50頓服)、氷片、卵白、阿片、興奮劑	胃洗滌、阿片護膜合劑、氷片、アルカリ性飲料、温坐浴、温水膀胱洗滌、脂肪食ヲ與フベカラズ、カンホルチ用フベカラズ	吐劑、胃洗滌、人工呼吸、ストリヒニン、カンホル注射	人工呼吸、吐劑、單仁水浣腸、アトロピン注射、興奮劑、食鹽水注入、(Ca.5000)

加 里 滴 汁	ア ン モ ニ ヤ	吐 ン チ 酒 モ ン 石	砒 石	鉛 鹽 類 (鉛 糖)
口腔粘膜ノ腐蝕(白色混濁)食道胃ノ灼熱ノ感、脈不正、四肢厥冷、下血、嘔吐、血尿、腹膜炎、虚脱	流涎、嘔吐、腹痛、下血、アルカリ尿、眩暈、痙攣、虚脱、呼吸困難、吸入ニヨルトキハ咳嗽、呼吸困難、肺水腫、窒息死	口内灼熱、鐵味、流涎、惡心、頑固ノ嘔吐、痙攣、コレラ様ノ下痢、小ニシテ數脈、皮膚厥冷、チアノーゼ、遊走性ノ播擲、虚脱(嘔吐ハ必ズ缺損セズ)	頸部狭窄ノ感、嚥下困難、渴、コレラ様吐瀉、米泔汁様便、腓腸コリ、痙攣、チアノーゼ、蠟走ノ感、脈部小不正、皮膚蒼白、厥冷、失神、頭痛、眩暈、虚脱	流涎、鐵味、白色塊物ノ嘔吐、痙攣、血便、脈硬クシテ徐、四肢ノ麻痺、知覺鈍麻乃至脱失、失神
酸類(蜜柑、醋、枸橼酸、酒石酸)卵白、牛乳、油劑、氷片、麻酔劑、興奮劑	醋酸吸入、枸橼酸、牛乳、油劑、氷片、麻酔劑、興奮劑、氣管切開	單仁水ノ胃洗滌、多量ノ水、牛乳、卵白、氷片、阿片、興奮劑、エーテル、ガキタリス、ストロファンツース	吐劑(硫酸銅)、胃洗滌、砒石解毒劑 I. 硫酸銅 100.0 II. 水 250.0 III. 水 15.0 IV. 水 250.0 I. II. ナ用ニ臨テ混ス(一回量Ca20.0)	吐劑、硫酸ナトリウム又ハ硫酸水ノ胃洗滌(40:1000)若ハ内服、卵白、牛乳、興奮劑又莫比、阿片

炭酸又ハ酸化炭素中毒	燐	沃度	青酸	クロール瓦斯
頭痛、眩暈、耳鳴、眼球震顫、嘔吐、心時トシテ顔面潮紅、呼吸促進、體溫下降、失神、痙攣	胃痛、蒜狀臭ノ吐物(暗所ニ光ヲ發ス)通常三―四日ニシテ黃疸輕熱、黃紅色澤ノ嘔吐、肝ノ增大、皮膚粘膜ノ出血、昏睡ニヨリ死ス及蛋白ヲ含ム	蒸氣吸入ヨニル中毒ハ多ク咯血及衄血ヲ起ス	眩暈、頭痛、痙攣性呼吸、視力障害、瞳孔散大、失神、心臓及呼吸麻痺ニテ死ス	呼吸困難、結膜刺戟ノ感、氣管支加答兒、血痰、胃加答兒、下痢、胸部刺痛
新鮮ノ空氣、酸素吸入、安門尼亞吸入、人工呼吸、橫膈膜感傳、興奮劑	胃中ニ尙アラバ吐劑、過満俺酸加里水ノ胃洗滌、古キテルメンチン油 (F. M. S. 40gtt) (F. M. S. 45gtt) 以上 In capseln. (F. M. S. 50.0) 荷湯水 50.0 以上 以上 アルカリ性飲料、食鹽水	療法トシテハ「クロール」瓦斯中毒ニヨルベシ	胃洗滌、(卵白水、曹達水) 氷片、阿片、興奮劑	新鮮ノ空氣、水蒸氣又ハ安門尼亞瓦斯吸入、麻酔劑、硫酸ナトリウム、牛乳、卵白

鹽 剝	亞鉛(コトニ、グロール亞鉛)	水 銀	礦 酸	銅
胃痛、嘔吐、下痢、呼吸困難、チアノーゼ、皮膚ノ汚穢灰色、黃疸、小ナル脈、尿ノ黑濁(メトヘモグロビン)、心臓麻痺	口腔咽頭ノ灼熱、鑛味、流涎、高度ノ衰弱、赤痢様下痢、尿閉、高度ノ衰弱、虛脱	胃加答兒、流涎、鑛味、血液嘔吐、孔性腹膜炎、下痢、虛脱、血尿、穿	咽頭口腔ノ實扶埜里様白色義膜(腐蝕)褐色又ハチリア様色ノ嘔吐、吐劇痛、下痢、虛脱、血尿、穿	口内ノ流涎、青蒜色物嘔吐、鑛味、流涎、痙攣、裏急後重、痙攣、皮膚厥冷、神經症狀、知覺脱出、譫語、虛脱
時ヲ經ルコト久シカラザレバ胃洗滌、氷片、阿片、興奮劑、(アルロール)、アルカリ性飲料、利尿劑(醋劑液、安息香酸ナトリウム、コフエイン水(4:10))半又ハ一筒注射、ピロカルピン水(0.5:10.0)半又ハ一筒注射、酸及炭酸飲料ヲ與フベカラズ	胃洗滌(單仁水、曹達水、磷酸曹達水) 阿片、興奮劑	氷片、卵白、鐵粉(20)、硫酸鐵水、食鹽ヲ用フベカラズ	多量ノ石鹼水内用、假製麻偏涅矢亞水、蛋白、氷片、麻酔劑	黄色血濁鹽水、卵白水、假麻水ノ胃洗滌、鉄粉(20)ヲ牛乳ニ混シテ頓服、一日數回、流腸、乳糖、阿片、興奮劑

救急療法

脱血	脚氣衝心	コレラ虚脱	急性穿孔性腹膜炎	咯血
○、七—〇、九%食鹽水五〇〇、〇—八〇〇、〇注入 カンホル注射 芥子泥ヲ心部ニ貼用 興奮劑(カンホル、コフエイン、麝香、赤酒) 四肢ノ切創等ナラバ上部ヲ兎ニ角一時ク、ルベシ	心部ノ氷巻法、靜脈瀉血、興奮劑、安靜	○、七—〇、九%食鹽水五〇〇、〇—一〇〇〇、〇ヲ注入 興奮劑、エーテル、カンホル注射 食鹽及熱粥ノ腹部巻法 心ノ芥子泥貼用、芥子泥ノ坐浴、安靜 赤酒、カンホルノ内用	疼痛ニ向テ麻酔劑(モロ、コデイン、アチステシン等ノ内用) 興奮劑、氷片ノ嚥下 腹部ニ套管針ヲ刺入シテ、六—〇、九%ノ食鹽水ヲ以テ腹腔洗滌 安靜、流動食又ハ滋養洗滌	止血劑ノ注射(アドリナリン、麥角) クロール鉄ノ吸入、飽和食鹽水ノ内用 麥角劑ノ内用、仰臥位、腹位ヲトラスベカラズ(言語ノ禁止 興奮劑、胸部ノ氷巻法、冷流動食(温熱物ヲ禁ズ))

腹ノ重疊等ニヨ ル頑固ナル便秘 ヨリスル虚脱 腹部ノ緊満	急性腸胃加答兒	下血	吐血
手術前ニ先ヅ内科的ニ之レヲ試ムベシ カンホル、エーテル注射 温テレフ油(八〇〇、〇—一〇〇〇、〇)ニ、リチ子油(五〇、〇ヲ加ヘ食道 消息子ニヨリ大腸ニ高壓洗滌(七尺—八尺ノ高サヨリ)イルリガートル)ヲ 以テ)時トシテヨク奏功ス、アトロピン注射 安靜、嘔吐等ニハ平野水、セルテル水、リモノナーテ	嘔吐ハ之レヲ止メズ自然ニ放置 甘朮(〇、五—〇、七—〇、八)頓服 リチ子油(二、五—〇、二—〇、〇)頓服 後、止下劑、收斂劑、胃腸ノ消毒劑 腹部一般ノ温巻法、頭部ノ冷巻法 興奮劑、消化性ノ食料	腹部ノ氷巻法、止血劑ノ内用及注射 下部ニシテ灌腸液ノ達シ得ルト想像セバ收斂劑ノ灌腸 (〇、五—一、〇%タンニン水(五〇〇、〇—一〇〇〇、〇)洗滌) 安靜、氷片嚥下、流動食 興奮劑、仰臥位	胃部ノ氷巻法 アドリナリン、クロール鉄、麥角等ノ内用、皮下注射 興奮劑、流動食 氷片ノ嚥下、安靜、仰臥位

糖尿病ノ昏睡	凍冷ニヨル假死	一般ノ呼吸困難	溺死及一般ノ假死
アルカリ性劑ノ内用 食鹽水乃至重曹水ノ注入 興奮劑	雪塊ヲ以テ先ヅ全身ノ摩擦 人工呼吸、興奮劑注射 家屋内ニ移シテ、温度ヲ與フ、(急ニ温抱スベカスズ) 人工温ヲ與ヘズ、(微温湯、灌漑、煖爐、温浴、炬燵、温抱 興奮劑ノ内用)	新鮮ナル空氣、酸素瓦斯ノ吸入 喘息及其他發作性ノモノハ室ヲ開キテ空氣ノ流通ヲヨクセバ可ナリ 一般症狀増悪ノ場合ハ脈ノ結代及心臟力ノ減弱ヲ合併ス コノトキハ興奮劑、心臟藥 結核末期等ニハ莫比、カンホルチ同時ニ注射ス(但莫比ハ肺結核ニハ特ニ 注意ヲ要ス) 法痰ニハヒ子ガ浸ニ安門茴香精ヲ加ヘ與フ	次ノ場合ニハ蘇生ノ見込アリ 一、瞳孔散大セザルトキ 二、皮膚ヲ指ニテ捻テ多少ノ發赤ヲナストキ 三、四肢ヲ結摺シテ多少ノ靜脈怒張ヲ見ルトキ 四、口鼻ニ「カラス」乃至鏡ヲオキテ少シニテモ曇ルトキ 五、一部ヲ切り出血スルトキ 溺死ニハ腹臥位トシテ嚙下セル水ヲ吐カシムベシ 人工呼吸、安門尼亞ノ吸入、稀醋酸ノ鼻腔點滴 肺臟ニ人工的ゴム管等ニテ空氣ヲ送ル 腹壁乃至胸壁ヲ手掌ニテ打撲、横隔膜ニ電氣感傳 興奮劑

腦出血	衄血	咬創	火傷
安靜、頭部ノ氷巻法 沃土劑内用、附近ノ靜肅 癲癩發作等ハ安靜ニシテ放置スベシ	鼻腔ノ冷水灌注 鹽化アドリナリン塗布又ハ噴霧、一〇%クロール鉄液噴霧、マンボン 頑固ナルトキハ「ベロツク」ノ管ニテ「マンボン」	靜脈ノ求心部ヲ結摺シテ當該部ニ大ナル創面ヲ作り、食鹽水ニテ洗滌 少シク時ヲ經タルモノナラバ、當該周圍ヲ可及的大ニ切除 蜂虻ノ刺創ハ安門尼亞水ノ塗布	第一度 チレーフ油塗布、繃帶 第二度 一部ヲ刺シテ水泡液ヲ出シチレーフ油塗布(皮膚ヲ取ラズニ)繃帶 第三度 ヨカイン水ノ塗布、石炭酸チレーフ油乃至ワゼリンノ塗布、繃帶 第四度 切除、清涼劑ヲ與フ 興奮劑

失 神	異 物 嚥 下	尿 毒 症	ヒズ テリ ー性 不眠、 痙攣、 苦悶
温水ノ灌漑、後冷水ヲ注瀼 興奮劑内用、乃至注射、清涼劑 原因ニヨリ頭部ノ低下乃至高位 安靜	義齒等ハ外科専門醫ニヨルノ外ナシ 縫針乃至帽頭針等ノ嚥下ニハ、馬鈴薯、薩摩芋等多量ニ糞便ヲ作ルモノヲ 患者ノ堪ヘ得ル極度ニ食セシメ排泄傾ヲ檢スベシ 果物ノ核、貨幣ハ多クノ場合ニハ障害ナク經過ス	尿臭ヲ放ツモノハ安息香酸〇、〇五チカンホルニ混シ一二時間ゴトニ與フ 其他サリチール酸(〇、五)一時間毎ニ 脈ノ不正ニハデキタリス 利尿劑、興奮劑(エーテル、カンホル、麝香) 峻下劑、發汗劑内用乃至皮下注射(ピロカルピン) 枸橼酸リモナーテ、瀉血、水蛭 套管針	莫比乃至蒸留水ノ皮下注射 クロラール、プローム劑ノ注腸 感傳電氣

縊 死	膀 胱 出 血	尿 閉	會陰部ノ打撲及 之ニ伴フ血尿
絞條ヲ去リ、新鮮ナル空氣 人工呼吸、皮膚刺戟	安靜、下腹部ノ水巻法 アドリナリン水又ハクロール鉄水ノ膀胱洗滌、刺戟性食物ヲ禁ズ 止血劑ノ内用注射	下腹部ノ溫奄法、電氣、カテーテルノ挿入 原因アラバ原因療法	會陰部ニ二%鉛糖水濕布 安靜、無刺戟性食料

鑑別診断

喉頭結核	疼痛殊ニ嚥下時 發生緩慢 病竈蒼白 小ニシテ數個 肺ノ結核アリ 聲帶後附着點 結核菌
梅毒	輕シ 發生徐 潮紅 孤立 梅毒症狀 會厭軟骨 スヒロヘーテパ ルリダ

喘息	呼吸ノ困難
聲門ノ疾病	後環狀破裂筋麻痺 聲門痙攣 聲門水腫 共ニ吸氣困難
	發作時以前ニ變化ナシ
	發作時以外ニ變化アリ
	發作性
	持續性

吐血	嘔吐運動ニヨル 暗紅色 食物成分ヲ有ス 酸性 血便 消化器症狀アリ
咯血	咳嗽ニヨル 鮮紅色 氣泡粘液ヲ有ス アルカリ性 血便ナシ 肺及心臟ノ症狀アリ

肺炎	熱ハ突然惡寒 熱分利 下葉ノ濁音 咯痰ノ固有菌
肺ノ他ノ疾病	毛細氣管支加管兒 不定 濁音ナシ 肺結核 濁音ハ肺尖ヨリ 咯痰ニハ固有菌

加答兒性肺炎	發生徐々 兩側 濁音下ヨリ上へ、脊柱ノ兩側 ラツセル 弛緩熱、散換 粘液痰
コロブ性肺炎	突然 片側 肺葉ニ一致 I III期ノ捻髮音 II期ノ氣管支音 稽留熱分利 鉄繡色痰

濕性肋膜炎	熱ハ惡寒ニ上リ 徐 濁音界前ニ低ク 後ニ高シ 重濁音 壓迫症狀アリ 聲音震盪弱消失 呼吸音弱乃至消 失、摩擦音 患部擴張 滲出液アリ 咯痰ナキカ若ク ハ少量 熱ニ定型ナシ
肺炎	惡寒、戰慄、急 肺葉ニ一致 半濁音 ナシ 亢進 有響ラツセル 氣管支音 擴張ナシ 滲出液ナシ 鉄繡色痰 定型アリ
肺骨カリエス	肺ニ變化ナシ 疼痛ハ一肋骨ニ 限局 患部限局性ノ膨 隆

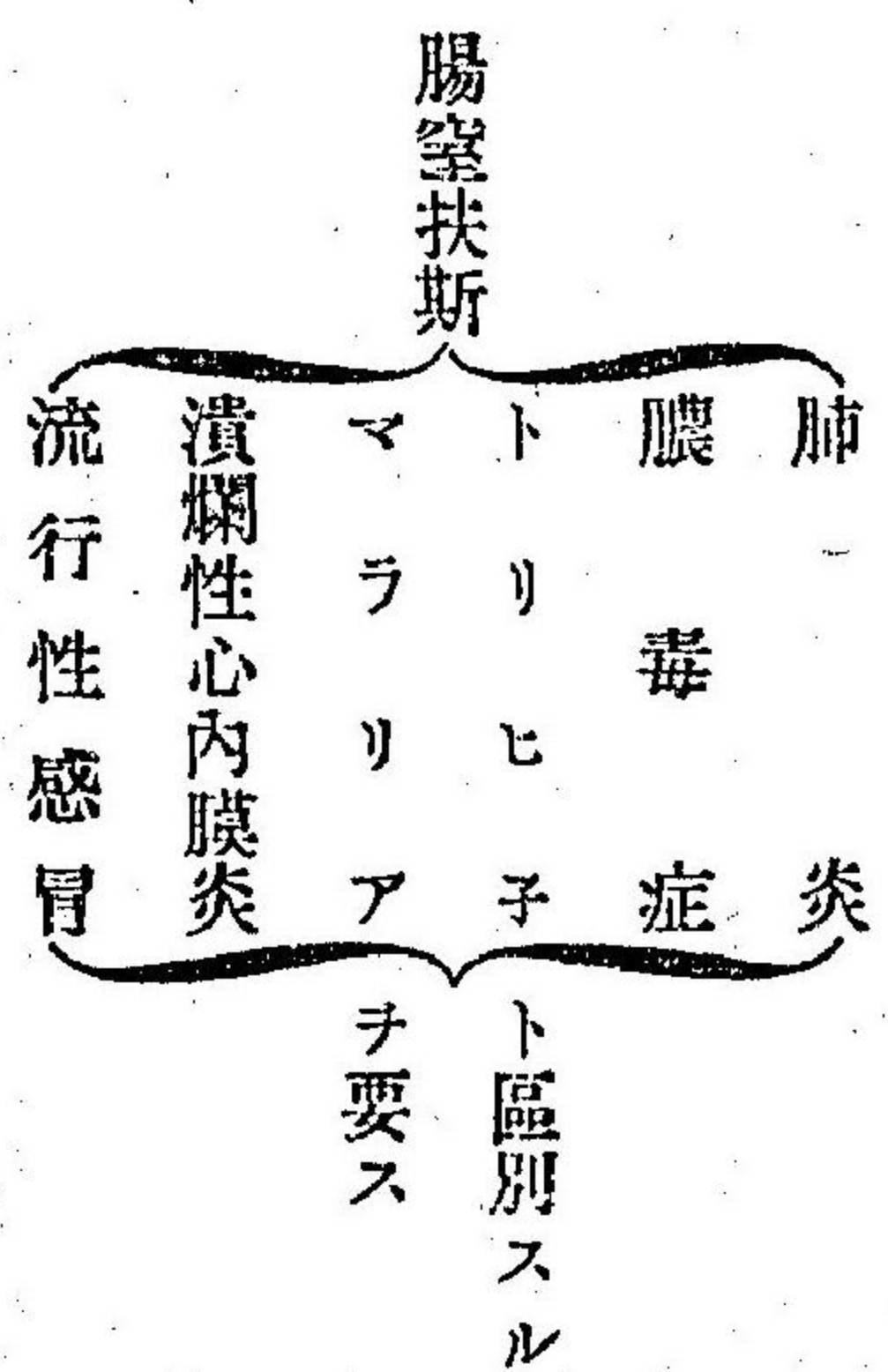
肺壞疽	微菌性氣管支栓 子 脂酸結晶多 ヘマトイゲンノ 結晶、彈力纖維 多シ 咯痰多シ
肺膿瘍	ナシ 少シ 少シ 少シ

肺 サ ス ト マ	胸廓變化少 咯淡水飴狀粘稠 咯出容易
肺 結 核	著明 綠紅色血痰、泡沫 多シ、混合傳染ノ トキハ膿狀 咯出困難 固有菌 咯血後熱發、盜汗 營養侵サル 農民ニ少シ

肺 腔 洞	胸廓陷沒 音聲震盪亢進 ラツセル多高調
氣 胸	隆起 弱又ハ消失 少低調 壓迫症狀ナシ アリ ウキントリヒ響變換 アリ 振盪音ナシ 腔ハ多ク上部 全部

肋 膜 炎	濁音部體位ニヨリ不 變後高前低 濁音部呼吸運動ニテ ハ不動 壓迫症狀大 原因ハ ロイマチス性 結核性 感冒性 外傷性(殊ニ打撲) 液比重高 炎性症狀アリ 片側(乃至兩側)
胸 水	變化ス 起立位ニテハ水平 動ク、震盪音ヲ聽 ク 小 鬱血性 血液性 液比重低 ナシ 兩側

腸 窒 扶 斯	前驅期アリ 經過ハ長シ 胃腸症狀少シ 精神體力侵カサル
急性腸加答兒	急ニ起リ急ニ治ス 經過短 嘔氣嘔吐、下痢、ヘ ルベス 精神體力侵カサレズ



赤痢	腸加答兒	直腸痛	痔核	梅毒	昇汞中毒	望扶斯
粘液血便	血液ナシ粘	血便アリ老人ニ多シ	排便前後ニ出血ス、鮮紅、粘	他梅毒ニ腫瘍及狹窄ナリ		
男女老幼ナハズ						
肛門内腫瘍ヲ觸レズ	肛門内ニ腫瘍ヲ觸ル					
發來比較的早シ疼痛ハ持續セズ	發來徐々如何ナルトキモ薦骨部疼痛					
熱アリ	無熱	無熱	無熱			熱ト脈ノ關係固有
肛門ノ靜脈怒張セズ		肛門靜脈怒張				
腎ニ變化ナシ					腎ニ變化アリ既往症ニヨリ知ル	
便過多、脾肥大セズ、ロゼチーラナシ						便通少、便ニ血液ナシ、脾肥大、ロゼチーラ

コ レ ラ	吐酒石、砒石、昇汞、中毒	箱頓ヘルニア	旋 毛 蟲
藥物内用ノ既往ナシ	アリ		下痢及嘔吐アレドモ豚肉食ノ既往アリ
嘔吐ハ下痢ノ後	先ツ嘔吐アリ		
下痢時ノ疼痛裏急後重ナシ	アリ		
下痢、嘔吐		頑固ノ嘔吐、下痢ナシ、便秘	

糖神症狀少	脾肥大ナシ	粘膜ノK症狀多	熱型固有	殊ニ顔面、四肢ノ發疹	發疹多シ	麻疹
多	アリ	粘膜ノK症狀少	熱型固有	顔面四肢ニ少	少シ	窒扶斯
多	脾肥大	粘膜ノK症狀少	熱型急ニ上ル、急ニ下ル	軀幹四肢ニ多シ	少シ	發疹窒扶斯
既往症ニテ知ル		大呼氣器ノK症狀	無熱	不正形不定	癢痒大不正	中
他ニ梅毒症狀アリ		ナシ	無熱	部位ハ固有	少シ	梅毒

咽頭、腎及關節變化アリ	發疹限局セズ 浮腫ナシ 壓痛ナシ	脈多	定型熱	猩紅熱	單純咽喉加答兒	麻疹
		脈通常	無熱	窒扶斯	丹紅	疹
		脈少	定型熱	丹紅	毒斑	疹
	限局、患部浮腫壓痛			麻疹		疹
咽頭、腎、關節變化ナル	顔面ノ發疹ハ離開 鼻加答兒、氣管支加答兒強		定型熱	疹		疹
			既往症ニヨリテ知ル	中		疹
				毒		疹

水痘	發疹時ニ熱上ル 發疹不化膿 前驅期ナシ	假痘	發疹時ニ熱降ル 發疹化膿 前驅期ナ有ス
----	---------------------------	----	---------------------------

麻刺里亞	熱ハ突然ニ上ル 熱型固有 口唇疔疹アルコトアリ	腸室扶斯	熱ハ次第ニ上ル 熱型固有 「ヘルペス」ナシ	膿毒症	熱ハ不定型	潰爛性心膜内炎	不定型	肺結核	熱ハ消耗熱
	黄疸アリ		黄疸ナシ		規尼涅無功		心ニ雜音アリ 他ノ部ニ「エンボ リ」アリテ出血		肺ニ變化アリ 咯痰ニ菌アリ
	規尼涅ニヨリ奏功 既往ニ見ルベシ 免疫性ナシ		規尼涅功ナシ 免疫性アリ		膿竈チ必ズ有ス				

急性關節僂麻寧斯	殊ニ四肢ノ關節	痛風	能ク拇指ノ關節腫起	梅毒		淋毒性關節炎	關節ノ潮紅、輕度、デフリース	ヒステリー性關節痛	炎性潮紅ナシ
	有熱 中等生活者ニ多シ 中年		無熱 原因 贅澤家ニ多シ 老人		傳染ノ證明アリ 他ニ梅毒症狀				
	撒酸有功						炎ガ關節ヲ去ル コト遲シ		撒酸功ナシ

脚	氣腎臟炎	浮腫下ヨリ浮腫上ヨリ	心ニ變化アリ	知覺異常アリ	髓反射變化アリ	尿ニ變化ナシ	膀胱筋握痛アリ	峻麻、消失ニハ至ラズ	斑紋ナシ	神經肥厚ナシ	右室擴張ナシ	シ増大スル	毛後萎縮ス	鬱血状態輕
癩								知覺純麻痺 消失	皮膚斑紋 神經肥厚					
不僧全帽鎖瓣			心尖雜音著明								右室擴張、 萎縮セズ			鬱血状態重
發作性心悸貧血性雜音			神經性ニ起ル發作性 心音變化ナシ								濁音界異常 ナシ			
貧血原因アリ			心雜音輕度											
ロイマチス														筋痛ノ性質 ニヨリ知ル ヲ得
筋進行性縮														筋ニ萎縮アリ 進行性ナ

其他、脊髄勞、脊髄炎、ランドリー氏麻痺、神經炎ト區別ヲ要ス

肺結核	遺傳多シ 水泡音限局性殊ニ上部 濁音部アリ 營養侵サル 多ク壯年 咯血起リ易シ 水泡音鐵性 消耗熱 腔洞部陷沒 結核腔洞ハ聲音振盪元進 破壺音 他ノ器臟壓迫症狀ナシ 固有菌 咯痰少 咯痰有無ニヨリ理學的 （症狀變ヒズ 體質弱 指末節膨大セズ	慢性加答兒	遺傳證明セズ 汎發性殊ニ下部 濁音ナシ 營養侵サレズ 老人又ハ壯年 咯血スルト甚少シ	氣胸	水泡音非鐵性 膨隆 聲音振盪減 破壺音ナシ 他器臟ノ壓迫症狀	氣管支擴張	多ク胸廓下部 （多ク偏側） 營養侵サルルト遲シ 咯血ハ殆ンド無シ 熱無シ不定	肺炎	肺ノ下葉ヲ 侵シテ一葉 ニ巨ル 固有ノ經過 熱型固有
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-----------------------------------------------------------	----	--------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------	----	----------------------------------------

粟粒結核	稽留熱、消耗熱 體質弱	稽留 體質強	非結核性 腦膜炎	尿毒症	敗血症	麻刺利亞	肺炎
	熱型不正 腦結核症狀 眼底變化 脈多 薔薇疹ナシ 脾肥大著明ナラズ 呼吸困難チアノーゼ リイタール反應ナシ 舌苔無シ 痙攣ナシ 尿「デアッコ」ハ 特徴トスルコト能 ハズ	正 無シ 無シ 少 有リ 著明 無シ 有リ 舌苔アリ	體質ハ強	腦症狀的變化 眼底變化無シ アラバ蛋白尿 性網膜炎	眼底出血 薔薇疹狀紅斑	貧血 熱型正固有熱型固有	
			脈絡膜變 化ナシ	嘔吐 痙攣	肺炎抵抗強		
						脾肥大著明	
						規尼涅奏功 血液ニプラ スモジエム	肺浸浸著明

脊 髓 癆	筋力アリ 健患ノ界不明 失調 膝蓋反射ナシ ソレストフアル症狀 神經痛様ノ痛アリ 視神經萎縮ナ起ス 膀胱障害 腓腸筋握痛ナシ 心悸ナシ 浮腫ナシ 瞳孔反應ナシ 筋ハ變質性萎縮セ ズ 發生狀態遲シ	小腦疾病	脚 氣	神 經 炎	中 毒	脊 髓 炎
		失調アルモ知覺 異常ナシ	筋力ナシ	膀胱障害ナシ 腓腸筋握痛アリ 心悸アリ 浮腫アリ	膀胱障害ナシ 神經及筋ノ握 痛アリ 瞳孔反應ス 筋ハ變質性萎 縮ス 發生狀態早シ	筋力ナシ 健部患部ノ界著明 失調ナシ 膝蓋反射アリ 神經痛様ノ痛アリ 眼症狀ナシ
					リア應反孔瞳、フイト「癆髓脊角麥」ル見ニ毒中角麥	

小兒急性性脊髓前角炎	筋萎縮早速 腱皮膚反應消失 變性反應アリ 脊髓出血ナシ 膀胱直腸ノ障害ナシ 急ニ起ル 結核ニ關係ナシ
痙攣性脊髓麻痺	筋萎縮ナシ 反射亢進 變性反應ナシ
急性性脊髓炎	脊髓出血アリ
壓迫性脊髓炎	筋萎縮ナシ 反射亢進 膀胱直腸ノ障害アリ 發生徐々 結核ト關係アリ

脊髓性進行性筋萎縮	筋萎縮 知覺障害ナシ 膀胱直腸障害ナシ 不全又ハ全變性反應
多發性神經炎	麻痺が萎縮ヨリ先キ 疼痛、知覺異常消失 ナシ ナシ
脊髓炎	定型性ニ萎縮來ラズ 知覺障害アリ 膀胱直腸障害アリ
腦卒	藥品内用ノ既往無 瞳孔散大 尿ノ變化ナシ 無熱 項強直ナシ
酒精中毒	既往アリ 呼氣ニ酒氣
阿片中毒	既往アリ 瞳孔縮小
尿毒症昏睡	尿ノ變化
腦膜炎	熱アリ 項強直

エンポリー(栓塞)	トロンボゼ(血塞)	卒	中
壯年 心瓣膜病アリ 突然ニ起ル 壓迫症状ナシ 失語症アリ 多ク右側麻痺 麻痺數日ニテ去ル 腎ニ來ラバ血尿 脾肝ニ來ラバ疼痛 肺ニ來ラバ咯血 四肢ニ來ラバ絶脈	老年 脂肪心アリ 徐 不治	老年 心瓣膜病ナシ酒客乃至梅毒 徐、前驅期アリ 壓迫症状アリ 失語症ナシ 不定 不治	

震頭麻痺	常習性震頭	中	毒	精神興奮	老人震頭	散在性硬化
筋ノ衰弱ノ感 固有ノ位置 高年ニ多シ 安靜時モ震頭 ス 眼球震頭ナシ		多キハ酒、鉛、 水銀		筋衰弱ナシ 固有位置ナシ	難シ、タ 強弱、筋ノ緊 張等ニアル	壯年ニ來ル 安靜時ハ震頭 セズ 眼球震頭アリ
病	躑	舞				
症候性	元發性					
老年	若年					
不定型	定型					
大人ハ多 ク症候性						
經過長	經過短					
脳症状アリ	脳症状ナシ					
睡眠中運 動障害アリ	無シ					

胃圓形潰瘍	疼痛部正中線乃至右胸骨線 疼痛點第XII胸椎ノ左 食後直ニ疼痛 體位ニヨリ疼痛 輕快 (食物が潰瘍ニ接スト然ラザルトニヨリ) 多ク吐血、鮮紅 多ク過酸症著明 腫瘍ヲ觸レズ 幼年	胃 痛	胃 瘕	左肋間神經痛	膽石痙痛	十二指腸潰瘍
	腫瘍ヲ觸ル 高年		疼痛ハ發作性	皮膚ヲツマミ上 ルテ疼痛狀ヲ見 ル本病ハ緻中ニ 疼痛アリ 疼痛性ハ銳	體位ニ關係ナ シ 過酸症ナシ多 ク黃疸ヲ合併 肝及膽囊ノ腫 脹ヲ觸ル壓痛	右副胸骨線 右 食後一定時ノ 後 體位ニヨリ疼 痛變化ナシ
			吐血ハ咖啡樣 吐血下血ナシ			多ク下血 變化ナシ時ト 併テ黃疸ヲ合 併ス

瀉瀉惡疫ヲ缺ク 轉移スルコトナ シ 吐物鏡見上腫瘍 片ナシ 消化障害常ニア リ 神經性疾病ノ合 併ナシ 疼痛ハ壓ニヨリ 増激	高度瀉瀉ニ惡疫 往々鎖骨上下高 及腋窩ニ轉移ヲ 見ル 吐物乃至洗滌液 中ニ時トシテ痙 惹ヲ見ル	間歇時ハ全ク正 常	間歇時ハ消化 障害ナシ			
		他ニ子宮病、ヒ ステリ―神經痛 ヲ合スルコト アリ 疼痛ハ壓ニヨリ 輕快ス				
		平流ノ(+)ヲ胃 ニアテ疼痛ノ緩 解セルハ本病ナ リ(ロイセ)				

胃 痛	肝 腫 瘍	膽 囊 癌	脾 癌	腸 癌	大網腫瘍
肝トノ境界明カ ナリ	腫瘍境界ナク肝 ニ移行ス		腫瘍深部ニ在 リテ運動セズ	下部ノ痛ハ狹窄 状アリ	胃癌ヨリ限局 著明
呼吸ニヨリ運動 セズ「フレイリ ツクス」氏法ニ ヨリ位置ヲ變ズ リテ變化ナシ	呼吸ニヨリ運動 ス「フレイクツ クス」氏法ニヨ リテ變化ナシ	黄疽ヲ起スコト 多シ		十二指腸癌、幽 門癌ト殆ンド區 別シ難シ、輸膽 管部ニアルトキ ハ黄疽下部ナル トキハ胃液中ニ 降トキハ胆汁中 ニ見ル	
黄疽ヲ合併スル コトナシ	黄疽ヲ發スルコ ト多シ	胃症及胃擴張ヲ 起スコトナシ	高度ノ黄疽門 脈系統ノ鬱血 ヲ起ス		
幽門癌ナルトキ ハ胃擴張便秘ヲ 起ス					
腹水ナシ					往々腹水表ハ 變化ナシ
胃液ニハ酸ナシ					

盲腸炎	盲腸ノ宿便	盲腸痛	腸重疊	遊走腎	腸腰筋炎
炎ノ症状アリ	炎症狀ナシ	高年	腫瘍ハ圓柱形 血性粘液性ノ下 痢	腸管炎性症状ナ シ	
壯年					
腫瘍ハ凡ソ橢圓 體					
便秘					
通常腎脾濁音部 アリ				通常ノ濁音部ナ シ	
消化障害				腫瘍ニ腎及脾動 脈ヲ伴フテ觸ル	
					消化障害ナシ

膽囊水腫	位置ニヨリ濁音部變セズ	無熱	自覺的ニ殆ド症状ナキコト多シ
腹水	位置ニヨリ濁音部變ス		
膽囊留膿		熱及惡疫	
膽囊癌			腫物堅ク凸凹不平
膽石			膽石疝痛、黃疸
肝下面ノエ			困難ナリ、大抵ハ振頭アルニヨリ區別ス
肝ノアブセ		化膿熱、消耗性	
腎水腫、卵巣腫	呼吸運動ナ伴ハズ		卵巣腫ハ下部ヨリ發生ス

肝アブセス(化膿性肝炎)	マラリア	規尼涅無功	胸廓ニ變化ナシ	咯痰ニ結核菌ナシ	振頭ナシ	表面著明ニ變化セズ	濁音上界不明	多ク前ニ高ク後ニ低シ
血液ニ寄生物ナシ	血液ニ「プ」ラズモゲー「ユム」アリ	功						
肺結核			胸廓變化アリ	咯痰ノ彈力纖維及結核菌				
エヒノコツクス				包虫振頭				
肝腫瘍						表面突出、凸凹不平		
膽囊擴張					固有ノ梨子狀	化膿ナケレバ無熱		
膿胸							濁音上界正	
肋骨及脊椎カリエス、膿瘍								呼吸運動ヲ見ル

原因種々	肝硬變	原因種々	肝硬變	原因種々	肝硬變	原因種々
營養侵サレ	肝臟痛	營養侵サレ	肝臟痛	營養侵サレ	肝臟痛	營養侵サレ
處々ニ腫大スル ナシ例令スル モ顆粒ハ小ナリ	澱粉様肝	處々ニ腫大スル ナシ例令スル モ顆粒ハ小ナリ	澱粉様肝	處々ニ腫大スル ナシ例令スル モ顆粒ハ小ナリ	澱粉様肝	處々ニ腫大スル ナシ例令スル モ顆粒ハ小ナリ
脾肥大往々腹水	脂肪肝	脾肥大往々腹水	脂肪肝	脾肥大往々腹水	脂肪肝	脾肥大往々腹水
壯年	急性黄色肝萎縮	壯年	急性黄色肝萎縮	壯年	急性黄色肝萎縮	壯年
惡疫ナシ	梅毒肝	惡疫ナシ	梅毒肝	惡疫ナシ	梅毒肝	惡疫ナシ
増大スルモ後小 トナル		増大スルモ後小 トナル		増大スルモ後小 トナル		増大スルモ後小 トナル
黃疸伴フ少シ		黃疸伴フ少シ		黃疸伴フ少シ		黃疸伴フ少シ
尿變化ナシ		尿變化ナシ		尿變化ナシ		尿變化ナシ

肝チス	肝硬變	肝チス	肝硬變	肝チス	肝硬變	肝チス	肝硬變
肝次第二大	澱粉肝	肝次第二大	澱粉肝	肝次第二大	澱粉肝	肝次第二大	澱粉肝
末梢ヨリ浮	性加	末梢ヨリ浮	性加	末梢ヨリ浮	性加	末梢ヨリ浮	性加
脾肥大ハ末	黄痘	脾肥大ハ末	黄痘	脾肥大ハ末	黄痘	脾肥大ハ末	黄痘
吐下血ナシ	肝梅毒及癌	吐下血ナシ	肝梅毒及癌	吐下血ナシ	肝梅毒及癌	吐下血ナシ	肝梅毒及癌
卵傾陽性	肺	卵傾陽性	肺	卵傾陽性	肺	卵傾陽性	肺
蛋白尿ナシ	氣	蛋白尿ナシ	氣	蛋白尿ナシ	氣	蛋白尿ナシ	氣
慢性化膿ナシ	慢腎炎	慢性化膿ナシ	慢腎炎	慢性化膿ナシ	慢腎炎	慢性化膿ナシ	慢腎炎
黄痘アルモ	麻刺利亞	黄痘アルモ	麻刺利亞	黄痘アルモ	麻刺利亞	黄痘アルモ	麻刺利亞
原因ヲ自覺		原因ヲ自覺		原因ヲ自覺		原因ヲ自覺	
線ニ結節截		線ニ結節截		線ニ結節截		線ニ結節截	
痕ナシ		痕ナシ		痕ナシ		痕ナシ	
腹水アリ		腹水アリ		腹水アリ		腹水アリ	

肝臓癌	肝アザル アテノ コー ム	他ニ悪疫等 元發稀	腹水チ有ス 腹水チ缺ク コトアリ	下血ナシ	腫ノ上界不 明、下ニ下 ハズ コト能	腫瘍ハ呼吸 運動ス
幽門癌	肝ニ癒着ス 別シ難シ	全ク臨床的ニ 同ハ實際ノ 別ハ剖見ノ ナシ	得下得觸腫 ガ下ルノ上 ルニ、トチ チシ	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス
肝梅毒膿腫	ツエヒ ノ コ	他ニ梅毒症 アリ	無熱、波動	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス
脂肪肝	無熱	表面滑澤	尿ニ變化ナシ	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス
黄疸肝	無熱	表面滑澤	尿ニ變化ナシ	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス
右腎腫瘍	無熱	表面滑澤	尿ニ變化ナシ	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス
腸癌	無熱	表面滑澤	尿ニ變化ナシ	鬱血肥大	腫瘍ハ呼吸 運動ス	腫瘍ハ呼吸 運動ス

便秘ナシ反 テ下痢黄疸 アリ	無熱、波動	表面粗	尿ニ變化ナシ 黒色血腫ハ黒 色尿	老人	腹皮ノ下ニ 腫瘍アリ	狭窄症状ナシ
便秘アリ、 黄疸ナシ	他ニ梅毒症 アリ	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ
他ニ梅毒症 アリ	熱アリ、波動	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ
無熱	無熱	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ
無熱	無熱	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ
無熱	無熱	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ
無熱	無熱	表面滑澤	蛋白尿	老人ニシテ 黄疸頑固ナ ルトキハ一 考ヲ要ス	腹皮ノ下ニ 腸アリ	狭窄症状 アリ

腹水	無熱 ナシ 漿液性 反應ナシ 硬結ナシ、壓痛ナシ 濁音界高サヨリ中廣シ 一様ニ膨滿 腹部突出著明 波動ハ廣ク波及ス	結核性腹膜炎	熱發 他ニ結核症狀アリ 滲出液多クハ血性 コツホ氏ツベルクリンニ反應ス 硬結アリ壓痛アリ	卵巢囊腫	濁音界ノ巾狹シ 他側ハ一側ヨリ膨滿セルトアリ 著明ナラズ 波動濁音部ニ限ル	腎水腫		胃擴張	
----	-----------------------------------------------------------------------------------	--------	----------------------------------------------------------	------	------------------------------------------------	-----	--	-----	--

七〇

仰臥位ニテハ臍部ハ鼓音	體位ニヨリ濁音部變化ス 内診上子宮壓下セラレ著明動搖ス 淋巴球、腹膜上皮チ有ス 比重一〇一二以下 液ノ蛋白含量二一%以下 尿ハ通常	臍圍ハ濁音	體位ニヨリテハ濁音界變化セズ 子宮動キ難ク轉位ス 試驗穿刺液「パラアルブミン」チ有シ圓柱上皮アリ 比重一〇二〇以上 蛋白含量多シ	穿刺前胃洗滌チ行ヒ、フレリ行ツクス氏法チ行フ 鼓音トシテ表ハ	尿ニ變化アリ
-------------	----------------------------------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------	--------

七一

畸形性關節炎	多ク手	續現性	尿酸性物ノ沈着等ノ 症狀ナシ	關節ハ著明ニ變形
痛	急性發作	發作性	慢性ノ片ハ耳軟骨及 其他ニ尿酸性ノ沈着 アリ	
風	足ノ拇趾ノ掌趾關節 ヲ侵ス			
結核性關節炎	他ニ結核ノ變化アリ			關節ハ大ナル變化ナ シ
慢性關節僂麻窒斯		炎症症狀甚ダシ 心臟ニ異常アルト多シ		

白血球增加 尿中尿酸増加ス 性ニ關係セズ 心悸ナシ 異嗜ナシ 檢便陰性 爪ノ變化ナシ 月經等異常ナ シ 限局性ノ變化 ナシ 脾ノ肥大 (脾臟性) 時トシテ蛋白 尿 腹水ナシ 靜脈血栓ヲ起 サズ	假性白血病	白血球ノ増 加ヲ見ズ 尿中尿酸増 加セズ	白血球增加 尿中尿酸増加ス 性ニ關係セズ 心悸ナシ 異嗜ナシ 檢便陰性 爪ノ變化ナシ 月經等異常ナ シ 限局性ノ變化 ナシ 脾ノ肥大 (脾臟性) 時トシテ蛋白 尿 腹水ナシ 靜脈血栓ヲ起 サズ	白血球增加 尿中尿酸増加ス 性ニ關係セズ 心悸ナシ 異嗜ナシ 檢便陰性 爪ノ變化ナシ 月經等異常ナ シ 限局性ノ變化 ナシ 脾ノ肥大 (脾臟性) 時トシテ蛋白 尿 腹水ナシ 靜脈血栓ヲ起 サズ
	萎黃病	血球ノ變化ナ シ 單ニ貧血	女子ニ多シ (春期發動期) 月經異常閉止 乃至減少、困 難 全ク脾ノ肥大 ナシ	女子ニ多シ (春期發動期) 月經異常閉止 乃至減少、困 難 全ク脾ノ肥大 ナシ
	十二指腸蟲病	血球ノ變化ナシ	心悸 異嗜アリ 檢便ニ卵ヲ見ル 爪ニ變化アリ	心悸 異嗜アリ 檢便ニ卵ヲ見ル 爪ニ變化アリ
	麻刺利亞、 疫		既往アリ	
	痛		胃、腸肝等ニ ヨリ夫々定部 ノ障害ヲ見ル	
	進行性惡性 貧血	次第ニ血球全 般減少ス比重 低	消化症狀	

他	其	脈	界音濁心	音 心
	心尖ニ縮期ノ 鳴(猫喘)ヲ ル、 ₁ ヲ得 關騷	強(他ニ變 化ナシ)	右左方ニ延長 室ノ肥大擴張	肺動脈第二音高 調
	自覺的ニ苦悶 アリ ア ナ ア ノ 一 ゼ	正性トシテ緊 張 トシテ不 得	右室ノ高度肥 大ニ反シテ多 少ノ擴張	肺動脈第二音 高調且緊張性 調ナラズ
	鬱血症狀	僅ニ觸ル、 ₁ ヲ 得、皮下靜脈 搏動	右室濁音界ハ右 方ニ延長	肺動脈第二音高 調
	小動脈ノ異常音 (燒骨A、上膊A ノ動脈ノ重複音 手掌A弓)下脚	肝動脈ヲ觸ル、 未梢動脈搏動ヲ 見ル	左室ノ擴張 (左ノ腋窩線ニ 及ブ)	
	失神眩暈ヲ起 ス (腦貧血)	徐脈ニシテ小 變化ナシ	左室ノ擴張、 次テ右室ノ擴 張	
	多クハ先天性 ニ來ルモノナ リ 高度ノチアノ 1セヲ起ス		右室ノ擴張	肺動脈第二音 弱

音雜部腹上	動搏尖心	張 擴	度 肥	
心尖第一音ニ次 テ泡狀ノ雜音 第二音低調	心尖搏動中等強 度左方ニ延長	左上房擴張肥大	右室肥大 右室擴張肥大	僧帽瓣不全閉
ツヨキ搏動アリ	心尖搏動稀ニ 強左方ニ延 ズ	左房擴張肥大	右室肥大	僧帽瓣狹窄
胸骨ノ下部ニ縮 期ノ雜音	心尖變化ナシ		右室肥大	三尖瓣不全閉
右第二肋間開張 期ノ雜音(心尖 ニ傳達)	心尖左下方ニ延 長搏動部廣ク視 ル ₁ ヲ得		左室高度ノ擴張	大A不全閉
右第二肋間縮 期ノ雜音(頸 動脈ニ傳達)	多少左方ニ延 長心尖搏動強 カラズ		左室中等度肥 大	大A狹窄
胸骨ノ左方ニ 粗キ縮期ノ雜 音縮期ノ震頭 ハ觸ル、 ₁ ヲ 得	多少左方ニ延 長ツヨキ上腹 部搏動		右室強度肥大	肺動脈狹窄

表 臟 肝 ル ナ 明 著

脾腹腫水	黃疸	表面	硬度	周圍	鬱血肝萎縮
出現	缺	平滑	密	增大	(第一期)
缺	缺	平滑	密	小増	變硬
缺	缺	平滑	密	大増	(第二期)
出現	出現	滑岩	硬	小増	變
出現	出現	狀平滑膽囊腫瘍	密	大増	cholelithiasis
出現	出現	岩	硬	大増	癌
出現	出現	狀分葉ス	硬	大増	梅毒
缺	缺	分葉ス	軟(波動性)	大増	毒狗蠟蟲
缺	缺	鈍	硬	大増	澱粉肝
缺	缺		軟	大増	膿腫
缺	缺			大	膿瘍

(ヤコブ診断學ヨリ)

急性心内膜炎	網膜出血アリ	大便ニ菌ナシ	ウイダール反應ナシ	縮期ノ雜音アリ	脈絡膜變化ナシ	熱ハ間歇スルモ不正	規尼涅無功	腎痛血尿ナシ
窒扶斯	ナシ	アリ	アリ	時トシテアリ、鑑別ノ値ナシ				
汎發粟粒結核	ナシ				脈絡膜結核			
麻刺利亞						間歇正規	規尼涅有功	腎部疼痛及血尿アリ
偶發ノ心臓雜音								

決シテ開張期ノ雜音ナシ、吹樣ノ音

表ノ病臟腎ルナ明著

澱粉様腎	鬱血腎	萎縮人腎性	慢性腎炎	急性腎炎	
多量	甚ダ少量	甚ダ多量	通常	少	尿量
低	高	低	通常	高	比重
著明	微僅	少或ハナシ	著明	著明	蛋白質量
少	少	少	多	多	沈澱
缺	次漸ノ状態	現状維持	増大	缺	心ノ肥大

(ヤコブ診断學ヨリ)

度 硬		積 容 ノ 肝	
硬	通ハ若硬乃軟柔 硬ハリヨ常動波至	ノモルス大増	ノモルス小縮
硬變、梅毒肝、結締織過成、澱粉肝、癌、多房性「エヒノコックス」囊腫	單純萎縮 肝ガストマ病 充血 黄疸	肝膿瘍 鬱血性充血 肝梅毒氏病 肝ノ結締織過成 「エヒノコックス」 澱粉肝 癌 脂肪肝 白血病 糖尿肝 黄疸肝 肝ガストマ病	單純萎縮 萎縮性肉豆蔻肝 硬變 肝梅毒(萎縮ハ概シテ稀) 急性黄色肝萎縮 鉤形ニ口蟲病末期

(ロイヘ診断學ヨリ)

疸 黄		面 表		縁		
アノモ	有稀	損缺	結節状	滑澤	結節状	肥鈍厚圓
肝アセス、 肝デストマ病	稀 タレ輸膽管が直接ニ侵サル、 疾病、「エヒノコツクス」、 梅毒肝	缺 澱粉肝、 癒着性門脈炎、 脂肪肝	結 硬變、 アセス、 梅毒肝、「エヒノコツクス」	滑 充血、 脂肪肝、 黄疸、 象皮病、 澱粉肝、 白血病、 糖尿肝、 急性黄色肝萎縮	結 硬變（ タレ稀ニ見ル）、 膿瘍、 癒、 梅毒肝	鈍 脂肪肝、 充血、 澱粉肝、 肝デストマ病
						滑 脂肪肝、 黄疸、 營養過多（ 時トシテ少シク強）、 「エヒノコツクス」、 單純萎縮、 肝デストマ病

大 肥 ノ 脾		疼痛	水 腹	
在	存	在 存	在 存	損 缺
	缺 脂肪肝	存 「エヒノコツクス」、 アセス 急性黄色肝萎縮、 梅毒肝	存 澱粉肝（ 原因ノ證スベ）、 充血（ 末期ニハ必發）、 肝デストマ病	缺 脂肪肝、 肝ノ象皮病、 黄疸肝、「エヒノコツクス」、 アセス 癒、 瘰癧アル梅毒肝、「エヒノコツクス」、 硬變、 癒着性門脈炎、
				「エヒノコツクス」（ 單純性）、 （稀ニ門脈系統ノ鬱血ニヨリ）、 肝充血、 肝梅毒、 硬變、「エヒノコツクス」（ 多房性）、 肥大性肝硬變、 澱粉肝、 其他全身傳染即チ 單純萎縮、 アセス、 ワイル氏病

(四) 地名人名ヲ冠セル疾病、症狀、試驗法、 試薬、器械

(詳細ノ説明ヲナサズ記憶ヲ呼起スニ止ル)

名	稱	説	明
インムシム氏金屬檢温器 Metall patentthermometer.		金屬製時計狀ヲナシ針ニテ溫度ヲ示ス装置ニ作ラル	
ロンベルグ氏ノ症候 Romberg'sches Symptom.		兩足ヲ閉ザ閉目シテ起立スルトキハ身體ハ固定スルコト能ハズ動搖不安ノ状態ニアリ	
ハッチンソン氏ノ三候 Hutchinson'sche Trias.		遺傳梅毒ノ特長トシテ同氏ノ選定セルモノ 一、上顎中門齒下縁ノ半月狀凹陷 二、角膜實質炎 三、中耳炎	
ハンチントン氏舞蹈病 Huntington'sche Chorea.		慢性遺傳性ノ舞蹈病ナリ徐々ニ上肢ニ舞蹈病性ノ運動ヲ來シ次第ニ顔面軀幹下肢ニ及ブ 一、二年ノ後精神障害ヲ起シ次第ニ白痴トナル 三十歳乃至四十歳ニ多ク來ル	

バセドワ氏病 Morbus Basedowii.		心悸亢進、甲狀腺腫脹、眼球突出ヲ主徴候トスル疾病
バロウ氏病 Barlow'sche Krankheit.		一八八三年初メテ記載セラルル半年乃至一年半ノ小兒ニ多シ同時ニ英吉利病アリ骨質ノ疼痛性腫脹、皮膚出血、吐血、下血、血尿
バンチー氏病 Bantische Krankheit.		一八九四年同氏ニヨリ記載セラルル 第一期 貧血脾ノ肥大(凡三年間) 第二期 利尿減少、ウロビリルン尿 第三期 貧血増悪、發熱、腹水
パヴー氏病 Pavysche Krankheit.		循環性蛋白尿症ナリ日々起床ヨリ次第ニ尿ニ蛋白ヲ増加シ又次第ニ減少ス腎臟ニ變化ナシ終日安靜ナルトキハ尿中蛋白ナシ
バビンスキー氏現象 Babinskysches Phänomen.		足蹠趾根ヲ輕摩スレバ同時ニ大ナル趾ガ足背屈曲ヲナス現象

パーキンソン氏病 Parkinson'sche Krankheit.	振頭麻痺ノ別名
ニラन्दル氏液	検尿ノ條ヲ見ヨ
乳母瘰癧	トルーソー氏ハテタニ一チ以上ノ如ク名ケタリ
ボエツチエル氏法	糖定性試験法検尿ノ條ニアリ
ホドキン氏病 Hodgkinsche Krankheit.	假性白血病ノ別名

ベル氏麻痺 Bellscheslähmung.	顔面神經麻痺ノ別名 英醫チャールズベル氏本病ヲ精檢セシヨリ此名アリ
ペツテンコーフェルノイバウエル氏法	膽汁色素ノ試験法検尿ノ條ヲ見ヨ
ペルラグラ病 (Pellagra)	西班牙ノ一二地方佛國ルーマニアノ地方病 四五月ニ發シ秋ニ至レバ消失ス翌年春又發病ス日光ニア タル皮膚ニ紅斑ヲ作り落屑、皮膚龜裂潰瘍、口腔粘膜炎 害、熱發下痢、筋肉振頭麻痺、眼瞼弛緩、夜盲、視神經 萎縮、色素性網膜炎、精神沈鬱衰弱ニヨリ死ス
ヘルレル氏法	検尿法ヲ見ヨ
トロンメル氏法	検尿法ヲ見ヨ

トラウマ及バンメルゲル聴診器	共ニ管狀聴診器ナリ
トーマツアイヌ血球計	検査法ヲ見ヨ
トラウマ氏半月狀部 Halbmondförmiger Raum.	胃ガ左下ノ肋骨ニ覆ハル、部
トルソー氏現象 Rausseau'sches Phänomen.	上膊神經幹又ハ動脈ヲ壓迫スルトキハ前膊筋強直性痙攣ヲ起ス現象、テダニーニ見ル
トムセン氏病 Thomson'sche Krankheit.	先天性筋強直症ナリ任意運動セントスルトキハ筋ノ強直ヲ來シ筋ノ電氣興奮亢進シ、筋ノ肥大ヲ見ルコトアリ

チーレル氏液	細菌検査ノ條ヲ見ヨ (硫酸メチレンブラウ水)
デュークス氏第四病 Dukes fourth disease (Vierte Krankheit)	デュークス、ファイラトー氏ノ報告ニヨル猩紅熱性紅疹トシテ記載スル急性觸接性傳染病ニシテ猩紅熱ニ似タル皮疹ヲ生ズ常ニ輕キ經過ヲ取リ合併症胎後病ナシ潜伏期ノ永キコト猩紅熱ニ對スル非免疫ニヨリ區別ス
リーベルマイステル檢溫法	毎朝食後一時健康體ヲ檢溫スルコト七回(即七日)ニシテ平均溫度ヲ見ルトキハ正確ナル檢溫器ニテハ三十七度或ハ僅ニ其以下ナリ模範檢溫器ナキトキ檢定ノ代リニ此法ヲ行フ
リーガレル氏法	檢尿糖ノ定性ノ條ヲ見ヨ
リットトル氏病 Littlesche Krankheit.	截癱性強硬症ナリ原因的機轉ノ存在、全身其他ノ強硬ハ輕快スルモ下肢痙攣狀態ノ不變反射亢進、智識發育セズ言語ハ障害アリ

ル ブ ネ ル 氏 法	糖尿検査法ノ條ヲ見ヨ
チー ベル マイ エル 氏 法	イン ザ カン 反應 ノ 條 ヲ 見 ヨ
チ イ レン ブル グ 壓 神 計	柱 時 計 ノ 如 キ 形 ヲ ナ シ 下 方 ニ 壓 ヲ 受 ケ ル 部 ア リ 上 方 字 板 ニ 針 ア リ 受 ケ タ ル 壓 ノ 度 ヲ 示 ス
リ ル デ ン ブル グ 肺 氣 壓 計	U 狀 管 ノ 底 ニ 水 銀 ヲ 入 レ 一 端 ハ 彎 曲 シ テ ゴ ム 管 ニ 連 リ 其 先 端 ハ 口 ト 鼻 ヲ 被 フ 假 面 ニ 連 ル コ ノ 端 ヨ リ 呼 氣 ヲ 入 レ 水 銀 柱 ヲ 他 側 ノ 管 ニ 追 フ 其 昇 ル 度 ヲ 劃 セ ル 字 板 ニ テ 讀 ム 裝 置 ヲ ナ リ
ワ 井 ル 氏 病 Wielsche Krankheit.	急性傳染性ノ黃疸突然惡寒發熱(三九度)頭痛全身倦怠惡心嘔吐、第二日ニ黃疸ヲ發シ糞便灰白色秘結、脾肝ノ肥大筋痛及蛋白尿

ガ ベ ツ ト 氏 法 及 同 氏 液	結核菌検査ノ條ヲ見ヨ
カ ン タ ニ ー 氏 灌 腸 法 Cantani's Enterolyse.	「コレラ」療法ニ用フル單仁酸ノ灌腸法同氏が始メテ施セシニヨリコノ名アリ
カ ン タ ニ ー 氏 皮 下 注 入 法 Cantani's Hypodermolyse.	食鹽 四〇〇 重曹 三〇〇 蒸餾水 一〇〇〇 ノ微溫液ヲ「コレラ」ノ虛脱ニ皮下注入スル法
レ フ レ ル 氏 液	検査法ノ條ヲ見ヨ
レ カ ー ル 氏 法	尿中アセトン検査ノ條ヲ見ヨ

レノイ氏病 Raynaud'sche Krankheit.	體ノ兩側ニ發スル壞疽多クノ場合ハ指趾ノ末端兩側對稱 性ニ次第ニ壞疽ニ陥ル多ク女子ニ來ル、糖尿病、ヒステ リイ、神經炎ニ併發ス
ランドリー氏麻痺 Landry'sche Lähmung.	急性上行性脊髓麻痺ナリ 一定ノ前驅症、熱、頭痛、全身倦怠、背部下肢ノ疼痛、 一二日ニシテ足、下腿、下腹、胸部、上肢、舌咽頭筋、 弛緩性麻痺ヲ來ス
ウインデルリッロ氏熱度標準 (Fieberscara.)	a 平溫 三七度—三七、四度 b 亞熱性溫 三七、五度—三八度 c 熱性溫 中輕熱 三八、〇度—三八、四度 熱 三九、五度—三九、五度 最高熱 三九、五度以上—四〇、五度以上
ウエストファール氏症狀 Westphal's Phänomen.	膝蓋腱反射ノ消失現象「ターベス」ニ見ル
ウヰントリロ氏打響變換 Wintrich'sches Schallwechsel.	胸廓打診時患者ニ開口ヲ命ジテスレバ鼓音高調トナリ口 ヲ閉サシメテスレバ鼓音低調トナル現象

ウヰンケル氏病 Winkelsche Krankheit.	初生兒黃疸ト合併スル流行性ヘモグロビン尿症 一八七九年同氏ノ記載ニヨル初生兒シカモ生後四五日ノ 發病經過ハ九—三十二時間豫後不良
ツァーナー氏ノチルトメートル Cytometer.	胸廓周圍ノ形ヲ模寫スルニ用フ連鎖狀兩關ヲ具フル關節 線ナリ故ニ屈撓自由ナリ
ノートナーゲル溫神計 (Thermoaestioneter)	圓錐形木匣ニシテ底ハ銅ナリ之ニ湯ヲ入レ銅部ヲ皮膚ニ 觸レシメ溫感ヲ計測ス蓋ニハ内容物ノ溫度ヲ測ル爲メニ 用フル檢溫器ヲ挿入スル孔アリ
グラームル氏額帶 Cramersches Stirnband.	喉頭其他ヲ反射鏡ニテ見ルトキニ手ヲ自由ニスベク前頭 ヨリ後頭ニカク帶ヲ結び之ニ反射鏡ヲ附着セシムル裝置 ナリ
グロスマウエル氏ノ蠕動不穩症 Peristaltische Unruhe des Magens.	胃擴張、筋肥大ニハ蠕動ノ不穩ヲ來スモノナリ罕ニ本症 ナキニモ尙コノ状態ヲ見ルコトアリ同氏ハ之ヲ神經症ト シテ以上ノ名ヲ付シタリ

グ メ リ ン 氏 法	檢尿ノ條ヲ見ヨ
グ レ ー フ エ 氏 症 候 Gräfesches Symptom.	健體ハ眼球ノ上下運動ニ伴フテ上瞼亦運動ス、パセドー氏病ニテハ減少又ハ停止ストキトシテ球ガ未ダ突出セザルニ不拘コノ症候アリ故ニ上眼瞼ト角膜上縁ノ間ニ白キ鞏膜ヲ見ル
グ レ ー ブ ス 氏 病 Graves disease.	パセドー氏病ノ別名
ク ル ン プ ケ 氏 麻 痺 Klumpkesche Lähmung.	第八頸神經、第一胸神經ヲ侵ス疾病ナリ 一名下部叢麻痺
グ レ ナ ル ド 氏 病 Glenardische Krankheit.	内臟下垂症ノ別名

ヤ ツ ノ エ 氏 法	檢尿ノ條ヲ見ヨ
ゲ ル ハ ルト 氏 打 響 變 換 Gerhardtsches Schallwechsel.	胸部打診時體位ノ變化ニヨリ鼓音ニ高低ヲ生ズ大腔洞アルモノニ見ル
ケ ル ニ ッ ロ 氏 症 狀 Kernig's Symptom.	股關節ニテ大腿ヲ屈スルトキ膝關節ノ運動自動他動共ニ障害アリ然シ大腿ヲ展伸スルトキニハ此障害ナシ腦及脊髄膜炎ニ見ル
フ ライ シ ュ ル 氏 ヘ モ メ ー ト ル Haenometer von Fleischl.	白堊性ノ反射鏡ヲ有シ單顯微鏡ニ髣髴タル外形ヲ有ス、ヘモグロビンノ度ヲ計測スル裝置
フ ラ ン ケ 氏 針	血液ヲ檢査用ニ用フル爲指頭其他ヨリ血液ヲ採取スル針

ブライイト氏病 Brightsche Krankheit.	急性腎臟炎ノ別名
ブライイト氏ノ雜音 Brightsche Geräusche.	腹膜炎ニ於テ腹膜上面粗糙トナルトキニ稀ニ胸部ノ摩擦音ニ於ルカ如ク雜音ヲ聽クコトアリ
フエーリング氏法及同氏液	尿ノ糖定量ノ條ヲ見ヨ
フッペルト氏法	檢尿ノ條ヲ見ヨ
ブラウツン氏法	胃液定量ノ條ヲ見ヨ

フリードライヒ氏病 Friedreichsche Krankheit.	遺傳性壯年共働機變調症ナリ多ク兒童ニ來ル初メ歩行不安困難漸次共働機ノ變調ヲ來ス
ブエーレル氏病 Buhlische Krankheit.	一八六一年同氏が初生兒急性脂肪變性トシテ記載シタルモノナリ多ク假死狀態ニ生レ蘇生法モ多クハ無功ナリ、生活セシモノハ下痢、直腸出血、吐血、臍實質性出血、外聽道溢血、皮膚藍色次第ニ黃色浮腫無熱、二週間以内ニ死ス
ブラウンセクアルド氏麻痺 Brown-Seguardsche Lähmung.	損傷側ニ知覺過敏他側ニ鈍麻アリ過敏ノ側ハ運動麻痺血管運動神經麻痺アリ麻痺筋ノ電氣興奮性減弱ス
エスバッハ氏蛋白計及同氏ノ液	蛋白尿定性法ヲ見ヨ
エーレルリッヒザアツオ反應	檢尿法ノ條ヲ見ヨ

ヒルノ氏現象 Erb'sches Phänomen.	軀幹四肢ノ運動神經ガ電氣的ニ亢進スル現象
アザソン氏病 Addison'sche Krankheit.	皮膚粘膜ノ暗黒色體力衰脱ヲ特長トス 下流社會ノ男子ニ多シ
アルギール、ロベルトソン氏ノ現象 Argyll-Robertson'sches Phänomen.	光ニ對シ瞳孔ノ強直ナルヲイフ腦梅毒、脊髄癆、痲痺狂ノ重要ナル徵候ナリ調節反應ハ同時ニ消失スルヲ要セズ
アダムストークス氏病 Adams-Stokes'sche Krankheit.	遲脈(一分間二十四ニ至ルコトアリ)卒中様發作、シヤインストークス氏呼吸現象ヲ呈スル發作性疾病
ザルドニー氏瘧笑 Sardonisches Lachen.	笑フ如ク苦シム如ク口腔開大、口角昂上、視勢鈍ナリ、胃瘧變、急性腹膜炎ニ見ル

ザイデンハム氏舞蹈病 Sydenham'sche Chorea.	所謂舞蹈病ヲイフ六歳乃至十二歳ニ多ク來ル
キンコー氏現象 Dunquand's Phänomen.	患者ニ指ヲ展伸且離開セシメ檢者ノ手掌ニ鉛直ニ立テシメ少シク壓テ加ヘシムルトキハ二三秒後檢者ニハ二種ノ軋擦ヲ其掌ニ感ズ、酒精中毒ト關係アリ
メニエール氏病 Menière'sche Krankheit.	一八六一年佛醫メニエール氏ノ記載慢性耳疾患ニ原因ス、耳鳴、眩暈、重聽、嘔吐、顔面蒼白、冷汗、時トシテ一時聾ヲ訴フ
ミクリッツ氏病 Mikulicz'sche Krankheit.	一八九二年同氏ニヨリ記載 涙腺唾液腺ノ對稱的腫脹ヲ特長トス
シヤルコー氏結晶 Charcot's Krystalle.	尖锐紡錘狀ノ無色結晶化學的性ハ未ダ確ナラズ喘息發作ハコノ結晶ガ粘膜ヲ刺戟シテ起スト然シ氣管支加答兒ノ肺氣腫、結核ノ痰中ニモアリ

シヤクソン氏癲癇 Jacksonsche Epilepsie.	皮質癲癇ナリ
シエーンバインアルメル氏法 Meyn-Stein-Brandt'sche Methode.	尿検査法ヲ見ヨ
チエーンストークス氏呼吸現象 Cheyne-Stokes'sches Respirations Phänomen.	整然間歇アル呼吸現象ナリ 間歇時ハ十五秒乃至一分ナリ 呼吸開始ハ淺ク次第ニ深ク 頂點ハ著シキ呼吸困難ノ状アリ 又次第ニ淺ク遂ニ止ムカク シテ間歇又前同ナリ 反覆スル重症ノ腦疾病、心臟病、 急性汎發性腹膜炎、尿毒症ニ見 ル多ク瀕死ノ際
ヒポクラテス氏顔 Hippokratisches Gesicht.	顔面蒼灰白色、顔貌尖銳、 頰部顛顛部眼球陷沒、皮膚冷 汗所謂瀕死顔
ビチート氏呼吸 Biot'sches Athmen.	尋常呼吸が呼吸停止ト交代ニ來ルモノ 腦膜炎ニ見ル然シ 稀ナリ

ヒポクラテス氏ノ震盪音 Succussio Hypocritis.	肋膜腔内ニ液チ有スル患者自動又ハ他動ヨリ發スル振水音
ビールメル氏打響變換 Biermer'sches Schallwechsel.	氣胸ニ於テ患者體位チ變スルトキハ著シク 鑽性音ノ高低ニ變化チ來ス現象
ヒルシエスプルング氏病 Hirschsprung'sche Krankheit.	一八一六年同氏ニヨリ發言セラルル 初生兒ニ來ル極メテ頑固ノ便秘症
ビルハルツ氏病 Bilharz'sche Krankheit.	住血吸蟲ニ因スル疾病
モーレ氏法	檢尿ノ條ヲ見ヨ

モエレル氏病 Möllersche Krankheit.	パーロー氏病ノ別名
ゼリール氏病 Gerliersche Krankheit.	東北地方ニ多キ首下リ病ノ別名
スコーダ氏打診原則	一肉質ニシテ無氣有機體ト液體ハ共ニ濁音ニシテ股肉ヲ打ツ如シ打診的ニ區別シ能ハズ 二骨及軟骨ヲ直打スレバ夫々一種ノ音アリ 三胸又腹部ヲ打診シテ聽ク音が骨又ハ股肉ヲ打ツ音ニ異ルハ胸内又ハ腹腔内ノ空氣、瓦斯ニヨル
ステンベック氏ノ沈澱器 Stenbeck's Sedimentor.	遠心力ノ裝置ニヨリ沈澱セシムル裝置
ステルワーグ氏症狀 Stellwagsches Symptom.	瞬目運動ノ少ク且緩徐ナル症狀

傳染病潜伏期一覽

傳染ヨリ發疹ニ至ル迄

麻疹	九日—十四日
猩紅熱	五日—六日
風疹	十四日—十七日
痘	十三日—十四日
水痘	十三日—十五日
發疹チフス	九日—十二日
腸チフス	十四日—二十日
チフテリ	二日—三日
ペスト	二日—七日

百日疫	五日—六日
コレラ	二日永キモ三日少キハ一日
赤痢	三日—五日
流行性耳下腺炎	七日—十日
肺炎	五日
インフルエンザ	二日—六日
徽毒	四週
麻疹	三日—五日
狂犬病	二十日—二箇月

(五) 處方例

1011

本内用處方ハ總テ成人ニ用フル量ナリ小兒用トシテ各其末ニ別ニ之ヲ擧ゲ成人ノ處方モ禁忌ナラザルモノハ量ヲ參酌シテ小兒ニ用フルコトヲ得ベク小兒ノ處方モ亦大人ニ用フルコトヲ得ベシ

利尿劑

本劑ヲ用フル場合ハ(一)毒物及其他病的產物ノ沈着ヲ排泄スベク(二)腎臟ノ結石(三)腎及尿道ノ炎症ニ尿ヲ稀薄ナラシムル爲ニ(四)全身及局所ヲ不論體內ニ水分ヲ蓄溜セルトキニ排泄セシムル爲ニ用フ、故ニコレ等ノ處方ヲ用フル疾病トシテハ腹水、肋膜腔心嚢等ニ液ヲ有スルトキ即滲出性肋膜炎、心嚢水腫ノ如ク其他急性腎臟炎、心臟病等ナリ

- アグリリン 一、〇
- 右二日量一日三回食後チアラートニツ、ミ 内用
- 重酒石酸加里 一〇、〇
- 醋酸カリウム液 一二、〇
- 商陸丁幾 一三、〇
- 蒸餾水 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回食後振盪シテ内用 (所謂振盪合劑ナリ)
- 醋酸カリウム液 一五、〇
- 硝酸カリウム液 一三、〇
- ザウレンチン 一二、〇
- 苦味丁幾 一〇、〇
- 蒸餾水 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回食後内用
- ザウレンチン 三、〇
- 右一日量一日三回食後内用

- 醋酸テナチン曹達 一、〇
- 苦味丁幾 二、〇
- 蒸餾水 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回食後内用

- 實叟答利斯葉浸 (〇、五) 一〇〇、〇
- 醋酸カリウム液 一〇〇、〇
- 單舍利別 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回食後一時間ニシテ内用

- ナギタリス葉浸 (〇、五) 一〇〇、〇
- ストロファンツース丁幾 一、二
- 單舍利別 一〇、〇
- 右一日量一日三回食後三時間ニシテ内用 (心臟ノ調節ヲ失シ浮腫ヲ來セルトキニ)

- 甘汞 〇、二
- ヤイラツパ末 各一、二
- 白糖 各一、二
- 右一日量一日三回空腹時内用

- テナチン 〇、八
- 乳糖 適宜
- 右一日量一日三回食後内用 (二日チ間歇スベシ)

- 甘汞 一〇、二
- 乳糖 一、二
- 右一日量一日三回空腹時内用

- 結晶テナプロミン 〇、五
- 右一日量一日六回分服

- 醋酸カリウム液 一二、〇
- ストロファンツース丁幾 一、〇
- 蒸餾水 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回食後内用

- 硝酸カリウム 六、〇
- 單舍利別 三〇、〇
- 蒸餾水 二〇〇、〇
- 右二日量一日三回食後内用

1013

ゲウレンチン 三、〇
 桂皮油 一、〇
 蒸餾水 一、〇
 右一日量一日三回食後内用

吐松實浸 (四、〇) 一〇〇、〇
 醋酸カリウム 四、〇
 右一日量一日三回食後内用

ゲギタリス浸 (〇、五) 一〇〇、〇
 海葱越幾斯 〇、一
 右一日量一日三回食間内用

木賊煎 (五、〇) 一〇〇、〇
 ストロファンツース丁幾 一、〇
 單舍利別 一〇、〇
 右一日量一日三回空腹時内用

セシナ葉煎 (一〇、〇) 一〇〇、〇
 單舍利別 八、〇
 右一日量一日三回食後内用

尿素 八、〇
 苦味丁幾 二、〇
 蒸餾水 一〇〇、〇
 右一日量一日三回内用

テナフィルリン 一、〇
 右一日量一日三回食後内用

◎小兒用處方ノ中上位ノ數ハ十五年、下位ノ數ハ一歳ノモノニ用フルモノナリ
 以下倣之

規那煎 (八、〇) 一五〇、〇 (一、〇) 六〇、〇
 醋酸カリウム液 一、〇
 商陸丁幾 三、〇
 單舍利別 一〇、〇
 右二日量一日三回食後内用

ゲウレンチン 三、〇
 苦味丁幾 二、〇
 蒸餾水 一五〇、〇
 右二日量一日三回食後内用

硫酸マグネシヤ 八、〇 (一〇、〇) (一、二) 一〇、〇
 醋酸カリウム液 一〇、〇
 苦味丁幾 二、〇
 右一日量一日三回食後二時間ニシテ内用

オノニス根煎 (五、〇) 一〇〇、〇
 醋酸カリウム液 一〇、〇
 右一日量一日三回食後内用

ゲギタリス葉浸 (〇、五) 一〇〇、〇
 ゲウレンチン 三、〇
 薄荷水 八、〇
 右一日量一日三回食後二時間ニシテ内用

福壽草浸 (三、〇) 一〇〇、〇
 右一日量一日三回食間内用

アドニス草浸 (二、〇) 一〇〇、〇
 テナチン曹達 〇、八
 右一日量一日三回食後内用

ゲギタリス丁幾 一、五
 單舍利別 一〇、〇
 蒸餾水 八〇、〇
 右一日量一日三回食前内用

酒石英 一五、〇
 單舍利別 一〇、〇
 水 一五〇、〇
 右二日量一日三回食後内用

醋酸テナチン曹達 〇、二
 乳糖 〇、五
 右爲一包一日三回食後内用

ウバウル 一五〇、〇 (一、〇) 六〇、〇
 シ葉浸 (八、〇) 一五〇、〇
 單舍利別 一〇、〇
 右二日量一日三回食前内用

祛痰劑

氣管枝ノ粘膜ニ於テ分泌物アルトキハ咳嗽ヲ發シ患者ハ之ヲ咯出セントスレドモ粘稠ナルカ
或ハ相次テ多量ニ分泌シ爲ニ咳嗽頻々トシテ發ス藥品ノ種類ニヨリ(一)分泌ヲ緩慢トナシ(二)分
泌ヲ減少セシメ(三)粘稠ナルモノヲ稀薄トシ咯出ヲ容易ナラシム、要スルニ本劑ハ咳嗽ア
ルトキニ之ヲ鎮メ又咯痰ノ咯出ヲ容易ナラシム、氣管枝加答兒、肺炎、肺結核、肺氣腫、肺
水腫、肋膜炎等ニ屢用ヒラル、藥劑ナリ

- 鹽酸デアセチールモルヒネ 〇、〇〇五
右爲一丸一日三乃至四粒ヅ、空腹時内用
- 沃土加里 一、〇〇一五
鹽酸デアセチールモルヒネ
右一日量爲丸食後内用
- 炭酸グワヤコール 〇、〇五
鹽酸デアセチールモルヒネ 〇、〇〇一五
右一日量一日三回食後内用 (コトニ結核)
- 荳蔻越幾斯 〇、五
吐根末 三、〇
蒲公英越幾斯 適宜
右爲二十九丸一日三—五回一丸ヅ、内用
(主トシテ喘息)
- ニトログリセリン 〇、〇〇一
甘草越幾斯 適宜
右爲二十九丸一日一丸内用次第ニ増量シ三—
五丸ニ至ルベシ (主トシテ喘息)
- ガチニン 一、〇〇一
右一日量一日三回食間内用

- 機酸コテイン 〇、〇〇八
ガチニン 〇、〇〇六
乳糖 一、〇〇〇
右一日量一日三回食間内用
- コテイン 〇、〇〇八
機酸モルフイン 一、〇〇二
乳糖 一、〇〇二
右一日量一日三回食間内用
- 鹽酸モルフイン 〇、〇〇二
吐根末 〇、〇〇一
重曹 五、〇〇〇
右一日量一日三回食間内用
- 苦扁桃水 一〇、〇〇〇
ガチニン 〇、〇〇三
右三日ノ量一日四回十二滴ヅ、蔗糖水ニ和
シテ内用ノコト
- 吐根浸 (〇、三) 一〇、〇〇〇
杏仁水 五、〇〇〇
鹽酸デアセチールモルヒネ 〇、〇〇一五
右一日量一日五回分服
- セネガ浸 (六、〇) 一〇、〇〇〇
アンモニア茴香精 一〇、〇〇〇
單舍利別 一〇、〇〇〇
右一日量一日三回食間内用
- 吐根浸 (〇、三) 一〇、〇〇〇
アンモニア茴香精 二、〇〇〇
重曹 二、〇〇〇
單舍利別 八、〇〇〇
右一日量一日三回食間内用
- 杏仁水 五、〇〇〇
重曹 二、〇〇〇
水 一〇、〇〇〇
右一日量一日三回内用
- 硝酸アミールエーテル 五、〇〇〇
茴香油 一〇、〇〇〇
右混和二—五滴喘息發作時ニ内用
- アンチスパスミン 一〇、〇〇〇
苦扁桃水 一〇、〇〇〇
右混和十五滴ヅ、一日三回内用

鹽酸モルヒネ 一〇〇、一
杏仁水 一〇〇、〇
右混和十乃至十五滴糖水ニ和シ一日三回内
用

ドーフル散 三〇、五
重炭酸ナトリウム 三〇、五
右一日量一日三回空腹時内用

磷酸コデイン 一〇〇、八
杏仁水 一〇〇、八
右混和一日三回十滴ツ、内用

沃土加里 一、五〇、〇
杏仁水 二、〇〇、〇
吐根丁幾 八、〇〇、〇
單舍利別 一〇〇、〇〇、〇
蒸餾水 一〇〇、〇〇、〇
右一日量一日三回食後二時間ニシテ内用

吐根越幾斯 各〇、二
ヒヨス越幾斯 各〇、二
硫酸キニーネ 二、〇〇、〇
白糖 二、〇〇、〇
右爲十包一日三—五回食間内用

アルテア根煎 (五、〇) 一〇〇、〇
吐根舍利別 一〇〇、〇
右一日量一日三回食間内用

金硫黄 一〇、一
白糖 一〇、一
右一日量一日三回食後内用

鹽酸アホモルヒネ 一〇〇、〇
鹽酸モルヒネ 一〇〇、〇
稀鹽酸 一〇〇、〇
單舍利別 一〇〇、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食間内用

クローラルアンモニウム 五、〇
甘草蒸 二〇〇、〇
蒸餾水 二〇〇、〇
右一日量一日三回内用

吐根浸 (〇、四) 一五〇、〇—(〇、一) 六〇、〇
杏仁水 四〇〇、〇
アンモニア苗香精 二〇〇、〇
單舍利別 五〇〇、〇
右二日量一日數回ニ分服

ヒヨス越幾斯 一〇〇、二
葦若越幾斯 一〇〇、一
ゴム末 〇〇、三
右一包量爲十包一日三回一包ツ、食後内用

葦若越幾斯 一〇〇、六
吐根末 一〇〇、一
乳糖 一〇〇、一
右一日量一日四回分服

アンモニア苗香精 各二、〇
チナコール 各二、〇
單舍利別 一〇〇、〇
蒸餾水 一〇〇、〇
右一日量一日三回内用

セネガ舍利別 一〇〇、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食間内用

ヒヨス越幾斯 一〇〇、五
苦扁桃水 一〇〇、〇
右混和一日三回十滴ツ、糖水ニ和シ内用

吐根浸 (〇、四) 一五〇、〇—(〇、一) 六〇、〇
杏仁水 四〇〇、〇
葦若越幾斯 一〇〇、八
單舍利別 一〇〇、〇
右二日量一日數回ニ分服

セネガ浸 (八、〇) 一五〇、〇—(一、〇) 六〇、〇
杏仁水 四〇〇、〇
沃土加里 一〇〇、〇
單舍利別 一〇〇、〇
右一日量一日三回食後内用

アリストヒン 〇〇、五
乳糖 〇〇、五
右爲一包一日三包一包ツ、内用

單仁酸キニーネ 〇〇、五
乳糖 〇〇、五
右爲一包與十包一日三回一包ツ、内用

ピレノール 三〇〇、〇
單舍利別 一〇〇、〇
水 一五〇、〇
右二日量一日三回食間内用

催下劑

本劑ヲ用フル場合ハ腸内容ノ排泄ヲ促シ便ヲシテ流動性トナサシムルニアリ作用ノ強弱ニヨリ(一)快速、(二)緩下、(三)峻下劑ノ三トナス、コノ區別ハ實地上ノ問題ニシテ快速劑モ多量ニ用フレバ峻下作用ヲ表ハシ、峻下劑モ少量ナルトキハ又快速劑ナルヲ得ベク其他本人ノ特異質藥品ニヨリ異ル、下劑ヲ禁忌スルハ腸及腹膜ノ痙攣、次デハ妊娠中及月經時ナリトス、コレヲ用フル疾病ハ(一)腸ノ蠕動ノ中絶乃至減退セルモノ(二)腸内ノ毒物ヲ排出スル爲メニ(三)全身ノ水腫ニ於テ腸内ヨリ體內ニ水分吸收ヲ妨グ爲メニ(四)其他腦、脊髓ノ疾病ニ於テ誘導劑トシテ用フ

蓖麻子油 一五、〇—二〇、〇
 桂皮水 一五、〇
 右一回頓服量臨臥時内用
 硫酸マグネシヤ 八、〇
 右一回頓服量空腹時内用

コロシント越幾斯 〇、二五
 蘆薈越幾斯 各二、五
 ヤラツパ石鹼
 酒精 適宜
 右爲三十九丸早朝一—二丸頓服

甘草 〇、五—一、〇
 乳糖 〇、五
 右一回ノ頓服量五時間後ニ甘草便(青綠黑色惡臭)ヲ見ザルトキハ更ニリチネ油ヲ與フ

大黃浸 (八、〇) 一七五、〇
 重曹 一〇〇、〇
 薄荷油 三滴
 單舎ヲ加ヘ 二〇〇、〇
 右二日量一日三回内用

大黃末 一〇〇、〇
 グリセリン 五、〇
 右爲三十九五—十九丸頓服

人工カル、ス泉鹽 一〇〇、〇
 苦味丁幾 二〇〇、〇
 水 一〇〇、〇
 右一日量一日三回食間内用

硫酸マグネシヤ 一〇〇、〇—一五、〇
 苦味丁幾 二、〇
 蒸餾水 一〇〇、〇
 右一日量一日三回食間内用

甘汞 〇〇、八
 ヤーラツパ末 〇〇、八
 右一回頓服量
 假製マグネシヤ 〇、八
 薄荷油 1/2滴
 右一日量一日三回食間内用

旃那浸 (一五、〇) 一〇〇、〇
 硫酸マグネシヤ 二〇、〇
 右二日量一日三回食間内用

蓖麻子油 一五、〇
 巴豆油 1/2滴
 右頓服一回量

水製大黃丁幾
單舍利別 一五、〇
水 一〇、〇
右一日量一日三回食間内用 〇〇、〇

カスカラサグラダ流動越幾斯 三、〇
單舍利別 八、〇
蒸餾水 一〇〇、〇
右一日量一日三回空腹時内用

水製大黃丁幾 一五、〇
カスカラサグラダ流動越幾斯 三、〇
單舍利別 一〇〇、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食間内用

タマリンド煎 (一〇〇、〇) 一〇〇、〇
水製大黃丁幾 一〇〇、〇
單舍利別 八、〇
右一日量一日三回内用

大黃 一、五
葦若越幾斯 〇、五
ホミカ越幾斯 〇、五
甘草末 適宜
右爲三十九丸朝夕一丸ツ、内用

大黃越幾斯 各一、五
ヤイラツパ脂 適宜
甘草末 適宜
右爲三十九丸一日二回一丸ツ、内用

甘草 〇、五
乳糖 〇、五
右一回ノ頓服 〇、〇、〇、二

甘草 〇、〇五
乳糖 〇、〇五
右一包量二時間毎ニ奏功スル迄同方ヲ持續内用 適宜

蘆薈越幾斯 各二、〇
藤黄 各二、〇
ヤイラツパ末 各二、〇
右一日量一日二回朝夕内用

葦若越幾斯 各〇、三
甘草末 適宜
右爲三十九丸一日一乃至二丸ツ、朝夕内用

ポトヒルム脂 各〇、三
藥用石鹼 各〇、三
右混和蜂蜜ヲ適宜ニ加ヘ三十九トス
毎夕一乃至二丸内用

大黃 各〇、二五
重曹 〇、三
假製マゴホシヤ 〇、三
右一包量與十包一日三回食前内用

甘草 〇、五
ヤイラツパ末 〇、四
乳糖 〇、二
以上一回ノ頓服量 (十五歳小兒)

人工カル、ス泉鹽 一五、〇
右一回ノ頓服量 (十五歳)
但本劑八十歳以下ノモノハ用ヒザルチ可トス

ホミカ丁幾 一、〇
葦若越幾斯 〇、〇八
大黃舍利別 一五、〇
水 一五〇、〇
右二日量一日三回食間内用

健胃劑及止下劑

コ、ニ集ムル處方ハ所謂マーゲンミッテル Sog. Magenmittel ニシテ胃症狀ヲ呈セルモノニ與フルモノナリ即チ胃ノ急性及慢性ノ炎、胃ノ潰瘍、胃ノ癌腫或ハ胃ノ擴張症、胃筋衰弱症等一般ノ胃病及之ニ次テ來ル食慾ノ不振ニ當リ食慾亢進ノ目的ニ應用ス、止下劑トシテハ一般ノ腸急性及慢性炎ヨリスル下利又ハ赤痢ノ如ク裏急後重ヲ呈セルトキニ虎列刺ノ如ク水様ノ下利ヲ發スル如キ或ハ腹膜炎ニ於テ激甚ノ疼痛アルトキニ腸内ノ蠕動ヲ鎮靜シテ一方ニハ腸ヲ安靜ニシ一方ニハ疼痛ヲ緩解スル爲ニ用フ、又ハ腸ノ結核ニ於テ永續スル下利ハ患者ノ苦痛及衰弱ヲ増加スル故ニ對稱的トシテ本劑ヲ與フルノ必要アリ

- 流動コンヂュランゴ越幾斯 三、〇
- ホミカ越幾斯 〇、〇六
- 龍膽末 適宜
- 右一日量爲丸一日三回食前三分ニ内用 (食思亢進)
- 單仁酸チレキシシ 〇、三
- 乳糖 一、〇
- 右一日量三回分服 (食思亢進)
- 次硝酸蒼鉛 二、〇
- 龍膽末 〇、二
- 右一日量一日三回内用 (食思亢進)
- 重碳酸ナトリウム 六、〇
- 次硝酸蒼鉛 二、〇〇
- ホミカ越幾斯 〇、〇六
- 右一日量一日三回食後四十分ニシテ内用 (過酸症)

- 重碳酸ナトリウム 四、〇
- ザロール 一、五
- ホミカ越幾斯 〇、〇六
- 右一日量一日三回食後四十分ニシテ内用 (胃擴張等ニ用フ)

- 硝蒼 二、〇
- ザロール 一、五
- 右一日量一日三回食間内用 (胃腸ノ制腐、止痛、腸加答兒)

- 重碳酸ナトリウム 四、〇
- 次硝酸蒼鉛 二、〇
- 莨菪越幾斯 〇、〇六
- 右一日量一日三回食後四十分ニシテ内用 (過酸症)
- 纈草丁幾 〇、五
- 白糖 二、〇
- 右爲一包一日一包食間内用 (コレラ)

- タカヂアスターゼ 〇、八一
- 重碳酸ナトリウム 三、〇
- 右一日量一日三回食後冷水ニテ内用 (消化劑)

- 次硝酸蒼鉛 一、五
- 黃連末 〇、五
- レゾルチン 一、五
- 右一日量一日三回食間内用 (食思亢進)

- 重曹 五、〇
- タカヂアスターゼ 〇、八
- 莨菪越幾斯 〇、〇六
- 龍膽末 〇、五
- 右一日量一日三回食後三十分ニシテ内用 (慢性胃加答兒)

- 重碳酸ナトリウム 四、〇
- 硝蒼 一、〇
- ホミカ越幾斯 〇、〇六
- 龍膽末 〇、〇五
- 煨製アグネシア 〇、五
- 右一日量一日三回食後四十分ニシテ内用 (慢性胃加答兒)

枸橼酸 〇、五
單舍利別 八、〇
規那丁幾 二、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回内用 (急性胃加答兒)

流動コンヂュランゴ越幾斯 三、〇
苦味丁幾 二、〇
番木鱉丁幾 〇、五
蒸餾水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食前三十分ニ内用
(胃痛、慢性胃加答兒)
(食思亢進ノ目的ニ)

流動コンヂュランゴ越幾斯 三、〇
苦味丁幾 二、〇
重碳酸ナトリウム 四、〇
蒸餾水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食前三十分ニ内用
(同上)

ペフシン 一、〇
稀鹽酸 一、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

デルマトール 二、〇
次ザリチール酸蒼鉛 二、〇
マンニン酸チレキシシ 〇、三
次硝酸蒼鉛 一、五
右一日量一日三回食間内用 (止痢コトニ
結核性ニ功アリ)

ゴム漿 各二〇、〇
單 各二〇、〇
水 二〇〇、〇
右一日量一日三回内用 (腸加答兒)
苦味丁幾 各三、〇
芳香丁幾 各二五、〇
單 各二〇、〇
酒精 各二〇、〇
水 二〇〇、〇
右二日量一日三回食間内用
(食思亢進ノ目的ニ)

流動コンヂュランゴ越幾斯 三、〇
苦味丁幾 二、〇
番木鱉丁幾 〇、五
カスカラザクラダ流動越幾斯 三、〇
蒸餾水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食前三十分ニ内用
(同上、且常習便秘アルモノ)

重碳酸ナトリウム 一〇、〇
橙皮丁幾 五、〇
グリセリン 一〇、〇
蒸餾水 二〇〇、〇
右二日量一日三回食間内用 (同上)
ペフシン 四、〇
稀鹽酸 一、〇
橙皮丁幾 五、〇
單 二〇、〇
水 二〇〇、〇
右二日量一日三回食後内用
(消化劑及減酸症)

タカザアスターゼ 一、〇
ホミカ越幾斯 〇、〇六
右一日量一日三回食後内用 (同上)

鹽酸 五、〇
苦味丁幾 二五、〇
右一日三回食後直チニ十滴ヅ、水ニ和シ内
用 (減酸症)

クレチソート 六、〇
右一日三回食後直チニ四―五滴膠囊ニ入レ
内用 (胃腸ノアトニ胃腸内ノ制酵)

番木鱉丁幾 二、〇
阿片丁幾 三、〇
カスカリラ丁幾 一〇、〇
右一日三回食間二十滴ヅ、水ニ和シ内用
(胃痛)
コンヂュランゴ煎(二五、〇) 一八〇、〇
稀鹽酸 二〇、〇
水ヲ加ヘ 二〇〇、〇トス
右二日量一日三回食後内用 (同上)

大黃根浸 (八、〇) 一七五、〇
 重曹 一〇、〇
 薄荷油 三滴
 單舎ヲ加ヘ 二〇〇、〇
 右二日量一日三回食後内用 (胃カマイル)
 磷酸コカイン 一〇、一
 苦扁桃水 一〇、〇
 右十滴ヅ、一日三回内用 (胃痛)
 ナルトホルム 一、〇
 乳糖 一、〇
 右一日量一日三回内用 (同上)
 磷酸モルヒネ 一〇、〇
 乳糖 一〇、〇
 右一回ノ頓服量 (同上)
 サントニン 一〇、〇
 重曹 一、五
 右一回ノ頓服量 (同上)

一七八
 プロームカリウム 一、〇
 重曹 二、〇
 右一回ノ頓服量 (胃痛)
 磷酸コデイン 〇、〇
 重曹 二、〇
 右一回ノ頓服量 (同上)
 重曹 二、〇
 龍膽末 二、〇
 阿片 〇、〇
 右一回ノ頓服量 (同上)
 規那煎 (六、〇) 一〇〇、〇
 稀塩酸 一、〇
 右一日量一日三回食前三十分ニ内用 (健胃強壯劑)
 アンチヂセンテリウム 一〇、〇
 單舎 八、〇
 蒸餾水 一〇、〇
 右一日量一日三回内用 (赤痢)

重酒石酸カリウム 五、〇
 右一回ノ頓服量 (頑固ノ吃逆)
 酒石酸 三、〇
 右一回ノ頓服量 (同上)
 薄荷葉浸 (一、一、二、〇) 一〇〇、〇
 單舎 一〇、〇
 右一日量一日三回内用 (盲腸炎)
 阿片 一〇、一
 乳糖 一、〇
 右一日量一日三回内用 (同上)
 アスピリン 〇、三
 重曹 二、〇
 右一回ノ頓服量 (頑固ノ嘔吐)
 半夏浸 (八、〇) 一〇〇、〇
 薑根舍利別 八、〇
 右一日量一日三回内用 (同上)

土益十二枚ヲ煎シ濾過一五〇、〇ヲ得、次方ヲ加フ
 半夏 九、〇
 雀舌 四、五
 薑根 一八、〇
 以上ヲ煎出シテ濾過一〇〇、〇ヲ得
 右一日量一日三回内用 (同上)
 規那丁幾 二、〇
 苦味丁幾 二、〇
 水 一〇〇、〇
 右一日量一日三回食間内用 (胃カマイル)
 重曹 三、〇
 苦味丁幾 二、〇
 水 一〇〇、〇
 右一日量一日三回内用 (同上)
 デルマトール 〇、八
 乳糖 〇、五
 右一包量與十包一日三回ヅ、内用 (止痢)

タンナルビン 〇、七—〇、一
乳糖 〇、五—〇、二
右一包量與十包一日三回一包ヅ、内用
(止痢)

タンニールゲン 〇、八—〇、一
タンノホルム 〇、七—〇、一
乳糖 〇、五—〇、二
右一日量一日三回内用 (腸カタル)

甘汞 〇、〇—四—〇、〇—一
デルマトール 四、〇—〇、〇—六
乳糖 一、〇—〇、〇—五
右一日量一日三回内用 (同上)

ドーフル散 〇、〇—五—〇、〇—一
乳糖 〇、五—〇、〇—一
右一包量與十包一日三回内用 (同上)

石灰水 三〇、〇
右混乳料一日三回内用

(腸カタルノトキ)

タカチアスターゼ 〇、五—〇、一
重曹 一、〇—〇、〇—二
右一包量一日三回食後一包ヅ、内用
(消化劑)

ペフシン 一、〇—〇、〇—三
稀鹽酸 〇、五—〇、〇—一
單舎 一、〇、〇—五、〇
水 一五〇、〇—六〇、〇
右二日量一日三回食後内用 (胃カタル)

タンニン酸ナレキシシ 〇、五—〇、一
乳糖 〇、五—〇、〇—二
右一包量一日三回食前二時間ニ一包ヅ、
内用 (食思亢進ノ目的ニ)

1110

コロシ (八、〇—一五〇、〇—一、〇—六〇、〇
ホ煎 四、〇—〇、〇—五
次硝酸蒼鉛 一〇、〇—五、〇
單舎利別 〇、〇—五、〇
ゴム漿 適宜
右一日量一日三回食前内用 (胃カタル)

次ザリチール酸蒼鉛 〇、七—〇、一
乳糖 〇、二—〇、一
右一包量與十包一日三回食間内用
(腸カタル)

規那煎 (八、〇—一五〇、〇—一、〇—六〇、〇
稀鹽酸 〇、八—〇、〇—一
單舎 一〇、〇—〇、〇—六、〇
右二日量一日三回食前内用 (胃カタル)

硝蒼 〇、七—〇、一
乳糖 〇、五—〇、〇—一
右爲一包一日三回一包ヅ、内用
(胃及腸カタル)

阿片丁幾 〇、八—〇、一
單舎利別 一〇、〇—五、〇
水 一五〇、〇—六〇、〇
右二日量一日三回食前内用 (腸カタル
腹膜炎等)

重曹 三、〇—〇、〇—五
硝蒼 二、〇—〇、〇—二
寬若越幾斯 〇、〇—五—〇、〇—五
右一日量一日三回食後四十分ニシテ内用
(胃カタル)

稀鹽酸 一、〇—〇、一
流動コンヂュラシ 五、〇—〇、〇—五
越幾斯 一〇、〇—五、〇
單舎 一五〇、〇—六〇、〇
水 右一日量一日三回内用 (同上)

1111

強壯劑及興奮劑

臨牀上本劑ヲ用フル場合ハ甲ハ重症疾病ノ恢復期、其他一般全身ノ衰弱、貧血、原因ノ不明ナル月經不調等ナリトス

乙ハ疾病中心臟力ノ減退ノ傾アルトキ衰弱ノ加ハラントスルトキニ應用ス

- 鹽酸キニーネ 〇、三
- 還元鉄 〇、五
- 右一日量爲丸一日三回食後直チニ内用但一般鉄劑内用中ハ單仁ヲ含有スル飲食物ヲ禁忌ス (貧血)
- 鹽酸キニーネ 〇、二五
- 還元鉄 〇、五
- 蘆薈 〇、一
- 右一日量爲丸一日三回食後内用 (同上)
- 亞砒酸 〇、〇六
- 黑椒末 一、五
- 甘草末 三、〇
- ゴム漿 適宜
- 右爲六十九丸一日三回三粒ヅ、食後内用 (マラリア、淋巴腺炎ノ惡疫等)

- 還元鉄 〇、三
- 亞砒酸 〇、〇〇五
- 甘草末 一、五
- ゴム漿 適宜
- 右一日量爲丸一日三回食後内用 (同上)
- 枸橼酸鉄 五、〇
- 龍膽末 一、〇〇
- 龍膽越幾斯 三、〇〇
- 右爲六十九丸一日三回二粒ヅ、食後内用 (貧血、萎黃病等)
- 乳酸鉄 五、〇
- 右爲六十九丸一日三回二粒ヅ、食後内用 (同上)

- 硫酸鉄 九、〇〇
- 炭酸加里 一、〇〇
- トラカントゴム 一、二
- 水 適宜
- 右爲六十九丸一日三回一粒ヅ、食後内用 (貧血、萎黃病等)
- 滿徳鉄ペフトン液 一五、〇〇
- 單舍利別 一〇、〇〇
- 水 一〇、〇〇
- 右一日量一日三回食後内用 (同上)
- 肝油 二〇、〇〇
- 桂皮水 二〇、〇〇
- 右一回ノ頓服量毎夜臨牀時ニ内用 (同上及強壯劑)
- 沃鉄舍利別 一〇、〇〇
- 單舍利別 八、〇〇
- 蒸餾水 一〇、〇〇
- 右一日量一日三回食後内用 (同上及強壯劑)

- ホーレル水 三、〇〇
- 蛋白鉄液 三〇、〇〇
- 右混和一日三回十五滴ヅ、食後内用 (同上及惡疫等)
- 林檎鉄丁幾 二五、〇〇
- ホーレル水 五、〇〇
- 右混和一日三回十滴ヅ、食後内用 (同上)
- フェルラチン 〇、五
- 乳糖 〇、五
- 右一包量與十包一日三回一包ヅ、食後内用 (貧血)
- スコット乳菜 一五、〇〇
- 桂皮水 一五、〇〇
- 右一回ノ頓服量就眠時ニ内用 (結核、全身衰弱、貧血等)
- 含糖ヨード鉄 〇、五
- 乳糖 〇、五
- 右一包量一日二回食後一包ヅ、内用 (貧血)

ホーレル水
單舎 一〇、六
水 八、〇〇
右一日量一日三回食後内用
(貧血、惡疫等)

含糖炭酸鉄
鹽酸キニーネ
乳糖
右一日量一日三回食後内用 (貧血)

卵黄 二個
赤酒 三〇、〇
單舎 一〇、〇
水 一〇、〇
右一日量一日數回内用 (興奮)

廣東人參煎 (三一五、〇) 一〇〇、〇
デギタリス丁幾 二〇、〇
單舎 一〇、〇
右一日量一日數回内用 (同上)

二三四

廣東人參煎 (五、〇) 一〇〇、〇
卵黄 二個
單舎 八、〇
右一日量一日數回内用 (同上)

精製樟腦
カフエイン
右一日量爲丸一日三回内用 (同上)

龍腦 一〇、五
乳糖 一〇、五
右一日量一日三回内用 (同上)

麝香 〇、一
カフエイン 〇、一
乳糖 〇、五
右一回量頓服二三時間毎ニ一包ツ、内用

酒精 四〇、〇
複方規那丁幾 三〇、〇
水 二〇、〇
右一日量一日三回内用 (同上)

規那丁幾 二、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日三回食前内用 (強壯)

コニアック 二〇、〇
卵黄 二個
單舎 八、〇
水 一〇〇、〇
右一日量一日數回分服 (興奮)

肝油 二五、〇
石灰水 二八、〇
薄荷油 一滴
桂皮舎利別 一〇、〇
右一日量一日三回分服 (強壯劑、貧血)

沃鉄舎利別 一五、〇
單舎利別 一〇、〇
水 一五〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

沃鉄舎利別 一五、〇
單舎利別 一〇、〇
水 一五〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

規那煎 (八、〇) 一五〇、〇
稀塩酸 一〇、〇
單舎 一〇、〇
右一日量一日三回食前内用 (同上)

カンフナル 〇、五
安息香酸 〇、五
乳糖 〇、五
右一包量與十包一日五回内用 (興奮)

ホーレル水 〇、八
林檎酸鉄丁幾 三、〇
單舎 一〇、〇
水 一五〇、〇
右一日量一日三回食前内用 (惡疫強壯劑)

二三五

驅蟲劑

胃腸内に於ル細菌ノ驅除ハ強キ下劑ニヨリ奏功ス然レドモ寄生動物ハ固有運動及支持装置ノ存スル爲メニ一定ノ藥劑ヲ要ス、該動物ニハ有毒ニシテ且宿主ノ體ニハ吸收セラレザルモノヲ要ス、コノ要件ニ適セバ皆驅蟲劑タルコトヲ得一般ニ驅蟲スルハ其豫備療法トシテ可及的腸管ヲ前以テ空虚トナスコトヲ要ス、スベテノ驅蟲劑ハ永ク放置スルトキハ有功成分分解セラル、ガ故ニ必ズ新鮮ナルベク而シテ量ヲ失スルトキハ神經毒タルニヨリ應用上注意スベシ

サントニン 〇、〇八一〇、一二二

ヤイラツパ末 〇、五——一、〇〇

乳糖 一、〇〇

右一日量三回空腹時内用 (蠅蟲)

チモール 二、〇〇

ヤイラツパ末 一、〇〇

右一日量爲丸一日三回食間内用

(十二指腸蟲)

(a) チモール 三、〇〇

ナフタリン 〇、五

右爲丸一回ノ頓服量與一頓分

(b) 蓖麻子油 一五、〇—二〇、〇

桂皮水 一五、〇

右一回ノ頓服量與二頓分

以上二方ヲ與へ就眠前下劑ヲ、翌朝空腹時ニチモールヲ内用シ一時半後更ニ下劑ヲ内用セシム朝飯ハ與へズ本法ハ隔日ニ之ヲ行フ

(十二指腸蟲ノ驅除、絲蟲ノ驅除ニモ功アリ)

チモール 二、〇〇

ゴム漿 三、〇〇

以上一回ノ浣腸料夜就寢後體ノ溫暖トナリタルトキニ行フ (蠅蟲ノ驅除)

石榴根皮 四〇、〇—五〇、〇

以上ヲ水三〇〇、〇ニ冷浸スルコト二十四

時間後煎出シテ濾液一〇〇、〇ヲ得之ニ

薑根舍利別 一五、〇

以上一回ノ頓服量

本法ハ四—五日前ヨリ下劑ヲ投シ苛烈性食餌

ヲトラシム本劑内用後更ニ一時間ヲ經テ蓖麻

子油ヲ處方スベシ

スベテ驅蟲劑内用後ハ下劑ヲ投ズルチ可トス

チモール 二、〇〇

右膠囊ニ入レ與フ一回頓服量

(十二指腸蟲)

硫酸ヘルレチリン 〇、三

タンニン酸 〇、五

水 三〇、〇

右二回頓服量朝ノ空腹時ニ與フ (絲蟲)

カマラ 一〇、〇

右一回ノ頓服量 (絲蟲)

クロ、フォルム 一、〇〇

右一回ノ頓服量膠囊ニ入レ朝ノ空腹時ニ與

フ (絲蟲)

驅蟲劑中綿馬越幾斯ハ臨牀上可及的避クルチ

可トス殊ニ中毒ヲ發シ易キモノナリ若シ止ム

ヲ得ズ本劑ヲ處方スルトキハ蓖麻子油ヲ下劑

トシテ用フルコトヲ禁忌ス

綿馬越幾斯 三、〇〇

アルタ根末 適宜

右爲丸一回ノ頓服量

適宜

止血劑

内臓ノ出血ヲ制止スル目的トシテ臨牀上應用ス、本劑ヲ應用スルヤ身體ノ安靜當該相當部ノ氷捲法ヲ施シ胃及腸管ニアリテハ同時ニ氷片嚙下ニ加フルニ冷流動食、咯血ニアリテハ仰臥トシ又冷ナル食料ヲ與ヘ淡活ヲ禁ズベシ、外傷性ノモノニハ之レヲ手術ニ求ムルコトハ言テ待タザルベシ

- 角參浸 (三、〇) 一〇〇、〇
- 杏仁水 四、〇
- 鹽化アドレナリン (千倍) 二十滴
- 右一日量一日數回分服 (咯血)
- エルゴチン 〇、三
- ガチニン 〇、〇八
- 鹽酸ヘロイン 〇、〇一五
- 右一日量爲丸一日三回内用 (同上)
- 麥角浸 (三、〇) 一〇〇、〇
- ハマメリス流動越幾斯 一〇、〇
- 單舍利別 一〇、〇
- 右一日量一日三回内用 (同上)
- 飽和食鹽水 二〇〇、〇
- 右二日量一日數回内用 (同上)
- スチプチチン錠 (〇、〇五) 五個
- 右一日五回一錠ツ、内用 (同上)

- 醋酸鉛 〇、二
- 阿片 〇、一
- 乳糖 一、〇
- 右一日量一日三回内用 (同上)
- 過クローレル鉄液 一〇、〇
- 蒸餾水 一五〇、〇
- 以上鼻腔内噴霧料 (衄血)
- 千倍鹽化アドレナリン 一〇、〇
- 蒸餾水 五〇、〇
- 以上鼻腔内噴霧料 (同上)
- 過クローレル鉄液 六滴
- 右一回ノ頓服量水ニ和シ内用 (吐血)
- 過クローレル鉄液 一、〇
- 單舍利別 一〇、〇
- 鹽化アドレナリン 二十五滴
- 水 一〇〇、〇
- 右一日量一日三回内用 (同上)
- 麥角浸 (三、〇) 一〇〇、〇
- 鹽化アドレナリン (千倍) 二、〇
- 右一日量一日三回内用 (血尿)
- (血尿ニハ又原因療法ヲ要ス)

皮下注射劑

常ニ本劑ヲ臨牀上應用スルハ多ク突然ノ際ヲ多シトスルガ故ニ何時ニテモ使用シ得ラルベク
 設備スルヲ要ス然シ藥液ヲ永ク貯藏スルトキハ從テ沈澱ヲ生シ又ハ不純トナルコトアルガ故
 ニ臨牀上ニ於テ常備トシ常ニ新鮮ナルヲ欲スルハ鎮痛劑及興奮劑及止血劑ノミニテ事足ル其
 他ハ必要ニ應ジ新鮮ナルモノヲ作ラバ可ナリ勿論本劑ヲ作ルハ容器其他皆滅菌スルコトヲ要
 スルハ當然ナリトス

藥	名	一回用量(一、〇皮下注射器)	主	治
エーテル		一—二筒	興奮	
一〇%カンフナルチレーフ油		一—二—三筒	同	
一〇%カンフナルエーテル		同	同	
二〇%ザリチール酸ナトリウム	カフエイン	毎日1/2—1筒 靜脈内注射	ロイマチス其他神經痛	
千倍鹽化アドレナリン水		1/2—1筒	止血、(咯血、吐血等)	
一%莫比水		1/3—1/2—1筒	鎮痛	

實莖荅利斯丁幾		1/2—1筒	脈ノ不正、結代呼吸ノ不利チアノールセ
ザガーレン		一筒	同
ザキタリスザアリザータ		同	同
五%ピラミドン水		一—二筒	各神經痛
〇、五%硝酸ストリキニーネ水		毎日1/5—1/3筒	顔面神經麻痺 黑内障(虹彩部) 膀胱ノ麻痺(下腹部)
麥角越幾斯水	(一ニ對シガリセリン蒸餾水各五、〇ヲ加フ)	一—二筒	止血
一%鹽酸アポモルヒネ水		1/3—1/2筒	催吐
一%鹽酸ヨヒンビン水		毎日1/4—1/2筒	陰萎
一%鹽酸ピロカルピン水		1/2—1筒	發汗
〇、五%アトロピン水		1/5—1/2筒	ピロカルピン、 莫比急性中毒
五〇%アンチピリン水		1/2筒	眼科ニ用フ
一—一〇%食鹽水			眼科ニ結膜下注射

○、五%カルボール水

昇汞 〇、一
食鹽 〇、一
蒸餾水 一〇〇、〇〇

蒸餾水

生理的食鹽水

五日目ニ一筒、

一—二筒

五〇〇、〇—一〇〇〇、〇

一三三
鞏膜炎ニ結膜下注射

梅毒

ヒステリー性ノ疼痛

大出血又ハ虎列刺ノ虛
脱ニ皮下注入

吸入劑

本劑ヲ用フルハ深部ニ附着セル粘液ヲ溶解シ咯痰ノ咯出ヲ容易ナラシムル爲メ又ハ呼吸器系
統ヲ消毒センガ爲メ或ハ分泌ヲ制滅シ咳嗽ヲ鎮メントスルニアリ其症狀ノ輕重ニヨリ一日三
乃至四回又ハ數回、一回ノ永サハ五分乃至十五分便宜之ヲ參酌シテ處方スルモノトス

三%重曹水
三%食鹽水
杏仁水

各一〇〇、〇

四、〇

肺結核氣管支加答兒等

同

ザフテリー、喘息

〇、六%食鹽水
一%沃土加里水

〇、五%鹽酸コカイン水

〇、五%カルボール水

苦扁桃水

一〇〇、〇〇

二%乳酸水

〇、五%過クロール鉄水

石灰水

一%ホルマリン水

〇、五%タンニン水

〇、五%重曹水

〇、一%過マンガン酸加里水

テレピン油

一〇〇、〇〇

メントール油

一〇〇、〇〇

アネステジン

四〇〇、〇〇

酒精

六〇〇、〇〇

喉頭炎、氣管支炎
肺壞疽、腐敗性氣管支
炎等

氣管支加答兒

實扶埜里亞、咽頭炎

咯血

ザフテリー

痙咳

氣管支加答兒

同

濾胞性扁桃腺炎

腐敗性氣管支加答兒

喉頭結核ノ疼痛

座藥

各處方ハ皆一個ノ量ナリ肛門尿道座藥ノ形狀ハ紡錘形ヲ便トス

クレチリン單仁座藥

クレチリン
タンニン

各〇、〇五

莨菪越幾斯

カ、オ脂

一、五

阿片莨菪球

阿片

〇、一

莨菪越幾斯

カ、オ

〇、〇三
適宜

デルマトール球

デルマトール

〇、五

カ、オ脂

三、〇

コカイン麥角座藥

コカイン

〇、〇二

麥角越幾斯

カ、オ

〇、二

沃土加里球

沃土加里

〇、二

炭酸加里

カ、オ脂

〇、〇二

沃菴球

沃剝

〇、二

莨菪越幾斯

炭酸加里

〇、〇二

カ、オ脂

三、〇

イヒチチール球

イヒチチール

〇、一五

カ、オ脂

三、〇

阿片座藥

阿片

〇、〇五

カ、オ脂

一、五

銀尿道座藥

硝酸銀

〇、〇五

カ、オ脂

〇、三

麥角阿片尿道座藥

麥角越幾斯

〇、〇五

阿片

カ、オ脂

〇、一

莫比尿道座藥

鹽酸モルヒネ

〇、〇〇五

柯々阿脂

〇、五

水銀座藥

水銀軟膏

〇、四

カ、オ脂

一、五

銀球

可溶性銀

〇、一

イヒチチール

〇、一五

カ、オ脂

三、〇

婦人用尿道座藥

硫酸亞鉛

〇、〇〇三

コカイン

〇、〇三

カ、オ脂

〇、五

浣腸藥及洗滌藥

石鹼アルコール

ナレーフ油

加里滿汁

酒精

重湯煎上ニ攪拌鹼化後

水

酒精

入レ濾過ス

以上局所洗滌料

二三六

赤酒

フローム加里

アラビアゴム漿

右一回ノ浣腸料

各二〇、〇

〇、五%加里石鹼水

右一回ノ催下浣腸料

二〇〇、〇—三〇〇、〇

ナレーフ油

リチネ油

右一回ノ催下浣腸料

三〇〇、〇
六〇、〇

微温湯

右一回ノ催下浣腸料

三〇〇、〇

〇、五%加里石鹼水

リチネ油

右一回ノ催下浣腸料

二五〇、〇
三〇、〇

浣腸藥及洗滌藥

(A) 鶏卵二個ヲ冷水一五、〇ト攪拌
(B) 澱粉二〇、〇ヲ二〇%葡萄糖液一五〇、〇ト共ニ煮沸
(B) 液ニ赤酒五〇、〇ヲ加ヘ冷却後
(A) 液ヲ徐々ニ加ヘ攪拌ス、コノトキ卵白ノ凝固セザルコトヲ要ス
之ニベプトン 四、〇、食鹽 二、〇ヲ加フ
以上一回ノ浣腸料

グリセリン
微温湯
右一回ノ催下浣腸料
三〇〇、〇
三〇、〇

抱水クローラル 一、五 (小兒ニハ
〇、二—一、〇)

ゴム漿
右一回ノ浣腸料
五〇、〇

〇、五%タンニン酸水
右一回ノ浣腸料
八〇〇、〇

ナレーフ油
右一回ノ催下高壓浣腸料
八〇〇、〇

〇、五—一%アルコール水
右一回ノ浣腸料
三〇〇、〇—一五〇、〇

一%ザリチール酸水
右一回ノ浣腸料
二〇〇、〇—一五〇〇、〇

一%リゾール水
右洗滌料

一〇%加里石鹼水
右洗滌料

〇、二%硝酸銀水
右一回ノ浣腸料

二%硼酸水
右洗滌料

一%昇汞水
右洗滌料

一%ホルマリン水
右消毒料

二%石炭酸水
右洗滌料

二%重曹水
右胃洗滌料

四〇〇、〇

二三七

雜劑

アガリチン 〇、〇〇五

右一回頓服量爲丸臨臥時内用
(結核等ノ盗汗)

アトロピン 〇、〇〇〇五

右一回ノ頓服量爲丸臨臥時内用 (同上)

千倍鹽化アドレナリン液 一、〇

酒精 一〇、〇

右塗布料前額背部臨臥時塗布二三日一回
應用 (同上)

沃土加里 一、二

苦味丁幾 二、〇

蒸餾水 一〇〇、〇

右一日量一日三回食後内用
(驅梅毒、吸收劑)

180

沃土加里 一、〇

硫酸マグネシア 一〇、〇

規那丁幾 二、〇

蒸餾水 一〇〇、〇

右一日量一日三回食後内用 (同上)

昇汞 〇、〇〇一

右爲一九一日三回一丸ツ、食後内用
(驅梅毒)

ザリチール酸汞 六、〇

甘草末 二〇、〇

龍膽越幾斯 適宜

右爲六百丸一日三回一粒ツ、内用 (同上)

昇汞 〇、二

白陶土 六、〇

グリセリン 適宜

右爲六千丸一日三回食後内用 (同上)

ゴノサン 六一十個

右一日量一日三回食後内用 (淋毒)

ザロール 二、五

右一日量一日三回内用 (同上)

ワリール 六個

右一日量一日三回食後内用 (ヒステリー)

癩草浸 (五、〇) 一〇〇、〇

アローム加里 四、〇

單舎 一〇、〇

右一日量一日三回食後内用 (同上)

アローム加里 三、〇

アローム曹達 二、〇

苦味丁幾 二、〇

蒸餾水 一〇〇、〇

右一日量一日三回食後内用 (ヒステリー、
偏頭痛、神經衰弱、不眠、痙攣等)

181

アローム加里 八、〇

アロームアンモン 各四、〇

アロームナトリウム 二〇〇、〇

水 二〇〇、〇

右二日量一日三回食後内用 (同上)

アローム加里 三、〇

アンチピリン 一、〇

假製マグネシア 〇、五

右一日量一日三回食後内用 (同上)

ミグレンイン 一、二

乳糖 一、〇

右一日量一日三回食間内用 (同上)

阿片末 〇、〇八

ザロール 一、五

右一日量一日三回食間内用 (糖尿病)

假製マグネシア 〇、八

葦若越幾斯 〇、〇六

右一日量一日三回分服 (脚氣)

硫酸マグネシア 一、二、〇
ストロファンツース丁幾 一、一、二
規那丁幾 二、〇、〇
蒸餾水 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食間内用 (同上)

重碳酸ナトリウム 三、三、〇
酒石酸 三、〇、〇
單舍利別 一、〇、〇、〇
蒸餾水 一、〇、〇、〇
右一日量一日數回分服 (所謂セルテル水)

ゲギタリス葉浸 (〇、五) 一、〇、〇、〇
ストロファンツース丁幾 一、一、二
單舍利別 八、〇、〇
右一日量一日數回分服 (心臟藥)

ゲギタリスゲアリザーマ 四十滴
單舍利別 八、〇、〇
蒸餾水 一、〇、〇、〇
右一日量一日數回分服 (同上)

ピラミドイン 〇、五、一、〇
乳糖 一、〇、〇
右一日量一日三回内用 (鎮痛解熱)

ピラミドイン 〇、〇、〇、六
カンフナル 〇、〇、五
乳糖 一、〇、五
右一日量一日三回食間内用 (同上)

ザリチール酸ナトリウム 五、〇
橙皮舍利別 一、六、〇、〇
水 二、〇、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

アセトアニリド 一、〇、〇、〇
鹽酸ヘロイン 〇、〇、〇、一、五
乳糖 一、〇、〇、〇、一、五
右一日量一日三回内用 (咳嗽ヲ伴フトキ)

ヨネピン 一、五、〇
水 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (動脈硬變)

ザリチール酸ナトリウム 三、〇、〇
單舍利別 一、〇、〇、〇
水 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (鎮痛解熱)

ザロフェン 三、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

アスピリン 三、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

アンチピリン 一、一、〇、二
乳糖 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

アスピリン 二、五、〇
アンチピリン 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (同上)

枸橼酸 〇、五、〇
單舍利別 八、〇、〇
アンチピリン 一、〇、〇、〇
水 一、〇、〇、〇
右一日量一日三回食間内用 (同上)

ヨネピン錠 六個
右一日量一日三回分服 (感能性陰萎)

抱水グロラール 一、一、〇、〇
プロロム加里 一、〇、〇、〇
水 五、〇、〇、〇
右一回頓服量不眠時ニ内用

ヱロナール 〇、〇、三
乳糖 〇、〇、五
右一回頓服量 (同上)

アスピリン 一、〇、〇、〇、一
白糖 一、〇、〇、〇、二
右一包量與六包一日三回食後内用 (鎮痛)

グレナツタール 八、〇、〇、一、〇
單舍利別 一、〇、〇、〇、五、〇
ゴム漿 一、〇、〇、〇、五、〇
水 一、五、〇、〇、一、六、〇、〇
右一日量一日三回食後内用 (チフス、肺炎止痢、腸管消毒)

プロイムナトリウム 二〇〇、〇、三
 プロイム加里 二〇〇、〇、三
 プロイムアンモン 一〇〇、〇、一五
 單舍利別 一〇〇、〇、五〇
 右二日量一日三回食後内用 (神經劑)

沃土加里 一〇〇、〇、一
 ホミカ丁幾 一〇〇、〇、一
 單舍利別 一〇〇、〇、一
 水 一五〇、〇、六〇、〇
 右二日量一日三回食後内用 (吸收劑、神經劑)

ホーレル水 〇、八〇、〇、一
 沃土加里 一〇〇、〇、一
 單舍利別 一〇〇、〇、一
 水 一五〇、〇、六〇、〇
 右二日量一日三回食後内用 (同上)

ミグレニン 〇、五〇、〇、一
 乳糖 〇、五〇、〇、一
 右一包量一日三回食間内用 (鎮痛)

沃剝 一〇〇、〇、一
 麥角越幾斯 一〇〇、〇、一
 單舍利別 一〇〇、〇、一
 水 一五〇、〇、六〇、〇
 右二日量一日三回食後内用

エルレンマイエル氏合劑 二〇〇、〇、〇
 プロイム加里 二〇〇、〇、〇
 プロイム曹達 二〇〇、〇、〇
 プロイムアンモン 一〇〇、〇、〇
 水 一〇〇、〇、〇
 右一日量一日三回食後内用 (神經劑)

外用劑

コノ項ニハ内科及外科ヲ不論、スベテ外用ニ供スベキ處方ヲ列擧シタリ

ベルツ氏液 三、〇〇、〇
 苛性加里 九、〇〇、〇
 酒精 一五、〇〇、〇
 グリセリン 三〇、〇〇、〇
 水 三〇、〇〇、〇
 ウィルソン氏軟膏 五、〇〇、〇
 酸化亞鉛 五、〇〇、〇
 安息香脂 五、〇〇、〇
 ウィンゲル氏軟膏 一、〇〇、〇
 白降汞 一、〇〇、〇
 ペリウバルサム 五、〇〇、〇
 ウィルソン軟膏 三〇、〇〇、〇
 ウィルキンソン軟膏 三〇、〇〇、〇
 加里石鹼 各一〇、〇
 エーテル 各一〇、〇
 硫黄華 各一〇、〇
 ワゼリン 二〇、〇〇

複方ナフトール軟膏 一五、〇〇、〇
 ベタナフトール 一五、〇〇、〇
 加里石鹼 一〇、〇〇、〇
 沈降性炭酸石灰 一〇、〇〇、〇
 ラノリン 一〇、〇〇、〇
 炭酸加里軟膏 二〇、〇〇、〇
 炭酸加里 二〇、〇〇、〇
 硫黄華 六〇、〇〇、〇
 單鉛膏 六〇、〇〇、〇
 ビンク氏硬膏 一七、〇〇、〇
 ザリチール酸 一七、〇〇、〇
 單鉛硬膏 一七、〇〇、〇
 白蠟 一七、〇〇、〇
 藥用石鹼末 一七、〇〇、〇
 カンフタル 一七、〇〇、〇
 カレトフ油 一七、〇〇、〇
 各一、〇〇

ブーロー氏液
明礬 五、〇〇
鉛糖 二五、〇〇
水 五〇〇、〇〇

アイロールパスター
アイロール 各一〇、〇
グリセリン 各一〇、〇
白陶土漿 各二〇、〇

ラツサルパスター
ザリチール酸 二、〇〇
豚脂 二〇、〇〇
ワゼリン 三〇、〇〇
亞鉛華粉 各二五、〇

チンクパスター
酸化亞鉛 各一〇、〇
白陶土漿 各一〇、〇
グリセリン 各二〇、〇

Bヘブラ軟膏
酸化鉛 三〇、〇〇
チレーフ油 七〇、〇〇
ラアエンデル油 一、〇〇
ノ比例ニテAノ如ク作ル

イヒチチールパスター
亞鉛華粉 各一二、五
イヒチチール 一、〇
黄色ワゼリンヲ加へ五〇、〇トス

撒荷水
ザリチール酸 一、〇〇
グリセリン 二〇、〇〇
苛性加里 一、〇〇
水 一七〇、〇〇

沃土フタルムコロザウム
沃土フタルム 一、五〇
コロザウム 一五、〇〇

デルマトールパスター

亞鉛華粉 各二〇、〇

豚脂(三%ノ安息香酸ヲ含ム) 六〇、〇

沃土第一液

沃土 各一〇、〇
カルホル 各一〇、〇
メントール 各一〇、〇

沃土加里 各二〇、〇
グリセリン 各二〇、〇

第二液ハ沃土ヲ〇、四トス

Aヘブラ軟膏

酸化鉛 二〇、〇
ヲ冷水適宜ニ研和糊狀トナシ重湯煎上ニア

阿列布油

ヲ加へタヘズ攪拌シ十分硬膏化シタル後冷

却後ラアエンデル油

ヲ加フ

シユライヒ局所麻酔液

第一液

食鹽 各一〇、〇
鹽酸コカイン 各一〇、〇
鹽酸モルヒネ 各一〇、〇
蒸餾水 各一〇〇、〇

第二液

食鹽 各一〇、〇
鹽酸コカイン 各一〇、〇
鹽酸モルヒネ 各一〇、〇
蒸餾水 各一〇〇、〇

第三液

食鹽 各一〇、〇
鹽酸コカイン 各一〇、〇
鹽酸モルヒネ 各一〇、〇
蒸餾水 各一〇〇、〇

沃剝軟膏
沃土加里 各一〇、〇
重曹 各一〇、〇
ワゼリン 各一〇、〇

プルンス氏注入料
一〇%沃土ラナルムグリセリン
右爲振盪合劑

カボザード軟膏
ナフトール
滑石
綠石鹼
豚脂
一五、〇〇〇
一〇〇、〇〇〇
一〇〇、〇〇〇

沃土ラナルム
サツサフラス油
右創面ニ用フ
一〇、〇〇〇
二、〇〇〇

酸化亞鉛
チレーフ油
右塗布料 (濕疹)
各二〇、〇

マンニン酸
硼酸
水
右含嗽料 (舌乳頭腫起ニ)
一〇、〇〇〇
二、〇〇〇
〇、五〇〇

三%硼酸水
右口内塗布料 (鷺口瘡)

硝酸ナトロン
水
右消炎劑トシテ用フ
二〇〇、〇〇〇
八、〇〇〇

單仁酸
グリセリン
水
右收斂止血及消炎劑
二五、〇〇〇
二〇、〇〇〇
二五、〇〇〇

カンフタル
ワゼリン
右凍瘡ニ用フ
五〇、〇〇〇
五〇、〇〇〇

沃土
沃土加里
水
豚脂ヲ加ヘ
右消炎劑
〇、一五五
二、二五〇
二五、〇〇〇
二五、〇〇トス

過滿俺酸加里
水
右含嗽料 (臍胞性扁桃腺炎)
二四八
〇、一〇〇、〇〇一
一〇〇、〇〇〇

硼酸
水
右含嗽料 (鷺口瘡)
一〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇

硼砂
水
右口内塗布料 (同上)
一〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇

過滿俺酸加里
水
右口内塗布料 (アフテン)
一五、〇〇〇
一〇、〇〇〇

硝酸銀
水
右塗布料 (アフテン)
一〇、〇〇〇
一、〇〇一
一〇、〇〇〇

二〇%イヒチナールワゼリン
右爲消炎劑 (凍傷及腹膜炎)

肝油
メントール油
炭酸グワヤコール
右腹部塗布料 (腹膜炎)
一〇、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇

石油
白露サルサム
右塗擦料 (虱)
二〇、〇〇〇
一、〇〇〇

ナフトール
チレーフ油
右塗擦料 (虱)
一〇、〇〇〇
一、〇〇〇

水銀軟膏
右塗擦料 (虱)
二〇、〇〇〇

アルコール
右塗擦料 (虱)
三〇、〇〇〇

酸化亞鉛 一〇、〇
ザリチール酸 一〇、〇
澱粉 三、〇
カンフチル 〇、五
右塗布料 (乾燥劑)

ザリチール酸 〇、二
滑石末 各五、〇
亞鉛華 各五、〇
右塗布料 (同上)

デルマトール 二、〇
亞鉛華 五、〇
澱粉 五、〇
右塗布料 (同上)

デルマトール 二、〇
沃土フタルム 〇、五
亞鉛華 五、〇
澱粉 五、〇
右塗布料 (同上)

二〇%フタルマリンアルコール
右塗布料 (手掌足蹠ノ多汗)

甘扁桃油 二〇、〇
右塗布料 (第一度ノ火傷)

石炭酸 一〇〇、五
チレーフ油 一〇〇、〇
右塗布料 (同上)

流動蘇合香 各三〇、〇
チレーフ油 各三〇、〇
右塗布料 (疥癬)

六%沃土ワツゲイン
右塗布料 (横痃)

水銀軟膏 一〇〇、〇
イヒチチール 一〇、〇
右貼用料 (消炎)

キセロフタルム 一五〇
澱粉 五、五
右塗布料 (乾燥劑) 五、〇

メジタイン 五、五
チレーフ油 五、〇
右塗布料 (鎮痛)

ベラトリート 〇、二五
チレーフ油 適宜
豚脂チ加ヘ 二〇、〇トス
右塗布料 (同上)

アルコホル 各五、〇
白露バルサム 各五、〇
薄荷油 五、五
グリセリン 五、〇
右消炎劑 (腹膜炎)

一〇%薄荷精
右濕布料 (同上)

亞鉛華 〇、二五
澱粉 〇、二五
イヒチチール 〇、五
單軟膏 各五、〇
ワゼリン 各五、〇
右貼用料

沃土丁幾 五、〇
五倍子丁幾 五、〇
右齒眼塗布料
(齒根骨膜炎、齒痛)

クレナソート
右齶齒中へ綿ニ浸シ充顔料

沃土丁幾 三、〇
ミルラ丁幾 三、〇
烏頭丁幾 三、〇
右齒眼塗布料
(齒根骨膜炎、齒痛)

クロール酸加里 五、〇
薄荷油 三滴

右含嗽料

三〇〇、〇

〇、五%硫酸亞鉛水
右尿道内注入料

一五三

一〇、〇

〇、〇五—〇、四%硝酸銀水
右尿道内注入料

一〇、〇

五%デシンフェクトール水
右塗布料 (疥癬)

〇、〇〇五—〇、〇一%昇汞水
右尿道内注入料

一%沃土フタルムゴム漿
右尿道内注入料

〇、三—〇、五%
プロテイン銀水
右尿道内注入料

一〇、〇

〇、〇二%イトロール水
右尿道内注入料

一〇、〇

投薬上便宜作り置クベキ丸劑

本劑ノ製作機械ハ一般用ヒラル、截丸器ヲ標準トシ本器ニヨリ製作スルモノト假定ス而シテ截丸器ハ其切斷一本ヲ三十九トナシ得ル裝置ニシテ區間ノ延長距離曲尺五寸二分五厘乃至五寸二分ノモノトス、而シテ衣ハ石松子ヲ用フ

主 藥	藥 品 量	賦形藥	賦形藥量	稠着材料	三十丸 ヲ得ベ キ本數	總 丸 子 量	一丸主藥含量
ナフタリン	二〇、〇	ナシ		龍膽越幾斯	十本	三〇〇、〇	三丸中ニ 〇、二
チモール	二〇、〇	ナシ	エーテルヲ 滴下シテ粉 末トス	龍膽越幾斯	十本	三〇〇、〇	三丸中ニ 〇、二
沃土加里	二〇、〇	甘草末	七、〇	龍膽越幾斯	十本	三〇〇、〇	三丸中ニ 〇、二
ピアリンチ	二〇、〇	ナシ	製丸中脆キ ハゴムヲ 加フ	龍膽越幾斯	十本	三〇〇、〇	三丸中ニ 〇、二

一五三

ギニーネ	六、〇ナシ	龍膽越幾斯 四本	一二〇、〇	十丸中ニ〇、〇、五
ヘロイン	三、〇甘草末	龍膽越幾斯 二十本	六〇〇、〇	一丸中ニ〇、〇〇五
炭酸クレンソート	四五、〇白陶土 適度ノ稠度ヲ得ル迄	三十本	九〇〇、〇	二十丸中ニ一、〇、〇五
規鉄丸	還元鉄 硫酸ギニーネ 各一八、〇	龍膽越幾斯 二十本	六〇〇、〇	一丸中主藥各〇、〇三
ヤイラツパ末	八〇、〇ナシ	龍膽越幾斯 四十本	一二〇〇、〇	三丸中ニ〇、二
サリチール酸汞	〇、九甘草末	龍膽越幾斯 三本	九〇、〇	一丸中〇、〇一
麥角越幾斯	一〇、〇甘草末 適度ノ稠度ヲ得ル迄	十本	三〇〇、〇	三十九丸中ニ一、五 三丸中ニ〇、一

カンフナル	一五、〇ナシ	龍膽越幾斯 十本	三〇〇、〇	一丸ハ〇、〇五

(六) 藥物應用上ノ注意

藥名	禁忌スベキモノ	注意スベキモノ
阿片莫比	高熱、腦充血、衰弱、呼吸器病	二―三年ノ小兒、老人、心瓣膜病、妊娠
クロ、ホルム	心臟病、動脈瘤、肺ノ疾病	嬰兒、老人、貧血、衰弱家、肥胖家、癲癇、腦充血ノ癖アルモノ
抱水クロラール	胃ノ炎症及潰瘍性病、ヒステリー	心筋ノ疾病、腸窒扶斯、黃疸、老人、小兒、急性熱性病
亞硝酸アミール	動脈瘤、アテローム變性ヲ患フモノ、癲癇發作ノ初メヨリ顔面ノチアノーゼアルモノ	

プローム加里	虛弱家(虚脱ヲ起スイアリ)	小兒ハ大量ニヨリ往々下痢ス 老人ハ吐血 心臟病者ハ浮腫ヲ増スイアリ
物拉篤里涅		
コルシグム子	腸胃ノ炎症状態、衰弱セルモノ	
酒精	幼年神經興奮家、肺出血ノ素因アルモノ、心臟疾病アルモノ	大量ニ失スベカラズ
ザギタリス	心臟代償機能アルモノ、動脈壓ノ高キモノ、將ニ代償機能ヲ得ントスルモノ	蓄積作用アリ、五―六日ニシテ止ム ベシ、嘔氣嘔吐ハ中毒ノ前徵ナリ

甘 汞	昇 汞	汞 劑	ナ フ タ リ ン	攝 綿 支 奈
腎臟ヨリ來ル水腫(無効有害)	貧血、腎臟病者、下痢患者	消化不良、營養不良、 結核、衰弱、妊娠、 脫疽性潰瘍、 高熱		
	食後ノ内服 蛋白ハ反對藥ナリ 廣キ部ニ外用スレバ中毒ス	口内炎ニ注意スベシ	尿道ニ刺戟症狀ヲ起シ蛋白尿ヲ出ス トアリ	小兒ハ瞑眩シ易シ多キニ失スベカラ ズ

鹽 剝	酸 類	海 葱	纈 草	番 木 髓 子
	過剰ノ醸酸ヲ兼子タル消化不良	腎炎、消化不良、下利	高熱	
大量ハ中毒スコトニ小兒ニ然リ		連用スベカラズ		蓄積作用アリ

硫 麻	單 仁	硝 酸 銀	硫 酸 銅	醋 酸 鉛
腸ニ炎症アルモノ	胃加答兒、多血、常習便秘		下痢ヲ起シ易キモノ	顯著ノ消化不良、動脈硬變
高老虛弱家ニ注意スベシ	久シク用フベカラズ	小兒ノ下痢ニハ廢スベシ		便秘アルモノニハ注意スベシ

肝 油	鉄 劑	苦 味 劑	硝 石	亞 砒 酸
一年未滿ノ小兒、消化不良ノモノ、 下痢アルモノ	熱病者、多血家、内臓コトニ腦充 血、出血シ易キモノ、心臓器質病	多血家	腸胃ノ炎、衰弱者	老人、嬰兒、消化障害アルモノ、 發熱スルモノ、腸部充血、嘔吐、 下痢ノ傾アルモノ、妊婦、授乳婦、 出血ノ傾アルモノ
夏季ハ如何ナル人モ休藥スベシ	食後ニ與フベシ 單仁ヲ有スル飲料ヲ止ムベシ 久用スベシ			食後ニ與フベシ 外用スルモ中毒スルコトアリ

金 硫 黄	遠 志	礪 砂	耶 僕 蘭 日 葉	醋 剝
胃加答兒	胃、腸加答兒ノモノ	熱發及胃腸ノ炎アルモノ 肺結核コトニ咳嗽甚シキモノ	肺水腫ノ傾アルモノ 心臟病患者	
	連用ハ消化障害アリ			大量ヲ反覆スレバ血液及腎ヲ侵シ血 尿ヲ漏ス

杜 松 實	吐 酒 石	蘆 蒼	大 黄 及 蒟 刺 巴	旃 那 古 魯 聖 篤
腎ノ急又ハ亞急性炎アルモノ	胃腸ノ炎、衰弱、妊娠	妊娠、出血シ易キ痔、腸ノ炎症	腸粘膜ニツヨキ炎症アルモノ	腸ニ炎症アルモノ
	老人小兒ニハ注意スルカ又ハ全ク與 フベカラズ			妊婦ニ大量ヲ與フベカラズ

(七) 第三改正日本藥局方所定極量

アセトアニリド(アンチヘアリン)
 カフェイン
 ガメチールアミドアンチピリン(ピラミドン)
 商標越幾斯
 クレチソール
 沃土砒素液
 亞砒酸カリウム液(ホーレル水)
 コロシントヒヨス丸
 カシタリス丁幾
 ストロファンツース丁幾
 ゲルゼミウム丁幾

〇、五

一、五

石炭酸
 稀靑酸
 アガサチン
 ボドヒルム脂
 ロペリア草
 印度大麻越幾斯
 ヒヨス越幾斯
 サントニン
 糖酸マテイン
 醋酸鉛
 荳蔻根

〇、一

〇、三

鹽酸アボモルヒネ
 カラバル豆越幾斯
 昇汞
 赤色ヨード汞
 黄色ヨード汞
 黄色酸化汞
 赤色酸化汞
 ザリチール酸汞
 沃土
 鹽酸ピロカルピン

〇、〇一

〇、〇K

杏仁水
 苦扁桃水
 パクチ水
 コルヒクム酒
 ニルヒクム丁幾
 抱水クロラール

一、〇

六、〇

硫酸アトロピン
 フローム水素酸ホマトロピン
 磷
 サリチール酸フィツスチグミン
 硫酸フィツスチグミン

〇、〇〇一

〇、〇〇三

ブローム樟腦
ヒヨス葉
クワヤコール
藤黄
蓆酸セリユーム

〇・三

一・〇

カンタリス
荳蔻越幾斯
巴豆油
鹽酸コカイン
コロシント越幾斯

〇・〇五

〇・一五

麥角越幾斯
イナドフラルム
吐酒石
金硫黄
ヨード丁幾

〇・二

〇・六

亞砒酸
沃土砒素
硝酸ストリヒニーネ
ウエラトリン

〇・〇〇五

〇・〇一五

フェナセチン
ヤーラツパ脂
コロシント丁幾
ロベリヤ丁幾

一・〇

三・〇

硝酸銀
鹽酸モルヒネ
硫酸モルヒネ

〇・〇三

〇・一

番木鱈丁幾
ゲギタリス葉
鹽酸デアセチールモルヒネ(鹽酸ヘロイン)

〇・〇五

〇・一

〇・二

一・〇

〇・〇一

〇・〇一

芳香阿片酒
ゲギタリス丁幾
阿片丁幾

一・五

五・〇

サリチール酸ナトリユームカフェイン
安息香酸ナトリユームカフェイン

一・〇

六・〇

阿片

〇.一五

〇.五

阿片越幾斯

メチールスルフチナール(トリチナール)

スルチナール

二〇

四〇

アコニット越幾斯

〇.〇一五

〇.〇五

パラアルデロッド

五.〇

一〇.〇

麥角

一.〇

五.〇

番木鱧子

〇.一

〇.二

番木鱧丁幾

一.〇

二.〇

(八) 藥品ノ配合禁忌

(大島樂氏掌中醫範ヨリ拔萃ス)

配合禁忌タル各種藥品ヲ同時ニ混合スルトキハ或ハ化合シ或ハ分解シ或ハ其性ヲ變ジ或ハ不貞ノ形狀ヲ呈シ其効力ヲ減退又ハ有害トナスニアリ醫家處方ノ際注意セザルベカラズ

(一) (酸類) アルカリ、醋酸鹽類、酸化金屬等

(二) (タンニン酸含有物) 炭酸アルカリ、重炭酸アルカリ、粘漿物、金屬鹽、石灰水、蛋白質、膠質、クロール水等

(三) (亞砒酸) 酸化鉄、石灰水、苦土等

(四) (蛋白質) 酒精、酸類、タンニン酸、汞劑

(五) (アラビアゴム) 過クロール鉄、鉛鹽類、酒精、「エーテル」丁幾、硼砂等

(六) (ゴム脂) 揮發油、金屬鹽類、植物水製劑、樟腦等

(七) (植物鹽基鹽類) ヨード、タンニン酸、炭酸アルカリ及土類、ヨード化合物、甘草蒸、水

製大黃丁幾、濃稠粘液、カリウム、海葱丁幾

(八) (サギタリス) 鉛糖、タンニン酸、ヨードカリウム、炭酸アルカリ

- (九) (阿片) 炭酸アルカリ、タンニン酸、金屬鹽類、ヨード、クロール水、番木鱈、ペラドンナ等
- (八) (麝香) 酸類、酸性物、醋酸鹽、タンニン酸、金屬鹽等
- (七) (硝酸銀) 礦物酸、植物酸及其鹽類、青酸、苦扁桃水、ヨード、沃土カリウム、ブロームカリウム、炭酸アルカリ及土類、硫黃、金硫黃
- (六) (醋酸鉛) アラビアゴム、椴椴子漿、「トラガカンタ」、阿片、石灰水、炭酸鹽類、礬砂、硫酸鹽類、鹽酸、ヨード、ヨードカリウム、タンニン酸質
- (五) (硝酸蒼鉛) タンニン酸質、金硫黃、硫黃
- (四) (還元鉄) 蘆薈、植物煎汁、越幾斯、タンニン酸質、炭酸アルカリ、粘液物質
- (三) (鉄鹽類) 植物煎汁、越幾斯、タンニン酸、炭酸アルカリ、粘液物質
- (二) (鹽化バリウム) 硫酸、磷酸基鹽類、酒石酸、炭酸基鹽類、葡萄酒、植物煎汁
- (一) (昇汞) 炭酸鹽類、石灰水、ヨードカリウム、阿片、植物煎汁、タンニン酸
- (六) (甘汞) 酸類、酸性鹽類、炭酸アルカリ、石灰水、礬砂、ヨード、アンモニア苗香精、ヨードカリウム、亞鹽化鉄、ヨード化鉄、硫黃、金硫黃、苦扁桃、乳劑並ニ水劑、植物越幾斯

- (元) (金硫黃) アンモニア苗香精、重炭酸ナトリウム、酒石、亞クロール汞、硝酸蒼鉛
- (三) (吐酒石) 酸類、アルカリ類、石鹼、甘汞、タンニン酸、キナ、大黃、阿片、アラビアゴム
- (三) (鹽化アンチモニウム) 水液、アルカリ性物質
- (三) (クロール石灰) 有機物、揮發油、タンニン酸、硫黃、硫化金屬
- (三) (クロールカルシウム) 水、炭酸アルカリ、植物酸アルカリ、アンモニア鹽類
- (三) (クロール水) アルカリ、炭酸アルカリ、アンモニア鹽、植物酸鹽類、硝酸銀、鉛鹽、タンニン酸、植物粘液、植物越幾斯、植物性丁幾、植物水製劑、植物煎汁、乳劑
- (三) (抱水クロラール) 水、炭酸アルカリ、植物酸アルカリ、アンモニア鹽
- (三) (石灰水) 酸類、炭酸鹽類、アンモニア鹽類、金屬鹽類、酒石酸鹽類、植物煎汁、丁幾劑、タンニン酸
- (三) (ヨード) アンモニア、澱粉、金屬鹽、脂肪油、揮發油、乳劑、抱水クロラール、炭酸土類、アラビアゴム、トラガカンタ、サレツプ、亞硫酸ナトリウム
- (六) (ヨードカリウム) 酸類、酸性鹽類、植物鹽基鹽類、硝酸銀、酸化鉄鹽、鉛鹽、汞鹽、ク

ロール酸カリウム

(元) (クロール酸カリウム) 磷酸、有機物、硫黄、炭素

(昌) (醋酸カリウム) 散劑、丸劑、錠劑トナスベ、カラブ

(三) (過マンガン酸カリウム) 有機物、揮發油、酒精、グリセリン、アンモニア、アンモニア

鹽類、炭素、硫黄

(三) (重炭酸ナトリウム) 酸類、酸性鹽類、タンニン酸、金屬鹽、植物鹽基

藥品ノ用量

三ヶ月以下.....	$\frac{1}{48}$
3—6m.....	$\frac{1}{24}$
6m—1j.....	$\frac{1}{12}$
1—2j.....	$\frac{1}{8}$
2—3j.....	$\frac{1}{6}$
3—4j.....	$\frac{1}{4}$
4—7j.....	$\frac{1}{3}$
7—14j.....	$\frac{1}{2}$
14—25j.....	$\frac{2}{3}$
25—60j.....	$\frac{1}{1}$

ヨシダ氏ハ十七年以下ニ與フ用量ヲ次ノ式ニテ出セリ

現年齢
現年齢+12 = 所要量

Antipyretica	解熱劑
Amara	苦味劑
Cauteria	腐蝕劑
Vesicantia	發泡劑
Expectorantia	祛痰劑
Stomica.....	健胃劑
Emetica.....	吐 劑
Laxantia	緩下劑
Antihelminthica	驅蟲劑
Diuretica	利尿劑
Diaphoretica	發汗劑
Narcotica	麻醉劑
Roborantia	強壯劑
Excitantia.....	興奮劑
Suppositoria.....	座 藥

Rp	トレ
gr	グラム
gtt	滴
C.....	以テ
M.	混セヨ
S.	記セヨ
f.....	作レ
l. a.....	局方ニ從テ
D. sub. Sigillo.	封シテ與ヘヨ
P. in part. aeq. Nr X	十包ニ分テ
tal. dos.....	同量
q. s.	適宜
Consp.	撒布セヨ
reman	殘セ
decanta.....	液ノ上渣ヲ斜ニ注グ
Maceracio	冷浸劑
Inf.	熱浸劑
Decoct.	煎劑
Emulsio	乳劑
Solut.	溶液
Sup.....	坐劑
Pro diē	一日量
Pro dosis	一回量

處方ニ用フル主ナル略字

Rp.
 Dionin 0,3
 Aq. dest. 20,0
 S. 2—3mal tägl. 15 Tropf.
 in Zuckerwasser.

蒸餾水
 右一日二乃至三回十五滴
 ツ、糖水ニ和シテ内用

ガナニン 〇、三
 〇、〇

Rp.
 Acidi tannici 5,0
 Glycelini 45,0
 M. D. S. Aeusserlich zu
 pinseln.

グリセリン
 右塗布料

マンニン酸 五、〇
 四、〇

Rp.
 Corticis chinini. 15,0
 Acidi sulfurici 4,0
 Coque cum Aq. dest. ad
 reman col 180,0
 ad. Sp. aetheris. 4,0
 M. D. S. mehr mal tägl.
 1 Esslöffel.

稀硫酸
 之ニ蒸餾水ヲ加ヘテ煎出
 濾液一八〇、〇トシ

エーテル精
 右一日數回一食匙宛内用

規那皮 一五、〇
 四、〇

一七七

歐文處方例

Rp.
 Natrii bicarbonici 3,0
 Aq. dest. 100,0
 S. zur Inhalation.

重曹 三、〇
 蒸餾水 一〇〇、〇
 以上吸入料

Rp.
 Gelatini 2,0
 N. chlor. 0,1
 Aq. dest. 100,0
 S. sterilisirt unter die Bauchhaut
 zu injiciren 1 x Wöchentlich.

精製膠 二、〇
 食鹽 〇、一
 蒸餾水 一〇〇、〇
 右殺菌腹皮下注射料
 一週一回ノ

Rp.
 Thymoli 3,0
 Naphtarini 0,5
 M. f. pil. auf 1 mal.

チモール 三、〇
 ナフタリン 〇、五
 右爲丸頓服

一七六

Rp.
 Cort. condurango 15,0
 Mac. p. hor 12
 c. Aq. dest. 300,0
 Dein Coque ad reman Col 150,0
 Addē Syr. cort. aur. 20,0
 S. 4 Esslöffel täglich.

處方
 コンヂユランゴ皮 一五、〇
 蒸餾水三〇〇、〇ノ中ニ投ツ
 十二時間冷浸後煎出シテ濾液
 一五〇、〇トナシ次方ヲ加フ
 橙皮舍利別 二〇、〇
 右一日四食匙ツ、内用

Rp.
 Bromipin (10%) 100,0
 f. c. vitello ovorum II l. a
 Emulsio dein adde
 Cognac 15,0
 Mentholi 0,15
 M. D. S. tägl. 3 u. mehr
 Esslöffel voll. 3. n.

處方
 一〇%プロミピン 一〇〇、〇
 之ニ卵黄二個ヲ加ヘ局方ニ從
 テ乳劑ヲ作り之ニ次方ヲ加フ
 コニヤツク 一五、〇
 薄荷腦 〇、一五
 右混和一日三乃至數回一食匙
 ツ、内用ノコト

Rp.
 Kalii iodati 1,0
 Tinct amar. 2,0
 Aq. dest. 100,0
 M. D. S. 3 × tägl. nach
 dem Essen.

處方
 沃土カリ 一、〇
 苦味丁幾 二、〇
 蒸餾水 一〇〇、〇
 右一日三回食後内用

Rp.
 N. brom. 5,0
 Aq. dest. 100,0
 S. Früh, Mittags u. Abends
 2 Esslöffel.

處方
 プロームナトリウム 五、〇
 蒸餾水 一〇〇、〇
 右朝晝夕三回二食匙ツ、
 内用

Rp.
 Argenti nitrici 0,3
 Boli albae 15,0
 f. c. Aq. dest. q. s. pil. No. 100.
 Consp. Bol. alb. D. S. täglich
 3 Pil. später 5 Pil.

處方
 硝酸銀 〇、三
 白陶土 一五、〇
 之ニ蒸餾水ヲ適宜ニ加ヘ
 丸劑百個ヲ作り更ニ白陶
 土ヲ撒布シテ與フ
 右一日三回食後内用増量
 シテ一日五丸ニ及ブコト
 ナシ得

1<0

比較的世界用ヒラル、新薬

薬名	化学上の性質	主治	用量
A アチエトピリン	アセチルザリチール酸ト アンチピリンノ化合	解熱	一日量 凡 1,0
カコザール酸	ニメチール砒素 (OH ₃) ₂ AS. O. OH	結核、マラリア、 貧血等	一日量 凡 0,02—0,1
ソゾドール酸	ヂヨードパラフェノール 硫酸	防腐	2—3%
アンチストレプト コツケンゼールム	連鎖状球菌血清	膿毒症	度ニヨリ 500, 1000, 0200 免疫單位ノモノヲ用フ
鹽化アドレナリン	副腎ノ有功成分 C ₁₀ H ₁₅ NO ₃	止血	千倍液 一日量 20—30gtt.

アルバルギン	硝酸銀ノ製劑	痲疾	0,1—1%ノ液
アグリソ	テナプロミンナトリウムト 醋酸ナトリウムノ複鹽	利尿	一日量 0,25—0,5
アリストール	ヨードチモール	沃土フタルム代用	10—20%軟膏又ハ撒布 劑トス
アイロール	没食子酸化沃土化着鉛	防腐沃土フタルム 代用品	
アルゾール	醋酸酒石酸アルミニウム	消毒收斂	1—2%水トス
アネステジン	パラアミド安息香酸エチー ルエステル	鎮痛劑 知覺麻痺劑	一日量 0,3—0,5

	鹽酸アポコチン	$C_{18}H_{19}NO_2HCl$	祛痰、鎮痙、催眠	一回量 凡0,02—0,06
	アスパラギン	$C_2H_3(NH_2)COOH.CONH_2+H_2O$	痛風、心臓、水腫	一日量 凡0,5
B	アルター	満俺及鉄ノ製劑	貧血及虚弱者	
	ベンツチザリン	ベンツチイールザリチール酸 メチールエステル	ロイマチス 神經痛	一日量 1,0—3,0
	ロレチン着鉛	メタヨードナルト酸化 ヒノリンアナ硫酸着鉛	結核性下痢	一日量 1,0—1,5
C	硫酸セリドニン	白屈菜中ノアルカロイド	胃腸症、胃痛	一日量 0,1—0,5

	ヒノゾール	酸化ヒノリン酸カリウム	制腐除臭	産科手術ノトキ千又ハ 二千倍液ヲ洗滌劑トシ テ用フ
	チトロフェン	枸橼酸トリパラフェネチザット	解熱、鎮痛劑	一回量 0,5—1,0 一日量 6,0ニ至ルコト ヲ得
D	ザガーレン	ザギトキシングリセリン製劑	心臓藥	内用又ハ注射一回 2c.c.ヲ極量
	ザチニン	鹽酸モルヒネ エチールエステル	莫比代用	一日量 0,06—0,08—0,1
	ゴラッパギタリス	ザギタリスノ有功成分		一日量 凡40ggt.
	結晶ザギトキシ	同		一日量 凡0,001

E	鹽酸エフェドリン	麻黄アルカロイド	散瞳薬	1%水溶液トス
	エピカリン	$C_6H_5OHCOOHCH_2C_{10}H_6(OH)$	皮膚寄生菌病 疥癬等	10%軟膏トス
	チイカイン A	$C_{19}H_{27}NO_4 \cdot HCl + H_2O$	局所麻痺 同	眼 2% 鼻喉 5-10% 齒 2-4% 内用一日 0.15以下
	チイカイン B	$C_{15}H_{21}O_2N \cdot HCl + H_2O$		
	チイロフェン	沃土化イソプロチールナルト クレゾール	制腐	潰瘍創面撒布料トス
	エキザルギン	メチールアセトアニリド	解熱鎮痛 舞蹈病ニ功アリ トイフ	一日量 0.25ノ溶液トシテ與フ

F	エキソシン	大黃麻那ノ瀉下成分ト類似 シタルモノ	緩下劑	0.5 ナ一日二乃至三回
	フェルラチン	吸収シ易キ鉄劑	強壯劑	一日量 0.5-1.5
	フェルロピリン	過クロール鉄アンチピリン	止血、收斂	胃腸出血ニハ一回 0.5 外用ニハ純液又ハ 2% 水溶液
	ファンゴ	伊太利ノ火山ヨリ噴出スル灰	神經痛	溫泥トナシ疼痛部ヲ溫 包シ又泥浴トナス
G	ゲルゼミン	ゲルゼミュームノアルカロイト	神經痛	一日數回 0.0005-0.001 ナ與フ
	ゴノサン	白檀油中ニ20%ノカワカワ脂 ヲ含ムモノ	癩疾	内用(0.3)膠囊入 8-10個